

## 2023年度第一回 JICAインターンシップ・プログラム 本部ポスター一覧

| 登録番号      | 担当部署                          | 募集人数 | テーマ   |
|-----------|-------------------------------|------|---|
| 2301-本 01 | 広報部 地球ひろば推進課                  | 2    | 開発教育支援事業に関する広報業務及びその取り組みサポート                                    |
| 2301-本 02 | 人事部 開発協力人材室                   | 1    | 中学生・高校生のためのJICAの国際協力情報サイト「ROOKIES」のリニューアル提案及びPARTNERコラムを通じた情報発信 |
| 2301-本 03 | 管理部 債権管理第二課                   | 2    | 開発途上国債務問題のまとめ、債権管理業務手続きの改善サポート                                  |
| 2301-本 04 | 企画部 イノベーション・SDGs推進室           | 若干名  | SDGsに関連するJICA内外の動向・取組の情報収集・分析・発信（2025年大阪・関西万博に向けた準備作業を含む）       |
| 2301-本 05 | 中南米部 南米課                      | 2～4  | 南米地域における国別協力方針策定、民間連携、移民・難民支援にかかる業務補助                           |
| 2301-本 06 | 中南米部 中米・カリブ課                  | 1    | 中米・カリブ地域における協力の整理と今後の方向性の検討                                     |
| 2301-本 07 | 中東・欧州部 ウクライナ支援室               | 3    | 日本国内のウクライナ避難民支援とウクライナ復旧・復興支援をつなぐ取り組みの形成・実施                      |
| 2301-本 08 | ガバナンス・平和構築部 平和構築室             | 2    | 平和構築の主流化（紛争要因配慮・難民・受入れ社会支援の促進）                                  |
| 2301-本 09 | ガバナンス・平和構築部 STI・DX室           | 1    | ICT分野に関するJICA事業の業務補助及び研修事業への参加                                  |
| 2301-本 10 | 人間開発部 基礎教育グループ基礎教育第一チーム       | 1    | 基礎教育分野における新しい課題への対応及び広報強化支援                                     |
| 2301-本 11 | 人間開発部 高等教育・社会保障グループ高等・技術教育チーム | 1～2  | 高等・技術教育分野における国際動向調査・大学間ネットワーク強化                                 |
| 2301-本 12 | 経済開発部 農業・農村開発第一グループ第二チーム      | 1    | 水産資源の管理・活用  |
| 2301-本 13 | 経済開発部 農業・農村開発第一グループ第三チーム      | 1    | 畜産振興と家畜衛生の強化  |
| 2301-本 14 | 経済開発部 農業・農村開発第一グループ第四チーム      | 1    | 小規模農家向け市場志向型農業振興（SHEPアプローチ）                                     |
| 2301-本 15 | 経済開発部 農業・農村開発第二グループ第四チーム      | 1    | アフリカ稲作分野における国際協力に関する情報収集と広報支援業務                                 |

## 2023年度第一回 JICAインターンシップ・プログラム 本部ポスター一覧

| 登録番号      | 担当部署                      | 募集人数 | テーマ   |
|-----------|---------------------------|------|---|
| 2301-本 16 | 経済開発部 民間セクター開発グループ第二チーム   | 2    | 「イノベーション創出に向けたスタートアップ・エコシステム構築支援（Next Innovation with Japan; NINJA）」クラスター事業戦略推進に向けた活動       |
| 2301-本 17 | 社会基盤部                     | 若干名  | 社会基盤部が所掌する分野（都市・地域開発、運輸・交通、資源・エネルギー）に係る調査研究   |
| 2301-本 18 | 社会基盤部 都市・地域開発グループ         | 3    | 開発途上国への技術協力と日本の都市・地域開発分野の経験   |
| 2301-本 19 | 社会基盤部 運輸交通グループ第一チーム       | 1    | 道路交通安全に係るJICAと国際機関・他ドナーとの連携に係る調査研究  |
| 2301-本 20 | 地球環境部 防災グループ防災第一チーム、第二チーム | 1    | 防災分野人材・知見の体系化   |
| 2301-本 21 | 国内事業部 外国人材受入支援室           | 2    | 外国人材受入又は多文化共生に関連する活動推進／情報取りまとめ業務  |
| 2301-本 22 | 調達・派遣業務部 契約第三課            | 2～4  | 「調達」を体験し、国際協力人材としての競争力を高めよう！<br>国際協力事業に将来携わりたい人必見。JICA事業を支える「調達」業務を知ろう。（調達手続きや調達業務取りまとめの補助） |
| 2301-本 23 | 評価部 評価企画課                 | 1    | インパクト評価（インパクト評価事例集及びセクター事例集の作成）   |
| 2301-本 24 | 評価部 事業評価第二課               | 1    | 事業評価（教訓活用状況の整理）   |
| 2301-本 25 | 青年海外協力隊事務局 国内グループ参加促進課    | 2    | JICA海外協力隊事業における広報活動の強化  |
| 2301-本 26 | 青年海外協力隊事務局 海外グループ海外業務第二課  | 1    | JICA海外協力隊によるグローバルアジェンダへの取り組み状況の調査   |

## 2023年度第一回 JICAインターンシップ・プログラム 国内機関ポスター一覧

| 登録番号      | 担当部署              | 募集人数 | テーマ  |
|-----------|-------------------|------|--|
| 2301-国 01 | 北海道センター 道東業務課     | 3    | 【短期型】国際協力を通じた地方創生・SDGsへの貢献ー農業・環境・観光の地域資源を活かして                                    |
| 2301-国 02 | 北海道センター 道東業務課     | 2    | 【長期型】国際協力を通じた地方創生・SDGsへの貢献ー農業・環境・観光の地域資源を活かして                                    |
| 2301-国 03 | 筑波センター 研修業務課      | 1～2  | 課題別研修「天水稲栽培・種子生産及び品種選定技術」コースの業務補佐  |
| 2301-国 04 | 筑波センター 研修業務課      | 2    | 課題別研修「稲作技術向上（普及員）（A）」コースの業務補佐  |
| 2301-国 05 | 筑波センター 研修業務課      | 1～2  | 課題別研修「稲作技術向上（普及員）（B）」コースの業務補佐  |
| 2301-国 06 | 東京センター 総務課        | 1～2  | 来日時のプリーフィング業務、研修員福利厚生事業のプログラム立案、実施の支援、学校訪問、施設見学の受け入れ時のプログラム立案、実施の支援、これらに伴う広報事業の実 |
| 2301-国 07 | 東京センター 人間開発・計画調整課 | 1    | 研修員受入事業の質の向上   |
| 2301-国 08 | 東京センター 市民参加協力第二課  | 2    | JICA東京における市民参加協力事業の好事例の取りまとめと発信及び業務補佐  |
| 2301-国 09 | 横浜センター 総務課        | 2    | 海外移住資料館の教育プログラムおよび広報業務補佐   |
| 2301-国 10 | 横浜センター 研修業務課      | 2    | JICA横浜 研修運営業務 ～対外発信と改善提案～  |
| 2301-国 11 | 横浜センター 市民課        | 2    | 民間連携事業に係る情報発信  |
| 2301-国 12 | 北陸センター            | 1    | 地域内自治体による「外国人材受入れ」「多文化共生プラン」等の施策調査   |
| 2301-国 13 | 関西センター 開大連携課      | 8    | 関西における国内事業全般   |
| 2301-国 14 | 中国センター 市民参加協力課    | 2    | 市民・高校生/大学生にとって魅力あるJICA市民参加協力事業の提案  |
| 2301-国 15 | 九州センター 企業連携課      | 1    | 中小企業・SDGsビジネス支援事業に関連する情報収集、広報ツールの作成  |
| 2301-国 16 | 沖縄センター 研修業務課      | 1    | 沖縄における基礎教育分野研修/開発教育現場への理解進化及び改善の提案   |

## 2023年度第一回 JICAインターンシップ・プログラム 開発コンサルティング企業ポスター一覧

| 登録番号       | 担当部署                  | 募集人数 | テーマ                                       |
|------------|-----------------------|------|---|
| 2301-開コ 01 | (株)アルメックVPI           | 1    | 市民参加協力事業を中心とした国内事業の地域国際化活性化への貢献度にかかる調査    |
| 2301-開コ 02 | (株)アルメックVPI           | 1    | 2021～2023年度 課題別研修「都市公共交通（鉄道、MRT、バスなど）」    |
| 2301-開コ 03 | (株)オリエンタルコンサルタンツグローバル | 2    | ダッカ交通安全プロジェクト（第2期）                        |
| 2301-開コ 04 | (株)オリエンタルコンサルタンツグローバル | 1    | モザンビーク国マプト市都市公共交通改善支援プロジェクト               |
| 2301-開コ 05 | (株)オリエンタルコンサルタンツグローバル | 1    | コンゴ民主共和国キンシャサ市都市交通マスタープラン（PDTK）実施促進プロジェクト |
| 2301-開コ 06 | 八千代エンジニアリング(株)        | 1    | コートジボワール国大アビジャン圏都市開発マスタープラン実施促進プロジェクト     |
| 2301-開コ 07 | 八千代エンジニアリング(株)        | 1    | ザンビア国種子生産ほ場・研修施設整備計画                      |
| 2301-開コ 08 | 八千代エンジニアリング(株)        | 1    | スーダン国スーダンのきれいな街プロジェクト                     |
| 2301-開コ 09 | 八千代エンジニアリング(株)        | 1    | パラオ国無収水削減能力向上プロジェクト                       |
| 2301-開コ 10 | 八千代エンジニアリング(株)        | 1    | モザンビーク国マプト中央病院新生児棟建設計画                    |
| 2302-開コ 11 | 八千代エンジニアリング(株)        | 1    | インドネシア国事前防災投資にかかる洪水対策マスタープランプロジェクト        |

## 2023年度第一回 JICAインターンシップ・プログラム 本部ポスター一覧

| 登録番号      | 担当部署                          | 募集人数 | テーマ   |
|-----------|-------------------------------|------|---|
| 2301-本 01 | 広報部 地球ひろば推進課                  | 2    | 開発教育支援事業に関する広報業務及びその取り組みサポート                                    |
| 2301-本 02 | 人事部 開発協力人材室                   | 1    | 中学生・高校生のためのJICAの国際協力情報サイト「ROOKIES」のリニューアル提案及びPARTNERコラムを通じた情報発信 |
| 2301-本 03 | 管理部 債権管理第二課                   | 2    | 開発途上国債務問題のまとめ、債権管理業務手続きの改善サポート                                  |
| 2301-本 04 | 企画部 イノベーション・SDGs推進室           | 若干名  | SDGsに関連するJICA内外の動向・取組の情報収集・分析・発信（2025年大阪・関西万博に向けた準備作業を含む）       |
| 2301-本 05 | 中南米部 南米課                      | 2～4  | 南米地域における国別協力方針策定、民間連携、移民・難民支援にかかる業務補助                           |
| 2301-本 06 | 中南米部 中米・カリブ課                  | 1    | 中米・カリブ地域における協力の整理と今後の方向性の検討                                     |
| 2301-本 07 | 中東・欧州部 ウクライナ支援室               | 3    | 日本国内のウクライナ避難民支援とウクライナ復旧・復興支援をつなぐ取り組みの形成・実施                      |
| 2301-本 08 | ガバナンス・平和構築部 平和構築室             | 2    | 平和構築の主流化（紛争要因配慮・難民・受入れ社会支援の促進）                                  |
| 2301-本 09 | ガバナンス・平和構築部 STI・DX室           | 1    | ICT分野に関するJICA事業の業務補助及び研修事業への参加                                  |
| 2301-本 10 | 人間開発部 基礎教育グループ基礎教育第一チーム       | 1    | 基礎教育分野における新しい課題への対応及び広報強化支援                                     |
| 2301-本 11 | 人間開発部 高等教育・社会保障グループ高等・技術教育チーム | 1～2  | 高等・技術教育分野における国際動向調査・大学間ネットワーク強化                                 |
| 2301-本 12 | 経済開発部 農業・農村開発第一グループ第二チーム      | 1    | 水産資源の管理・活用  |
| 2301-本 13 | 経済開発部 農業・農村開発第一グループ第三チーム      | 1    | 畜産振興と家畜衛生の強化  |
| 2301-本 14 | 経済開発部 農業・農村開発第一グループ第四チーム      | 1    | 小規模農家向け市場志向型農業振興（SHEPアプローチ）                                     |
| 2301-本 15 | 経済開発部 農業・農村開発第二グループ第四チーム      | 1    | アフリカ稲作分野における国際協力に関する情報収集と広報支援業務                                 |

## 2023年度第一回 JICAインターンシップ・プログラム 本部ポスター一覧

| 登録番号      | 担当部署                      | 募集人数 | テーマ   |
|-----------|---------------------------|------|---|
| 2301-本 16 | 経済開発部 民間セクター開発グループ第二チーム   | 2    | 「イノベーション創出に向けたスタートアップ・エコシステム構築支援（Next Innovation with Japan; NINJA）」クラスター事業戦略推進に向けた活動       |
| 2301-本 17 | 社会基盤部                     | 若干名  | 社会基盤部が所掌する分野（都市・地域開発、運輸・交通、資源・エネルギー）に係る調査研究   |
| 2301-本 18 | 社会基盤部 都市・地域開発グループ         | 3    | 開発途上国への技術協力と日本の都市・地域開発分野の経験   |
| 2301-本 19 | 社会基盤部 運輸交通グループ第一チーム       | 1    | 道路交通安全に係るJICAと国際機関・他ドナーとの連携に係る調査研究  |
| 2301-本 20 | 地球環境部 防災グループ防災第一チーム、第二チーム | 1    | 防災分野人材・知見の体系化   |
| 2301-本 21 | 国内事業部 外国人材受入支援室           | 2    | 外国人材受入又は多文化共生に関連する活動推進／情報取りまとめ業務  |
| 2301-本 22 | 調達・派遣業務部 契約第三課            | 2～4  | 「調達」を体験し、国際協力人材としての競争力を高めよう！<br>国際協力事業に将来携わりたい人必見。JICA事業を支える「調達」業務を知ろう。（調達手続きや調達業務取りまとめの補助） |
| 2301-本 23 | 評価部 評価企画課                 | 1    | インパクト評価（インパクト評価事例集及びセクター事例集の作成）   |
| 2301-本 24 | 評価部 事業評価第二課               | 1    | 事業評価（教訓活用状況の整理）   |
| 2301-本 25 | 青年海外協力隊事務局 国内グループ参加促進課    | 2    | JICA海外協力隊事業における広報活動の強化  |
| 2301-本 26 | 青年海外協力隊事務局 海外グループ海外業務第二課  | 1    | JICA海外協力隊によるグローバルアジェンダへの取り組み状況の調査   |

2023年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

|  |   |   |   |
|--|---|---|---|
| 受入担当部署/国内機関  |   | 登録番号                                      | 2301-本01  |
| ■部署名:  | 広報部   | ■募集人数(人)                                  | 2   |
| ■課名:   | 地球ひろば推進課  |   |   |
| <b>■テーマ</b><br>開発教育支援事業に関する広報業務及びその取り組みサポート  |   |   |   |
| <b>■テーマの概要</b><br>地球ひろば推進課は、JICAの国際協力の知見を活かして、学校教育を中心とする様々な場を通じて国際協力への理解と参加を促し、国際協力の担い手のすそ野拡大を推進する開発教育支援事業各種を行っています。具体的には、教育委員会、教員、児童生徒を主な対象に、日本各地のJICA国内拠点と連携しながら、SDGsの取組、多文化共生、キャリア教育、社会に開かれた教育など学校現場の課題に貢献すべく、次の事業を行っています。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員・教育委員会向け研修プログラムの実施・取りまとめ</li> <li>・中高生向け国際協力エッセイコンテストの実施</li> <li>・学校教育向け教材(映像教材含む)の開発・活用促進</li> <li>・JICA地球ひろばでの展示の企画・運営、イベント・セミナーの開催 等</li> </ul> インターンの方には、上記開発教育支援事業に参加し、地球ひろば展示やイベント及び開発教育教材に関する検討・提案・実施する活動を中心に、その他関連業務のサポートも含め担当いただく予定です。   |   |   |   |
| <b>■具体的なインターンシップ活動内容</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●メイン活動①: 展示イベントの企画・運営・PR<br/>JICA地球ひろばの外部展示イベントにかかる企画・運営及び効果的な集客・PRをお願いします。</li> <li>●メイン活動②: 開発教育支援教材や資料の活用促進・フィードバック<br/>JICAが作成した開発教育支援教材や資料の活用状況について学校等で調査を行い、調査結果の報告及び今後の活用促進のための提案をお願いします。</li> <li>●サブ活動①: 開発教育に関する各種イベントへの参加、広報<br/>以下のイベントに参加し、写真・動画撮影、取材、編集の上、効果的な広報を検討・提案・実施をお願いします。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・グローバル・フェスタ事前準備及び当日運営</li> <li>・開発教育指導者研修参加者(教員)の授業実践、公開研修</li> <li>・その他JICA地球ひろばイベントや開発教育オンラインイベント</li> </ul> </li> <li>●サブ活動②: その他開発教育に関する庶務を含む取り組み業務サポート<br/>JICA地球ひろばの実施する開発教育支援事業やJICA事業に関する中高生・大学生向け資料の作成・整理等の庶務を含む開発教育支援事業サポートもお願いします。</li> </ul>            |   |   |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・JICA地球ひろばHP <a href="https://www.jica.go.jp/hiroba/index.html">https://www.jica.go.jp/hiroba/index.html</a></li> <li>・JICA地球ひろば展示 <a href="https://www.jica.go.jp/hiroba/information/exhibition/index.html">https://www.jica.go.jp/hiroba/information/exhibition/index.html</a></li> <li>・JICA開発教育教材 <a href="https://www.jica.go.jp/hiroba/program/practice/education/index.html">https://www.jica.go.jp/hiroba/program/practice/education/index.html</a></li> <li>・国際理解教育/開発教育指導者研修 <a href="https://www.jica.go.jp/hiroba/program/practice/seminar/recruit.html">https://www.jica.go.jp/hiroba/program/practice/seminar/recruit.html</a></li> </ul> |   |   |   |
| <b>■参加(同行)可能な行事・視察等</b><br>上記のとおり、当課で行うイベントや視察には積極的に同行いただきます。  |   |   |   |
| <b>■受入時期・期間</b><br>2023年8月から10月までの3ヶ月間   |   |   |   |
| 上記期間外含めて調整可 理由: 展示やイベントの日程が変更する可能性があるため。   |   | フルタイム以外の活動体系の可否                           | 可   |
|  |   |   | 週3回、3ヶ月間程度                                      |
| <b>■希望する人材(大学生/大学院生/社会人)</b><br>大学生・大学院生とも可  |   |   |   |
| <b>■応募資格以外に受入れに関し求める要件</b>   |   |   |   |
| 提供可能な執務環境等   |   |   |   |
| <input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース   | <input type="checkbox"/> 電話等の利用                 | <input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し | <input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等 |
| <input type="checkbox"/> 携帯電話貸出  | <input checked="" type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担 |   |   |
| その他(提供可能な事項):  |   |   |   |
| <b>■滞在費目安(一日あたりの食費及び少額交通費)</b>   |   | <b>■宿泊費目安</b>                             |   |
| ※目安金額であり、JICAから支給されるものではありません。   |   |   |   |
|  |   | 円/日                                       | 円/泊   |
| <b>■備考・留意点</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務内容の性質上、受入期間はフルタイムではなく、週3日×3か月間を想定していますが、相談可能です。</li> <li>・東京近郊の学校訪問等の可能性があります。(日帰り。交通費は当課所有のSUICA貸出、負担します。)</li> <li>・勤務日・勤務時間は可能な限り各種イベントの開催日に勤務できるように調整していただけるとありがたいです。なお、イベントは土日祝日や夜の時間帯が含まれる場合もあります。</li> <li>・勤務日は週3日のうち、1日は火曜日固定でお願いします。</li> </ul>   |   |   |   |



2023年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

|   |  |   |                                      |
|---|--|---|--------------------------------------|
| 受入担当部署/国内機関   |  | 登録番号                                      | 2301-本02                             |
| ■部署名:   | 人事部  | ■募集人数(人)                                  | 1                                    |
| ■課名:  | 開発協力人材室                                    |   |                                      |
| <b>■テーマ</b><br>中学生・高校生のためのJICAの国際協力情報サイト「ROOKIES」のリニューアル提案及びPARTNERコラムを通じた情報発信  |  |   |                                      |
| <b>■テーマの概要</b><br>1) 「PARTNER」は、「オールジャパンの国際協力活動促進」という理念のもと、国際協力に関わる、及び関心を有する全ての方々のために、JICAの情報のみならず、国際機関、開発コンサルティング企業、NGO、国際協力関連機関、政府機関・地方自治体、大学、民間企業等の国際協力関連情報(求人、研修セミナー、その他キャリアコンテンツ)を一元的に発信しています。関連サイトとして中学生・高校生のための国際協力情報サイト「ROOKIES」があります(詳細は文末の参考情報のHP参照)。2024年度、PARTNERサイトの刷新にあたり、中高生向けの情報発信を担うROOKIESを再構築する予定です。新たなROOKIESコーナーでは、国際キャリアを意識した進路選択、国際協力への理解促進、キャリアの検討などに有益な情報の発信を目指します。<br>2) PARTNERでは、国際キャリアの検討や国際協力活動の理解に役立つコンテンツの発信を行っています。その一つ「PARTNERコラム」では、国際協力活動の多様性を発信すべく、現場の声や自身の経験、国際協力に対する考え等を様々な方に寄稿いただき、コラム形式で発信しています。 |  |   |                                      |
| <b>■具体的なインターンシップ活動内容</b><br>1) ROOKIESのリニューアル提案<br>・ROOKIESサイトの現状把握(サイトの構成、運用状況等)<br>・類似サイトとの比較等、提案にあたって必要な情報の収集<br>・企画案作成、関係者からの意見聴取<br>・部内プレゼンテーション<br>2) PARTNERコラムを通じた情報発信<br>・JICA内他部署インターンへのインタビュー<br>・コラム作成<br>3) PARTNER関連業務補助<br>4) その他、インターン生からの提案に応じて内容を検討   |  |   |                                      |
| <b>関連情報</b><br>PARTNERサイト <a href="http://partner.jica.go.jp/">http://partner.jica.go.jp/</a><br>ROOKIESサイト <a href="https://partner.jica.go.jp/rookies">https://partner.jica.go.jp/rookies</a><br>PARTNER FB <a href="https://www.facebook.com/jicapartner">https://www.facebook.com/jicapartner</a><br>ROOKIES FB <a href="https://www.facebook.com/jicarookies/">https://www.facebook.com/jicarookies/</a><br>ROOKIES Twitter <a href="https://twitter.com/jicarookies">https://twitter.com/jicarookies</a>                            |  |   |                                      |
| <b>■参加(同行)可能な行事・視察等</b><br>各種キャリアイベント   |  |   |                                      |
| <b>■受入時期・期間</b><br>2023年 8月 から 10月 までの 2ヶ月間(2週間からの受入も可とする)  |  |   |                                      |
| 上記期間外含めて調整可 理由:   |  | フルタイム以外の活動体系の可否                           | 可 週2-3回、2ヶ月間程度                       |
| <b>■希望する人材(大学生/大学院生/社会人)</b><br>大学生・大学院生・社会人全て可   |  |   |                                      |
| <b>■応募資格以外に受入れに関し求める要件</b>  |  |   |                                      |
| 望ましい  | 国際協力人材育成やキャリア構築支援に関心がある方                   |   |                                      |
| 必須  | 中高生向けの国際協力キャリア関連コンテンツ発信について提案をいただける方       |   |                                      |
| <b>■提供可能な執務環境等</b>  |  |   |                                      |
| <input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース  | <input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用 | <input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し | <input type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等 |
| <input type="checkbox"/> 携帯電話貸出   | <input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担       |   |                                      |
| その他(提供可能な事項):   |  |   |                                      |
| <b>■滞在費目安(一日あたりの食費及び少額交通費)</b>  |  | <b>■宿泊費目安</b>                             |                                      |
| ※目安金額であり、JICAから支給されるものではありません。  |  |   |                                      |
|   |  | 円/日                                       | 円/泊                                  |
| <b>■備考・留意点</b><br>・応募前にJICAの国際キャリア総合情報サイトPARTNERとROOKIESをご覧ください。<br>・PARTNERは国際キャリアの総合情報サイトであり、JICA事業の広報を行うサイトではない点にご留意ください。<br>・現在の若年層のキャリア意識を反映し、現行のROOKIESサイトへの気づき、国際協力への参画を促すような改善提案を歓迎します。   |  |   |                                      |



## 2023年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

《理系の方にお勧め》

|  |  |   |   |
|--|--|---|---|
| <b>受入担当部署/国内機関</b>   |  | <b>登録番号</b>                               | 2301-本03  |
| <b>■部署名：</b>   | 管理部  | <b>■募集人数（人）</b>                           | 2   |
| <b>■課名：</b>  | 債権管理第二課  |   |   |
| <b>■テーマ</b>  |  |   |   |
| 開発途上国債務問題のまとめ、債権管理業務手続きの改善サポート   |  |   |   |
| <b>■テーマの概要</b>   |  |   |   |
| 近年、低所得国を中心に開発途上国の公的セクター（政府や政府系機関等）による海外からの借入が増加し、債務持続可能性への懸念が高まっています。経済社会インフラ開発のために長期低利融資を行っているJICAもその課題に取り組んでいます。本インターンシップにおいて、開発途上国の債務問題や債権国の対応状況に対する関心や知識を活かして、JICAの業務の柱の一つである資金協力業務（円借款・海外投融資）の債権管理業務の改善に資する資料のまとめや手続き改善に貢献していただきます。 |  |   |   |
| <b>■具体的なインターンシップ活動内容</b>   |  |   |   |
| 一人のインターンが以下のタスクのいずれかを行っていただくことを想定します。<br><b>■</b> 近年の開発途上国が直面する債務問題・債権国の債務措置の動向・具体的対応についてまとめる。<br><b>■</b> Microsoftのソフトウェア等を活用した債権管理業務の効率化・自動化をサポートする。  |  |   |   |
| <b>■参考情報</b>   |  |   |   |
|  |  |   |   |
| <b>■参加(同行)可能な行事・視察等</b>  |  |   |   |
|  |  |   |   |
| <b>■受入時期・期間</b>  |  |   |   |
| 2023年8月 から12月 までの3 ヶ月間/週間程度  |  | フルタイム以外の活動体系の可否                           |   |
| 上記期間外含めて調整可 理由：  |  | 可   | 週2回, 3ヶ月間程度                                     |
| <b>■希望する人材（大学生/大学院生/社会人）</b>   |  |   |   |
| 大学生・大学院生・社会人全て可  |  |   |   |
| <b>■応募資格以外に受入れに関し求める要件</b>   |  |   |   |
| 望ましい   | 途上国債務問題にかかる知識  |   |   |
| 必須   | Microsoftのソフトウェア（Word, Excel, Sharepoint, Power Automate）を使った事務経験。 |   |   |
| 望ましい   | Power Automate等簡単なノーコードプログラミングの経験                                  |   |   |
| <b>■提供可能な執務環境等</b>   |  |   |   |
| <input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース   | <input type="checkbox"/> 電話等の利用                                    | <input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し | <input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 携帯電話貸出   | <input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担                               |   |   |
| その他（提供可能な事項）：  |  |   |   |
| <b>■滞在費目安（一日あたりの食費及び少額交通費）</b>   |  | <b>■宿泊費目安</b>                             |   |
| ※目安金額であり、JICAから支給されるものではありません。   |  |   |   |
| 円/日  |  | 円/泊                                       |   |
| <b>■備考・留意点</b>   |  |   |   |
|  |  |   |   |

2023年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

|  |   |   |   |
|--|---|---|---|
| 受入担当部署/国内機関  |   | 登録番号                                      | 2301-本04  |
| ■部署名:  | 企画部   | ■募集人数(人)                                  | 若干名   |
| ■課名:   | イノベーション・SDGs推進室                                 |   |   |
| <b>■テーマ</b><br>SDGsに関連するJICA内外の動向・取組の情報収集・分析・発信(2025年大阪・関西万博に向けた準備作業を含む)   |   |   |   |
| <b>■テーマの概要</b><br>JICAは事業全体を統括する企画部の中に「イノベーション・SDGs推進室」を2019年11月に設置し、国内外の幅広いパートナーとの連携やイノベーションを図りつつ、SDGs達成への貢献に取り組んでいます。その取り組みのひとつとして、2021年3月には公益社団法人2025年日本国際博覧会協会(博覧会協会)との包括連携協定を締結し、相互の連携強化を図ることで、2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)への機運を醸成しつつ万博を成功に導くとともに、SDGsの達成及びSociety 5.0の実現に貢献することを目指しています。本インターンシップ・プログラムでは、大阪・関西万博の機運醸成にも資する各種イベントの開催に向けて、SDGsに関連するJICA内外の動向・取組の情報収集・分析・発信に携わっていただくことを予定しています。 |   |   |   |
| <b>■具体的なインターンシップ活動内容</b><br>本インターンシップ・プログラムでは、以下の内容について、担当職員と活動の内容・進め方を相談しつつ、主体的に情報収集・資料作成等を実施いただくことになります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・JICA監修の刊行物の対外発信に係る業務支援</li> <li>・国連SDGsサミットに合わせた日本国内でのサイドイベント実施に係る業務支援</li> <li>・大阪・関西万博に向けた各種フォーラム・催事の開催準備に係る業務支援</li> </ul>   |   |   |   |
| <b>■参考情報</b><br>SDGs(持続可能な開発目標)とJICA<br><a href="https://www.jica.go.jp/aboutoda/sdgs/index.html">https://www.jica.go.jp/aboutoda/sdgs/index.html</a>  |   |   |   |
| <b>■参加(同行)可能な行事・視察等</b><br>受入期間中に実施される各種研修・イベント  |   |   |   |
| <b>■受入時期・期間</b><br>2023年8月上旬 から 2023年12月末 までの 2-3ヶ月間程度   |   |   |   |
| 上記期間内での調整可 理由:   |   | フルタイム以外の活動体系の可否                           |   |
|  |   | 可   | 週2-3回, 2-3ヶ月間程度                                 |
| <b>■希望する人材(大学生/大学院生/社会人)</b><br>大学院生・社会人とも可  |   |   |   |
| <b>■応募資格以外に受入れに関し求める要件</b>   |   |   |   |
| 望ましい   | SDGsに関する基礎知識                                    |   |   |
|  |   |   |   |
| <b>■提供可能な執務環境等</b>   |   |   |   |
| <input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース   | <input type="checkbox"/> 電話等の利用                 | <input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し | <input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等 |
| <input type="checkbox"/> 携帯電話貸出  | <input checked="" type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担 |   |   |
| その他(提供可能な事項):  |   |   |   |
| <b>■滞在費目安(一日あたりの食費及び少額交通費)</b>   |   | <b>■宿泊費目安</b>                             |   |
| ※目安金額であり、JICAから支給されるものではありません。   |   |   |   |
|  |   | 円/日                                       | 円/泊   |
| <b>■備考・留意点</b><br>特になし   |   |   |   |

2023年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

|  |  |   |   |
|--|--|---|---|
| 受入担当部署/国内機関  |  | 登録番号                                      | 2301-本05  |
| ■部署名:  | 中南米部                                       | ■募集人数(人)                                  | 2~4   |
| ■課名:   | 南米課  |   |   |
| <b>■テーマ</b><br>南米地域における国別協力量策策定、民間連携、移民・難民支援にかかる業務補助   |  |   |   |
| <b>■テーマの概要</b><br>JICAの五つのビジョンの一つは、「共創」です。組織内外の持つ多様な知識と資源を活用して活動を進めることが求められます。中南米部南米課は、国際機関、外務省、民間企業、在京大使館等、様々な外部のアクターと接点を持ちながら、下記をはじめとする南米地域での開発協力に取り組んでおります。<br>(1) JICA国別分析ペーパーの作成支援。(対象国:ブラジル、パラグアイ)<br>(2) TSUBASA:日本のスタートアップ企業の中南米への事業展開支援を通じた、開発課題への貢献<br>(3) ベネズエラ移民・難民に対する協力の検討(UNHCR等とも連携可能性あり)<br>インターンの方には、効果的な外部との連携方法を模索・検討しつつ、上記事業に参加いただきます。また、その他の南米課業務のサポートも含め担当いただく予定です。<br>※応募書類には、(1)~(3)の中で特に取り組みたい活動に関して記載をお願いします。   |  |   |   |
| <b>■具体的なインターンシップ活動内容</b><br>インターンは、各担当とチームを形成し、以下いずれかの活動を行っていただきます。<br>(1) JICA国別分析ペーパーの作成支援。(対象国:ブラジル、パラグアイ)<br>・対象国の政治、マクロ経済、産業構造等の情報収集、JICA及び他ドナーの協力状況の情報収集と整理補助<br>・JICA内関係部署や、必要に応じて、在外公館、他ドナーやNGO、民間企業との意見交換への参加等<br>(2) TSUBASA:日本のスタートアップ企業の中南米への事業展開支援を通じた、開発課題への貢献<br>・中南米側のイノベーションエコシステムとの連携強化のための、英語・スペイン語・ポルトガル語の広報等のコンテンツ作成およびそれを活用した連携実施<br>・日本側のイノベーションエコシステムとの連携強化のための調査および連携実施<br>(3) ベネズエラ移民・難民に対する協力の検討(UNHCR等とも連携)<br>・コロンビア、ペルー、ブラジル等でのベネズエラ移民・難民に対する協力案検討(JICAの海外拠点や他の国際機関との相談)<br>インターン活動の初めと終わりに、活動内容について中南米部内で発表する機会を設けます。その他、インターンが提案する活動も検討可能です。 |  |   |   |
| <b>■参考情報</b><br>※TSUBASAについては以下サイトをご参照ください。<br><a href="https://tsubasa-jica.com/">https://tsubasa-jica.com/</a>   |  |   |   |
| <b>■参加(同行)可能な行事・視察等</b><br>2023/10/15:パラグアイ・フェスティバル  |  |   |   |
| <b>■受入時期・期間</b><br>2023年8月から12月 までの 2ヶ月間程度<br>上記期間外含めて調整可 理由:  |  |   |   |
|  |  | フルタイム以外の活動体系の可否                           |   |
|  |  | 可   | 週2~5回,2ヶ月間程度                                    |
| <b>■希望する人材(大学生/大学院生/社会人)</b><br>大学生・大学院生・社会人全て可  |  |   |   |
| <b>■応募資格以外に受入れに関し求める要件</b>   |  |   |   |
| 必須   | 国際協力に関心がある、JICAをよく知りたい                     |   |   |
| 望ましい   | 中南米に関心がある                                  |   |   |
| 必須   |  |   |   |
| <b>■提供可能な執務環境等</b>   |  |   |   |
| <input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース   | <input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用 | <input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し | <input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等 |
| <input type="checkbox"/> 携帯電話貸出  | <input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担       |   |   |
| その他(提供可能な事項):  |  |   |   |
| <b>■滞在費目安(一日あたりの食費及び少額交通費)</b>   |  | <b>■宿泊費目安</b>                             |   |
| ※目安金額であり、JICAから支給されるものではありません。   |  |   |   |
|  |  | 円/日                                       | 円/泊   |
| <b>■備考・留意点</b><br>地域部は対象とする地域に係るJICA協力の全体像が把握できる部署であり、また特定の国の複数の開発課題を見ることが出来る部署です。中南米各国の特徴を踏まえた開発の在り方を検討しつつ、JICAの最も大切に根幹となる業務の一部をリアルに体験されたい方、大募集です。  |  |   |   |

2023年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

|  |                                      |   |   |
|--|--------------------------------------|---|---|
| 受入担当部署/国内機関  |                                      | 登録番号                                      | 2301-本06  |
| ■部署名:  | 中南米部                                 | ■募集人数(人)                                  | 1   |
| ■課名:   | 中米・カリブ課                              |   |   |
| ■テーマ<br>中米・カリブ地域における協力の整理と今後の方向性の検討  |                                      |   |   |
| ■テーマの概要<br>中米・カリブ地域における過去の協力を地域及びテーマで整理し、過去のアセットを活用した新規協力につなげる。また、中米・カリブ地域で実施する事業のサポートを通じて国際協力についての理解を深めるとともにこれらをJICA内外に発信し広報力の強化に貢献する。  |                                      |   |   |
| ■具体的なインターンシップ活動内容<br>1. 中米・カリブ地域を中心としたJICA事業の理解促進（ブリーフィング、会議参加等）<br>2. 過去の協力に係る情報収集と整理（中米・カリブ課メンターとの協働）<br>3. 新規事業「環境KIDSエキスパート」やスタートアップ支援「TSUBASA」事業等の支援<br>4. 中米・カリブ地域事業における広報の支援<br>5. キャリアプラン形成に向けたオリエンテーション及びリソースパーソンとの面談の実施<br>6. 会議、外勤等を通じた外部ステークホルダーとの協議への参加<br>7. 関連テーマに関するプレゼンテーションの実践（2回程度） |                                      |   |   |
| ■参考情報  |                                      |   |   |
| ■参加(同行)可能な行事・視察等<br>JICA国内拠点への訪問等  |                                      |   |   |
| ■受入時期・期間<br>2023年7月 から12月 までの 2ヶ月間/週間程度（2週間からの受入も可とする）   |                                      |   |   |
| 上記期間外含めて調整可 理由:  |                                      | フルタイム以外の活動体系の可否                           |   |
|  |                                      | 可   | 週3回, 3ヶ月間程度                                     |
| ■希望する人材（大学生/大学院生/社会人）<br>大学生・大学院生・社会人全て可   |                                      |   |   |
| ■応募資格以外に受入れに関し求める要件  |                                      |   |   |
| 望ましい   | スペイン語能力                              |   |   |
|  |                                      |   |   |
| ■提供可能な執務環境等  |                                      |   |   |
| <input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース   | <input type="checkbox"/> 電話等の利用      | <input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し | <input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等 |
| <input type="checkbox"/> 携帯電話貸出  | <input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担 |   |   |
| その他（提供可能な事項）:  |                                      |   |   |
| ■滞在費目安（一日あたりの食費及び少額交通費）  |                                      | ■宿泊費目安                                    |   |
| ※目安金額であり、JICAから支給されるものではありません。   |                                      |   |   |
|  |                                      | 円/日                                       | 円/泊   |
| ■備考・留意点  |                                      |   |   |

2023年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

|  |                                      |   |   |
|--|--------------------------------------|---|---|
| 受入担当部署/国内機関  |                                      | 登録番号                                      | 2301-本07  |
| ■部署名:  | 中東・欧州部                               | ■募集人数(人)                                  | 3   |
| ■課名:   | ウクライナ支援室                             |   |   |
| ■テーマ<br>日本国内のウクライナ避難民支援とウクライナ復旧・復興支援をつなぐ取り組みの形成・実施   |                                      |   |   |
| ■テーマの概要<br>ロシアによるウクライナ侵略は多くのウクライナの人々の生活に影響を及ぼしています。国外約800万人以上、国内約500万人等の非難を余儀なくされた人々に対する人道支援が継続的に必要な状況です。日本は約2,000人のウクライナ避難民を受け入れており、政府、日本財団、自治体やNGOが中心となり行政手続き含む受入支援や、日本語教育・就労支援等の生活支援が行われています。ウクライナ避難民の多くは将来的にウクライナへの帰国を希望しているものの、戦争の激化・長期化に伴って帰国見通しが立たなくなっており、ストレス緩和、メンタルヘルスケアやコミュニティ形成支援も必要となってきています。JICAは、開発途上国に対する支援に加え、市民参加、民間連携事業、外国人材受入れ・多文化共生支援等の様々な取り組みを実施しています。JICAが実施中の対ウクライナ及び周辺国向けの協力、また全国15か所に有する国内機関を通じた自治体・民間企業・市民社会(NGO・NPO等)との連携により、日本に避難されたウクライナ避難民の方々の抱える課題を解決し、さらにウクライナの復旧・復興につなげる取り組みを一緒に考える熱意ある仲間を募集します |                                      |   |   |
| ■具体的なインターンシップ活動内容<br>1. 日本国内の関係団体からのヒアリングを通じた日本に避難したウクライナ避難民の現状及び課題の把握<br>2. ウクライナ避難民の課題解決に資する活動アイデアの検討・形成・実施<br>3. 活動アイデアの検討・形成・実施を通じて得た学び、また将来の活動アイデア検討に向けたプレゼンテーションの実践<br>4. 日本以外でのウクライナ避難民受け入れの特徴の整理(日本での受け入れへのヒントや教訓等のフィードバックがあればそれらも抽出)<br>5. JICAのウクライナ及び周辺国向けの協力の理解促進  |                                      |   |   |
| ■参考情報<br>・ JICA各国における取り組み・ウクライナ <a href="https://www.jica.go.jp/ukraine/index.html">https://www.jica.go.jp/ukraine/index.html</a><br>・ JICA採用HP「ウクライナ支援の現場」 <a href="https://www.jica.go.jp/recruit/shokuin/frontline/feature/feature07.html">https://www.jica.go.jp/recruit/shokuin/frontline/feature/feature07.html</a>  |                                      |   |   |
| ■参加(同行)可能な行事・視察等<br>・ 関係団体への訪問及び面談、JICA国内機関への訪問等(基本的に関東地域を想定していますが、居住地域等によって応相談)   |                                      |   |   |
| ■受入時期・期間   |                                      |   |   |
| 2023年8月上旬から12月下旬までの3ヶ月間程度  |                                      | フルタイム以外の活動体系の可否                           |   |
| 上記期間外含めて調整可 理由:  |                                      | 可   | 週2回, 2ヶ月間程度                                     |
| ■希望する人材(大学生/大学院生/社会人)  |                                      |   |   |
| 大学生・大学院生・社会人全て可  |                                      |   |   |
| ■応募資格以外に受入れに関し求める要件  |                                      |   |   |
|  |                                      |   |   |
| ■提供可能な執務環境等  |                                      |   |   |
| <input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース   | <input type="checkbox"/> 電話等の利用      | <input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し | <input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等 |
| <input type="checkbox"/> 携帯電話貸出  | <input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担 |   |   |
| その他(提供可能な事項):  |                                      |   |   |
| ■滞在費目安(一日あたりの食費及び少額交通費)  |                                      | ■宿泊費目安                                    |   |
| ※目安金額であり、JICAから支給されるものではありません。   |                                      |   |   |
|  |                                      | 円/日                                       | 円/泊   |
| ■備考・留意点<br>ウクライナ国籍の方も募集します。この場合、英語での意思疎通が可能であれば日本語N1程度の語学力を求めません。  |                                      |   |   |

2023年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

|  |  |   |   |
|--|--|---|---|
| 受入担当部署/国内機関  |  | 登録番号                                      | 2301-本08  |
| ■部署名:  | ガバナンス・平和構築部                                  | ■募集人数(人)                                  | 2   |
| ■課名:   | 平和構築室  |   |   |
| ■テーマ<br>平和構築の主流化(紛争要因配慮・難民・受入れ社会支援の促進)   |  |   |   |
| ■テーマの概要<br>平和構築室では、課題別事業戦略として平和構築グローバルアジェンダを作成し、紛争リスクを低減し、国・社会が危機に対応する能力を強化することを目的に住民から信頼される政府をつくるための制度構築・人材育成と、強靱な社会を形成するためのコミュニティの融和と社会・人的資本の復旧・復興・強化を促進することとしている。また、長期化する難民状況での難民・ホストコミュニティの人々への心理社会ケアのあり方や暴力的過激主義対策として特に若者への効果的なアプローチといった新たな課題にも取り組んでいる。今回募集するインターンは、このような取り組みに係る調査研究発表及び業務補佐を依頼する予定。加えて、12月に予定されているグローバル難民フォーラムに関連した活動など、インターン希望期間に応じた国際イベントの実施・準備に係る活動も依頼する可能性がある。   |  |   |   |
| ■具体的なインターンシップ活動内容<br>以下の取組みを担う。具体的にはインターンの関心に応じ決定する。<br>①提案型研究<br>自身でテーマを定め、調査研究を行い提言等と共にプレゼンする。テーマは応募時に提案し、活動開始後に相談し、決定する。JICA関係者等へのインタビューや関連プロジェクト資料の収集・分析、JICA担当職員等からの助言等を得ながら、自分の意見を含めた提言発表を行う。(参考:過去のテーマ例:緊急時および長期化する危機下の教育と平和構築(2022)、サヘル地域におけるスポーツを活用したIDPとホストコミュニティの信頼構築(2021))<br>②グローバル難民フォーラム関連業務補佐(予定)<br>2023年12月にジュネーブで開催予定のグローバル難民フォーラムに向けた準備などを支援する。<br>③平和構築分野の日本における研修の計画、準備等にかかる業務補佐<br>④その他、関心分野に応じた業務補佐、勉強会、会議等への同席など |  |   |   |
| ■参考情報<br><a href="https://www.jica.go.jp/activities/issues/peace/index.html">https://www.jica.go.jp/activities/issues/peace/index.html</a>   |  |   |   |
| ■参加(同行)可能な行事・視察等   |  |   |   |
| ■受入時期・期間   |  |   |   |
| 2023年 8月 から 12月 までの 2ヶ月間程度   |  | フルタイム以外の活動体系の可否                           |   |
| 上記期間内での調整可 理由:   |  | 可   | 週3回、1~2ヶ月間程度                                    |
| ■希望する人材(大学生/大学院生/社会人)  |  |   |   |
| 大学生・大学院生・社会人全て可  |  |   |   |
| ■応募資格以外に受入れに関し求める要件  |  |   |   |
| 必須   | 平和構築支援に関する基礎的な知識があること                        |   |   |
| 必須   | 自ら選択したテーマについて情報収集・調査・分析し、レポートや論文にまとめた経験があること |   |   |
| ■提供可能な執務環境等  |  |   |   |
| <input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース   | <input type="checkbox"/> 電話等の利用              | <input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し | <input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等 |
| <input type="checkbox"/> 携帯電話貸出  | <input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担         |   |   |
| その他(提供可能な事項):  |  |   |   |
| ■滞在費目安(一日あたりの食費及び少額交通費)  |  | ■宿泊費目安                                    |   |
| ※目安金額であり、JICAから支給されるものではありません。   |  |   |   |
| 円/日  |  | 円/泊                                       |   |
| ■備考・留意点  |  |   |   |



## 2023年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

《理系の方にお勧め》

|   |                                      |   |   |
|---|--------------------------------------|---|---|
| <b>受入担当部署/国内機関</b>  |                                      | <b>登録番号</b>                               | 2301-本09  |
| <b>■部署名：</b>  | ガバナンス・平和構築部                          | <b>■募集人数（人）</b>                           | 1   |
| <b>■課名：</b>   | STI・DX室                              |   |   |
| <b>■テーマ</b>   |                                      |   |   |
| ICT分野に関するJICA事業の業務補助及び研修事業への参加  |                                      |   |   |
| <b>■テーマの概要</b>  |                                      |   |   |
| <p>JICAガバナンス・平和構築部STI・DX室では、開発途上国における、デジタル・データを活かした、人びとの安全を確保する持続可能で強靱な社会、一人ひとりが多様な機会・幸せを実現できる社会の実現を目指した業務を行っています。また、デジタル分野の協力においては、大きく①各分野課題でのDX推進②デジタル社会の基盤整備といった二つの柱を立て、取り組んでいます。（詳細は、参考情報のグローバルアジェンダ『デジタル化の推進』をご覧ください。）</p> <p>本ポストでは、②デジタル社会の基盤整備を中心に業務に携わっていただき、開発途上国及び日本におけるデジタル分野の開発事業についての知見を深めて頂くことを目的に活動いただきます。具体的には、ガバナンス・平和構築部STI・DX室が主管する研修やプロジェクトの打合せへの参加、関連情報のデスクトップ調査等を通じて、JICA事業への理解深化、改善の提案を行っていただくことを想定しています。</p>   |                                      |   |   |
| <b>■具体的なインターンシップ活動内容</b>  |                                      |   |   |
| <p>下記の中から、参加者の関心事項に合わせて活動を行います。<br/>ただし、①の活動は必須とし、それ以外の活動は②③④⑤を想定していますが、育成担当者・参加者と相談の上、決定いたします。</p> <p>① STI・DX室が主管する、研修（国内向け、海外向け）へのオブザーバー参加及び次年度以降の実施に向けた改善策の提案。</p> <p style="text-align: center;">+</p> <p>② 開発途上国のICTインフラ・産業振興・サイバーセキュリティに関する協議への参加<br/>③ 開発途上国のICTインフラ・産業振興・サイバーセキュリティに関する、取り組み（関連政策やドナーの取り組み等）調査<br/>④ 日本・世界の国民IDを活用した公的サービスの好事例や影響等に関する調査<br/>⑤ 自身の研究内容若しくは関心事項でJICA事業へ関連する事項</p>   |                                      |   |   |
| <b>■参考情報</b>  |                                      |   |   |
| <p>・ JICA グローバル・アジェンダ（課題別事業戦略）15. 「デジタル化の促進」<br/> <a href="https://www.jica.go.jp/activities/issues/digital/ei8tc5000005j05-att/digital_text.pdf">https://www.jica.go.jp/activities/issues/digital/ei8tc5000005j05-att/digital_text.pdf</a></p>   |                                      |   |   |
| <b>■参加(同行)可能な行事・視察等</b>   |                                      |   |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2023年8月上旬 国別研修 マレーシア「LEP2.0 コミュニケーション・マルチメディア産業」</li> <li>・ 2023年8月下旬 課題別研修 「サイバーセキュリティ対策強化のための国際法・政策能力向上」</li> <li>・ 2023年9月上旬 課題別研修 「ICT・DX技術の活用による郵便インフラシステムの課題解決」</li> <li>・ 2023年9月下旬 能力強化研修 「デジタル技術の活用」</li> <li>・ 2023年10月中旬 課題別研修 「デジタル時代の政策策定」</li> </ul> <p>*インターンの活動期間及び本人の関心事項を踏まえて、いずれかの研修に参加頂きます。<br/>         *全ての研修は東京近郊で実施されます。<br/>         *国別研修、課題別研修は、研修員受入事業（短期）にあたります。詳細はこちらをご覧ください。<br/>         (https://www.jica.go.jp/tokyo/enterprise/kenshu/index.html)<br/>         *能力強化研修についてはこちらをご覧ください。(https://www.jica.go.jp/recruit/kyokakenshu/top.html)</p> |                                      |   |   |
| <b>■受入時期・期間</b>   |                                      |   |   |
| 2023年 8月 から 10月 までの 1ヵ月程度   |                                      | フルタイム以外の活動体系の可否                           |   |
| 上記期間内での調整可 理由：  |                                      | 可   | 週2、3回、2ヶ月間程度等                                   |
| <b>■希望する人材（大学生/大学院生/社会人）</b>  |                                      |   |   |
| 大学生・大学院生・社会人全て可   |                                      |   |   |
| <b>■応募資格以外に受入れに関し求める要件</b>  |                                      |   |   |
| 望ましい  | 途上国関係者や国際機関関係者と英語でのやり取りが可能である事。      |   |   |
| <b>■提供可能な執務環境等</b>  |                                      |   |   |
| <input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース  | <input type="checkbox"/> 電話等の利用      | <input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し | <input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等 |
| <input type="checkbox"/> 携帯電話貸出   | <input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担 |   |   |
| その他（提供可能な事項）：   |                                      |   |   |
| <b>■滞在費目安（一日あたりの食費及び少額交通費）</b>  |                                      | <b>■宿泊費目安</b>                             |   |
| ※目安金額であり、JICAから支給されるものではありません。  |                                      |   |   |
| 円/日   |                                      | 円/泊                                       |   |
| <b>■備考・留意点</b>  |                                      |   |   |
| リモートでの勤務も可能ですが、出勤必須となる日程もあるため、東京での参加が出来る方を募集いたします。  |                                      |   |   |



2023年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

|   |  |   |   |
|---|--|---|---|
| 受入担当部署/国内機関   |  | 登録番号                                      | 2301-本10  |
| ■部署名:   | 人間開発部                                      | ■募集人数(人)                                  | 1   |
| ■課名:  | 基礎教育グループ基礎教育第一チーム                          |   |   |
| <b>■テーマ</b><br>基礎教育分野における新しい課題への対応及び広報強化支援  |  |   |   |
| <b>■テーマの概要</b><br>人間開発の基盤である基礎教育の改善は国際協力の重要課題です。JICAグローバルアジェンダ「教育」において、基礎教育分野では、SDG4ターゲット4.1「男女の区別なく、無償かつ公正で質の高い初等教育及び中等教育の修了」を重要課題と設定しており、その中でもコロナ禍でより深刻となっている「学習の危機」に対応することを最優先とし、すべての子どもが基礎的な読解力・計算力を身に付けることを目指した協力を実施しています。同時にターゲット4.5に則り、女子、障害児、難民等、取り残された子どもへの教育機会の提供に向け、日本/JICAの強みに応じた協力アプローチを設定しています。これらの大きな目標に向かって着実に成果を上げるべく、これまでのJICA事業の知見や教訓、日本の経験や教訓などを更に有効に活用していくことが望まれています。<br>今回のインターンシップでは、今後のJICAの教育協力で重要となる「教科書・教材開発を通じた学びの改善」、「コミュニティ協働型教育改善（通称：みんなの学校）」、「誰ひとり取り残さない教育改善」等のテーマを設定しています。 |  |   |   |
| <b>■具体的なインターンシップ活動内容</b><br>上記テーマに関連するJICA事業・教育ナレッジマネジメント活動について学んで頂き、関係する職員や専門家、国際協力専門員と議論する機会、会議、勉強会、セミナー等にも参加頂くことを想定しています。特に、JICA、大学有識者、コンサルタント、NGO等関連機関とともに実施する「教育協力ウィーク」においては、教育協力プラットフォームの活動の一環としてインテンシブなテーマ別ディスカッションが行われます。この「教育協力ウィーク」の広報や運営全般のサポートを行いつつ、設定したテーマに関連するセッションにはより深く関わっていただくことを期待しています。  |  |   |   |
| <b>■参考情報</b><br>●JICAグローバルアジェンダ「教育」<br><a href="https://www.jica.go.jp/activities/issues/education/index.html">https://www.jica.go.jp/activities/issues/education/index.html</a><br>●2022年9月実施の教育協力ウィーク概要<br><a href="https://www.jica.go.jp/activities/issues/education/ku57pq000027dz1y-att/education_news_202210.pdf">https://www.jica.go.jp/activities/issues/education/ku57pq000027dz1y-att/education_news_202210.pdf</a>  |  |   |   |
| <b>■参加(同行)可能な行事・視察等</b><br>教育協力ウィーク、内部外部の会議や勉強会、関係部署、専門家、国際協力専門員との協議・ヒアリング  |  |   |   |
| <b>■受入時期・期間</b>   |  |   |   |
| 2023年8月 から 9月 までの 3~4週間程度   |  | フルタイム以外の活動体系の可否                           |   |
| 上記期間内での調整可 理由：教育協力ウィークを9月2週目に実施予定であるため  |  | 可   | 週3回、2ヶ月間程度                                      |
| <b>■希望する人材(大学生/大学院生/社会人)</b><br>大学生・大学院生・社会人全て可   |  |   |   |
| <b>■応募資格以外に受入れに関し求める要件</b>  |  |   |   |
| 望ましい  | 国際教育協力を研究していること                            |   |   |
|   |  |   |   |
| <b>■提供可能な執務環境等</b>  |  |   |   |
| <input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース  | <input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用 | <input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し | <input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等 |
| <input type="checkbox"/> 携帯電話貸出   | <input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担       |   |   |
| その他(提供可能な事項)：   |  |   |   |
| <b>■滞在費目安(一日あたりの食費及び少額交通費)</b>  |  | <b>■宿泊費目安</b>                             |   |
| ※目安金額であり、JICAから支給されるものではありません。  |  |   |   |
| 円/日   |  | 円/泊                                       |   |
| <b>■備考・留意点</b><br>インターンの機会を利用して積極的に教育協力におけるご自身のキャリア育成に取り組みたいと考える意欲のある方のご参加をお待ちしています。  |  |   |   |

2023年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

|  |                                      |   |   |
|--|--------------------------------------|---|---|
| 受入担当部署/国内機関  |                                      | 登録番号                                      | 2301-本11  |
| ■部署名:  | 人間開発部                                | ■募集人数(人)                                  | 1~2   |
| ■課名:   | 高等教育・社会保障グループ高等・技術教育チーム              |   |   |
| <b>■テーマ</b><br>高等・技術教育分野における国際動向調査・大学間ネットワーク強化   |                                      |   |   |
| <b>■テーマの概要</b><br>JICAグローバル・アジェンダ(教育)の「拠点大学強化クラスター」では各国・地域の高等教育セクターを牽引する拠点大学を協力の対象とし、その教育・研究・運営能力の強化を通じて高度人材の育成を促進するとともに、当該国内や周辺国の他大学とのネットワークを構築して留学生受け入れや研究協力を実施することで、当該国・地域の高等教育セクター全体の底上げすることを目標としています。<br><br>この目標の実現に向けて、高等・技術教育チームにて、高等・技術教育分野に関する国際機関等の動向調査、情報の収集・分析や大学間ネットワーク強化、高等・技術教育分野の取り組みに関する活動(広報、セミナー、勉強会/運営支援等)を行っていただきます。   |                                      |   |   |
| <b>■具体的なインターンシップ活動内容</b><br>インターンの受け入れ時期・期間及び関心を踏まえ、以下の両方あるいはいずれかの活動を実施していただきます。<br><br>(1) 高等・技術教育にかかる国際動向の情報収集と分析、資料作成補助<br><br>(2) 大学間ネットワークに関する情報収集と分析、資料作成補助<br><br>この過程でJICA職員や専門家との打ち合わせ、会議・勉強会・セミナー等に準備段階から参加頂くことを想定しています。   |                                      |   |   |
| <b>■参考情報</b><br>・JICAグローバル・アジェンダ(教育)<br><a href="https://www.jica.go.jp/activities/issues/education/index.html">https://www.jica.go.jp/activities/issues/education/index.html</a><br>・JICA 教育協力 ポジションペーパー<br><a href="https://www.jica.go.jp/activities/issues/education/ku57pq00002cy6fc-att/position_paper_education.pdf">https://www.jica.go.jp/activities/issues/education/ku57pq00002cy6fc-att/position_paper_education.pdf</a><br>・JICA 教育だより(JICA教育ナレッジマネジメントネットワーク ニュースレター)<br><a href="https://www.jica.go.jp/activities/issues/education/newsletter.html">https://www.jica.go.jp/activities/issues/education/newsletter.html</a> |                                      |   |   |
| <b>■参加(同行)可能な行事・視察等</b><br>・高等・技術教育分野のプロジェクトカウンターパートを対象とした研修への同行および聴講<br>・その他、同分野の大学関係者とのセミナー、勉強会にも時期が合えば参加可能  |                                      |   |   |
| <b>■受入時期・期間</b>  |                                      |   |   |
| 2023年 8月上旬 から 10月下旬 までの 1ヶ月間程度   |                                      | フルタイム以外の活動体系の可否                           |   |
| 上記期間外含めて調整可 理由:  |                                      | 不可  | 週 回, ヶ月間程度                                      |
| <b>■希望する人材(大学生/大学院生/社会人)</b><br>大学生・大学院生・社会人全て可  |                                      |   |   |
| <b>■応募資格以外に受入れに関し求める要件</b>   |                                      |   |   |
| 望ましい   | 英語 TOEIC730点以上                       |   |   |
| 望ましい   | 教育分野に関する基礎的な知識                       |   |   |
| <b>■提供可能な執務環境等</b>   |                                      |   |   |
| <input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース   | <input type="checkbox"/> 電話等の利用      | <input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し | <input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等 |
| <input type="checkbox"/> 携帯電話貸出  | <input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担 |   |   |
| その他(提供可能な事項):  |                                      |   |   |
| <b>■滞在費目安(一日あたりの食費及び少額交通費)</b>   |                                      | <b>■宿泊費目安</b>                             |   |
| ※目安金額であり、JICAから支給されるものではありません。   |                                      |   |   |
|  |                                      | 円/日                                       | 円/泊   |
| <b>■備考・留意点</b><br>志望理由書では、JICAの高等・技術協力分野での協力について上記の「参考情報」等で情報収集した上で、「具体的なインターンシップ活動内容」(1)(2)のうち、特に関心のあるテーマについて記載ください。  |                                      |   |   |

## 2023年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

《理系の方にお勧め》

|  |  |   |   |
|--|--|---|---|
| <b>受入担当部署/国内機関</b>   |  | <b>登録番号</b>                               | 2301-本12  |
| <b>■部署名：</b>   | 経済開発部                                      | <b>■募集人数（人）</b>                           | 1   |
| <b>■課名：</b>  | 農業・農村開発第一グループ第二チーム                         |   |   |
| <b>■テーマ</b>  |  |   |   |
| 水産資源の管理・活用   |  |   |   |
| <b>■テーマの概要</b>   |  |   |   |
| <p>水産業（漁業及び養殖業）で働く人々は世界でおよそ5,830万人に上ると推定されます。途上国にとって水産物は重要な外貨獲得源でもあり、水産資源の有効活用が期待されています。また、魚は漁村地域において比較的安価に入手できる動物タンパク源でもあり、水産物の振興は栄養価の高い食料の安定供給にも貢献します。</p> <p>一方、近年は、気候変動に伴う海洋環境・沿岸生態系の変化に加え、乱獲による水産資源の減少により、その約3割が持続不可能な利用と評価されており、IUU漁業対策を含む資源管理の取組みが求められています。また、増加する水産物需要への対応として、水産養殖の振興が期待されています。</p> <p>そこで、JICAは、漁村の貧困削減と水産食料の安定供給のため、水産資源の適切な管理・活用による水産業の振興に取り組んでいます。水産分野の協力の中でも、特に、島嶼国を含む開発途上国における水産ブルーエコノミー振興に重点的に取り組むこととしています。本インターンシップでは、これまでの水産分野における技術協力をレビューするとともに、現在実施中の事業の推進に協力いただくことを予定しています。</p> |  |   |   |
| <b>■具体的なインターンシップ活動内容</b>   |  |   |   |
| <p>本インターンシップ・プログラムでは、以下の内容について、担当職員と活動の内容・進め方を相談しつつ、主体的に情報収集・資料作成などを担当いただくことになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ JICAの水産分野協力事業の実績取りまとめと課題分析</li> <li>・ 我が国の水産資源の管理・活用、特に、「共同管理」、「里海」、「6次産業化」などの取り組みの取りまとめと課題分析</li> <li>・ 我が国の水産資源の管理・活用の知見を踏まえたJICAの水産分野協力への提言作成</li> </ul>  |  |   |   |
| <b>■参考情報</b>   |  |   |   |
| <p>世界が抱える課題への取り組み（農業開発／農村開発）<br/> <a href="https://www.jica.go.jp/activities/issues/agricul/index.html">https://www.jica.go.jp/activities/issues/agricul/index.html</a><br/>                     JICAグローバルアジェンダ 農業・農村開発<br/> <a href="https://www.jica.go.jp/activities/issues/agricul/ku57pq00002cubgq-att/agricul_text.pdf">https://www.jica.go.jp/activities/issues/agricul/ku57pq00002cubgq-att/agricul_text.pdf</a></p>   |  |   |   |
| <b>■参加(同行)可能な行事・視察等</b>  |  |   |   |
| JICA水産分野の各種会議へのオブザーバ参加、各種勉強会、在外事務所や専門家へのヒアリング調査  |  |   |   |
| <b>■受入時期・期間</b>  |  |   |   |
| 2023年8月から2023年12月末までの1ヶ月間程度  |  | フルタイム以外の活動体系の可否                           |   |
| 上記期間外含めて調整可 理由：  |  | 可   | 週2-3回, 2ヶ月間程度                                   |
| <b>■希望する人材（大学生/大学院生/社会人）</b>   |  |   |   |
| <b>大学生・大学院生・社会人全て可</b>   |  |   |   |
| <b>■応募資格以外に受入れに関し求める要件</b>   |  |   |   |
| 望ましい   | 理系（特に、水産、農業、理学分野専攻）の学部学科に在籍、または卒業していること    |   |   |
|  |  |   |   |
| <b>■提供可能な執務環境等</b>   |  |   |   |
| <input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース   | <input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用 | <input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し | <input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等 |
| <input type="checkbox"/> 携帯電話貸出  | <input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担       |   |   |
| その他（提供可能な事項）：  |  |   |   |
|  |  |   |   |
| <b>■滞在費目安（一日あたりの食費及び少額交通費）</b>   |  | <b>■宿泊費目安</b>                             |   |
| ※目安金額であり、JICAから支給されるものではありません。   |  |   |   |
| 円/日  |  | 円/泊                                       |   |
| <b>■備考・留意点</b>   |  |   |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本インターンシップを通して、水産分野の国際協力に関する知見を深めたり、会議等に参加する経験を得られます。</li> <li>・ 水産分野に係る知識を必須とはしませんが、円滑な業務の実施のために、水産、農業、理学分野の知見を有していることが望ましいです。</li> <li>・ インターンシップ活動内容は上記テーマを中心としますが、当部で実施するその他関連業務の補助も含む可能性があります。</li> </ul>   |  |   |   |

2023年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

《理系の方にお勧め》

|  |  |   |   |
|--|--|---|---|
| 受入担当部署/国内機関  |  | 登録番号                                      | 2301-本13  |
| ■部署名:  | 経済開発部                                      | ■募集人数(人)                                  | 1   |
| ■課名:   | 農業・農村開発第一グループ第二チーム                         |   |   |
| ■テーマ<br>畜産振興と家畜衛生の強化   |  |   |   |
| ■テーマの概要<br>小規模農家にとって畜産業は貴重な収入源であり、家畜は生計リスクを緩和する資産でもあることから、畜産振興による小規模農家の所得向上が期待されています。また近年、経済成長と人口増加に伴い、畜産物とその加工品の需要が増加傾向にあり、畜産農家にとってのビジネスチャンスが高まっています。<br>一方、畜産物の需要増大に伴う生産の拡大は、家畜疾病の増加に繋がるリスクを生みます。家畜疾病は生産性を阻害する大きな要因の一つであり、家畜衛生の改善が求められています。また、国際貿易の拡大と多様化、人や動物及び畜産物の移動の迅速化により、動物に由来する新興・再興の感染症の発生・伝播のリスクが高まっていますが、途上国では予防、診断、治療サービス体制が十分でなく、こうした感染症を国内及び国際的に拡大、伝播させてしまうことが懸念されています。<br>そこで、JICAは、農家の所得向上と畜産物の安定供給のため、畜産振興と家畜衛生の強化に取り組んでいます。<br>本インターンシップでは、これまでの畜産・家畜衛生分野における技術協力をレビューするとともに、現在実施中の事業の推進に協力いただくことを予定しています。 |  |   |   |
| ■具体的なインターンシップ活動内容<br>本インターンシップ・プログラムでは、以下の内容について、担当職員と活動の内容・進め方を相談しつつ、主体的に情報収集・資料作成などを担当いただくことになります。<br>・JICAの畜産・家畜衛生分野協力事業の実績取りまとめと課題分析<br>・我が国の畜産・家畜衛生、特に、多様な飼養・経営形態に応じた畜産技術、家畜伝染予防、HACCPなどの取り組みの取りまとめと課題分析<br>・我が国の畜産・家畜衛生分野の知見を踏まえたJICAの畜産・家畜衛生分野協力への提言作成  |  |   |   |
| ■参考情報<br>世界が抱える課題への取り組み（農業開発／農村開発）<br><a href="https://www.jica.go.jp/activities/issues/agricul/index.html">https://www.jica.go.jp/activities/issues/agricul/index.html</a><br>JICAグローバルアジェンダ 農業・農村開発<br><a href="https://www.jica.go.jp/activities/issues/agricul/ku57pq00002cubgq-att/agricul_text.pdf">https://www.jica.go.jp/activities/issues/agricul/ku57pq00002cubgq-att/agricul_text.pdf</a>   |  |   |   |
| ■参加(同行)可能な行事・視察等<br>JICA畜産・家畜衛生分野の各種会議へのオブザーバ参加、各種勉強会、在外事務所や専門家へのヒアリング調査   |  |   |   |
| ■受入時期・期間   |  |   |   |
| 2023年8月から2023年12月末までの1ヶ月間程度  |  | フルタイム以外の活動体系の可否                           |   |
| 上記期間外含めて調整可 理由:  |  | 可   | 週2-3回, 2ヶ月間程度                                   |
| ■希望する人材(大学生/大学院生/社会人)  |  |   |   |
| 大学生・大学院生・社会人全て可  |  |   |   |
| ■応募資格以外に受入れに関し求める要件  |  |   |   |
| 望ましい   | 理系(特に、畜産・家畜衛生分野専攻)の学部学科に在籍、または卒業していること     |   |   |
| ■提供可能な執務環境等  |  |   |   |
| <input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース   | <input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用 | <input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し | <input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等 |
| <input type="checkbox"/> 携帯電話貸出  | <input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担       |   |   |
| その他(提供可能な事項):  |  |   |   |
| ■滞在費目安(一日あたりの食費及び少額交通費)  |  | ■宿泊費目安                                    |   |
| ※目安金額であり、JICAから支給されるものではありません。   |  |   |   |
| 円/日  |  | 円/泊                                       |   |
| ■備考・留意点  |  |   |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・本インターンシップを通して、畜産・家畜衛生分野の国際協力に関する知見を深めたり、会議等に参加する経験を得られます。</li> <li>・畜産・家畜衛生分野に係る知識を必須とはしませんが、円滑な業務の実施のために、畜産・家畜衛生分野の知見を有していることが望ましいです。</li> <li>・インターンシップ活動内容は上記テーマを中心としますが、当部で実施するその他関連業務の補助も含む可能性があります。</li> </ul>   |  |   |   |

## 2023年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

### 《理系の方にお勧め》

|  |   |   |   |
|--|---|---|---|
| <b>受入担当部署/国内機関</b>   |   | <b>登録番号</b>                               | 2301-本14  |
| <b>■部署名：</b>   | 経済開発部   | <b>■募集人数（人）</b>                           | 1   |
| <b>■課名：</b>  | 農業・農村開発第一グループ第三チーム                              |   |   |
| <b>■テーマ</b>  |   |   |   |
| 小規模農家向け市場志向型農業振興（SHEPアプローチ）  |   |   |   |
| <b>■テーマの概要</b>   |   |   |   |
| <p>JICAは、従来の「作ってから売る」から「売るために作る」に農家の行動変容を促し、ビジネスとしての農業の実践を促進する「SHEPアプローチ」を活用した農業普及事業をアフリカ、アジア、中南米の各地域で実施するとともに、同アプローチに基づく農業普及事業を実践可能な人材の育成を進めています。また、同アプローチを他ドナー、民間企業等の幅広いアクターに活用してもらうために、効果の検証と発信、事業の実践を通じて得られる知見・教訓の蓄積と共有、遠隔教育・研修システムの開発等のナレッジマネジメントに取り組んでいます。</p> <p>2019年に開催されたTICAD7のサイドイベントにおいて、SHEPアプローチを活用した農業普及を100万人の小規模農家に届け、農家の生計向上を目指す「SHEP100万人宣言」をアフリカ各国関係者、国際農業開発基金（IFAD）、日本企業関係者と共に表明し、2022年8月に開催されたTICAD VIIIでは、これまでの活動及びプロジェクトのインパクト評価の成果を共有しました。</p> <p>2023年上半年期では途上国の行政官を対象にした課題別研修が複数回予定されています。</p> |   |   |   |
| <b>■具体的なインターンシップ活動内容</b>   |   |   |   |
| <p>本インターンシップ・プログラムでは、以下の内容について、担当職員と活動の内容・進め方を相談しつつ、主体的に情報収集・資料作成等を実施いただくことになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ SHEP課題別研修の実施支援</li> <li>・ SHEP専門家意見交換会の実施支援</li> <li>・ SHEP活用案件の分析</li> <li>・ SHEPアプローチの広報に係るレビュー・提案、HPの更新、リーフレット作成など</li> </ul>  |   |   |   |
| <b>■参考情報</b>   |   |   |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ JICA HP「SHEP（市場志向型農業振興）アプローチ」<a href="https://www.jica.go.jp/activities/issues/agricul/approach/shep/index.html">https://www.jica.go.jp/activities/issues/agricul/approach/shep/index.html</a></li> </ul>   |   |   |   |
| <b>■参加(同行)可能な行事・視察等</b>  |   |   |   |
| SHEP専門家意見交換会、SHEPサブタスクフォース会合（JICA内の部署横断的会合）、SHEP課題別研修(国内出張の可能性あり)  |   |   |   |
| <b>■受入時期・期間</b>  |   |   |   |
| 2023年8月 から2023年9月 までの間の 1ヶ月間程度   |   | フルタイム以外の活動体系の可否                           |   |
| 上記期間外含めて調整可 理由：  |   | 可   | 週3回、2ヶ月間程度                                      |
| <b>■希望する人材（大学生/大学院生/社会人）</b>   |   |   |   |
| <b>大学生・大学院生・社会人全て可</b>   |   |   |   |
| <b>■応募資格以外に受入れに関し求める要件</b>   |   |   |   |
| 望ましい   | 農学系または農業経済学に関する分野を専攻する者                         |   |   |
|  |   |   |   |
| <b>■提供可能な執務環境等</b>   |   |   |   |
| <input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース   | <input type="checkbox"/> 電話等の利用                 | <input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し | <input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等 |
| <input type="checkbox"/> 携帯電話貸出  | <input checked="" type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担 |   |   |
| その他（提供可能な事項）：  |   |   |   |
| <b>■滞在費目安（一日あたりの食費及び少額交通費）</b>   |   | <b>■宿泊費目安</b>                             |   |
| ※目安金額であり、JICAから支給されるものではありません。   |   |   |   |
| 円/日  |   | 円/泊                                       |   |
| <b>■備考・留意点</b>   |   |   |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本インターンシップを通して、農業普及分野の国際協力に関する知見を深めたり、国際セミナーに参加する経験を得られます。</li> <li>・ 農業分野に係る知識を必須とはしませんが、インターンプログラムにかかる十分な理解やその円滑な遂行のため、理系であれば農学系を、文系であれば農業経済学関連を大学において専攻していることが望ましいです。</li> <li>・ インターンシップ活動内容は上記テーマを中心としますが、当部で実施するその他関連業務の補助も含む可能性があります。</li> </ul>  |   |   |   |



2023年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

《理系の方にお勧め》

|  |                    |                 |             |
|--|--------------------|-----------------|-------------|
| 受入担当部署/国内機関  |                    | 登録番号            | 2301-本15    |
| ■部署名:  | 経済開発部              | ■募集人数(人)        | 1           |
| ■課名:   | 農業・農村開発第二グループ第四チーム |                 |             |
| ■テーマ<br>アフリカ稲作分野における国際協力に関する情報収集と広報支援業務  |                    |                 |             |
| ■テーマの概要<br>2008年TICAD IVにおいてアフリカでのコメ生産倍増を目指す国際的なイニシアティブ「アフリカ稲作振興のための共同体 (Coalition for African Rice Development: CARD)」を立ち上げた。JICAに加え、アフリカの機関、国際機関等が参画し2018年まで10年間にわたりアフリカでの稲作振興に取り組んだ結果、初期の目標(1,400万t⇒2018年2,800万t)を達成した。しかし、アフリカでの著しいコメ需要の伸長及び食料安全保障の観点から、更なる倍増(2,800万t⇒2030年5,600万t)を目指し、2019年からCARDフェーズ2を開始した。現在は、サブサハラアフリカの計32カ国を対象にコメ生産の強化に向けてRICEアプローチ(Resilience, Industrialization, Competitiveness, Empowerment)の推進、他機関との連携強化、戦略的な人材育成(現地、日本)、本邦民間企業の進出促進支援などに取り組んでいる。 |                    |                 |             |
| ■具体的なインターンシップ活動内容<br>1. アフリカ稲作関連の情報の収集・取りまとめ<br>・分野を絞った情報収集(種子生産、灌漑開発等)<br>・研修事業・稲作人材の整理<br>2. CARDフェーズ2関連の広報活動<br>・関連情報のJICA HPへの掲載<br>・稲作分野の専門家・コンサルタントへの情報発信<br>・CARD関連成果品の取り纏め<br>3. 関連業務補助<br>・イベント開催時の準備補助<br>・資料作成  |                    |                 |             |
| ■参考情報<br><a href="https://www.jica.go.jp/activities/issues/agricul/approach/card.html">https://www.jica.go.jp/activities/issues/agricul/approach/card.html</a><br><a href="https://riceforafrica.net/">https://riceforafrica.net/</a>  |                    |                 |             |
| ■参加(同行)可能な行事・視察等<br>・JICA筑波国際センターにおける稲作関連研修・イベントへの参加<br>・JICAやCARDに関連する機関が実施するセミナー・勉強会への参加   |                    |                 |             |
| ■受入時期・期間<br>2023年8月 から2023年12月末 までの1ヶ月間程度<br>上記期間外含めて調整可 理由:   |                    |                 |             |
|  |                    | フルタイム以外の活動体系の可否 |             |
|  |                    | 可               | 週2回, 2ヶ月間程度 |
| ■希望する人材(大学生/大学院生/社会人)<br>大学生・大学院生・社会人全て可   |                    |                 |             |
| ■応募資格以外に受入れに関し求める要件<br>望ましい 農学または農業経済学に関する分野を専攻、または興味と知識を有すること   |                    |                 |             |
| ■提供可能な執務環境等<br><input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース <input type="checkbox"/> 電話等の利用 <input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し <input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等<br><input type="checkbox"/> 携帯電話貸出 <input checked="" type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担<br>その他(提供可能な事項):  |                    |                 |             |
| ■滞在費目安(一日あたりの食費及び少額交通費)  |                    | ■宿泊費目安          |             |
| ※目安金額であり、JICAから支給されるものではありません。   |                    |                 |             |
|  |                    | 円/日             | 円/泊         |
| ■備考・留意点<br>インターン場所はJICA本部経済開発部内を予定しています。勤務体系は柔軟に対応します。   |                    |                 |             |

2023年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

|  |   |   |   |
|--|---|---|---|
| 受入担当部署/国内機関  |   | 登録番号                                      | 2301-本16  |
| ■部署名:  | 経済開発部   | ■募集人数(人)                                  | 2   |
| ■課名:   | 民間セクター開発グループ第二チーム                                     |   |   |
| ■テーマ<br>「イノベーション創出に向けたスタートアップ・エコシステム構築支援 (Next Innovation with Japan: NINJA)」クラスター事業戦略推進に向けた活動   |   |   |   |
| ■テーマの概要<br>JICAは、2020年1月より「Project NINJA」と題して、開発途上国のスタートアップ・エコシステム構築支援をアフリカで開始しました。Project NINJAの活動を通じて、様々な関係者と連携し、起業啓発活動、起業家が抱える課題の特定・政策提言、企業経営の能力強化（ビジネスコンテストやインキュベーション/アクセラレーションプログラムの支援）などを行っています。また、JICAでは、アフリカのみならずアジアや中南米等、全世界でスタートアップ・エコシステム構築支援を進めるための課題別の戦略として、クラスター事業戦略を策定中です。上記の事業戦略の実施を促進するため、またより良い内容にするため、これまでのアクセラレーションプログラム等の支援活動の効果検証、各種調査による同事業戦略の推進に利用する調査指標の精緻化など、様々な活動の推進が求められています。  |   |   |   |
| ■具体的なインターンシップ活動内容<br>1. クラスター事業戦略の推進に向けたスタートアップ・エコシステムに関する各種調査・分析及び報告書の作成<br>(1) 各国・都市のスタートアップ・エコシステムの発展度合いを測るための各種指標案について、どのような指標であれば入手可能か、どのような値であれば発展していると言えるのか等について、調査・分析を行い、報告書にまとめる。（指標案については経済開発部も一緒に検討します）<br>(2) これまでエチオピア、ナイジェリア、ガーナ等で実施したインキュベーション、アクセラレーションプログラムで支援したスタートアップのフォローアップ（現状確認）を行い、報告書にまとめる。<br>(3) アフリカを中心に進められているスタートアップ法案の比較を行い、報告書にまとめる。<br>(4) 他ドナーが実施するスタートアップ支援の内容について情報収集を行い、報告書にまとめる。<br>2. 広報活動<br>(1) 各国のスタートアップや関係者が参加しているLinkedInの非公開グループの投稿や関係者の招待<br>(2) HP、Facebookへのスタートアップ関連記事の投稿<br>3. 関連するセミナー・イベント、本邦研修及び招へいのサポート（時期が重なれば） |   |   |   |
| ■参考情報<br>Project NINJA HP<br><a href="https://www.jica.go.jp/activities/issues/private_sec/project_ninja/index.html">https://www.jica.go.jp/activities/issues/private_sec/project_ninja/index.html</a>   |   |   |   |
| ■参加(同行)可能な行事・視察等<br>エチオピアからの関係者の本邦研修及び招へい（関西、東京）、専門家の帰国報告会、その他イベントやセミナーに時期が重なれば同行・参加可能。  |   |   |   |
| ■受入時期・期間   |   |   |   |
| 2023年 8月 から 10月 までの 2~3ヶ月間程度   |   | フルタイム以外の活動体系の可否                           |   |
| 上記期間内での調整可 理由:   |   | 可   | 週3回、2~3ヶ月間程度                                    |
| ■希望する人材(大学生/大学院生/社会人)  |   |   |   |
| 大学生・大学院生・社会人全て可  |   |   |   |
| ■応募資格以外に受入れに関し求める要件  |   |   |   |
| 必須   | 民間セクター開発やスタートアップ・エコシステム構築支援の分野に関心があること                |   |   |
| 望ましい   | 関連情報をデスクトップ調査したり、現地スタートアップとメールでやり取りできる程度の英語力          |   |   |
| 望ましい   | スタートアップに関連のある(経営、経済、開発学等)専攻や研究をしている、または関連する仕事に就いていること |   |   |
| ■提供可能な執務環境等  |   |   |   |
| <input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース   | <input type="checkbox"/> 電話等の利用                       | <input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し | <input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等 |
| <input type="checkbox"/> 携帯電話貸出  | <input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担                  |   |   |
| その他(提供可能な事項):  |   |   |   |
| ■滞在費目安(一日あたりの食費及び少額交通費)  |   | ■宿泊費目安                                    |   |
| ※目安金額であり、JICAから支給されるものではありません。   |   |   |   |
| 円/日  |   | 円/泊                                       |   |
| ■備考・留意点<br>インターン場所はJICA本部経済開発部内及び在宅勤務を予定しています。勤務体系は柔軟に対応します。   |   |   |   |



## 2023年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

《理系の方にお勧め》

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| <b>受入担当部署/国内機関</b>  |   | <b>登録番号</b>                               | 2301-本17  |
| <b>■部署名：</b>  | 社会基盤部   | <b>■募集人数（人）</b>                           | 若干名   |
| <b>■課名：</b>   |   |   |   |
| <b>■テーマ</b>   |   |   |   |
| 社会基盤部が所掌する分野（都市・地域開発、運輸・交通、資源・エネルギー）に係る調査研究   |   |   |   |
| <b>■テーマの概要</b>  |   |   |   |
| <p>社会基盤部は都市・地域開発、運輸・交通、資源・エネルギー分野の協力を所掌している。</p> <p>主な取り組みの一例として、都市・地域開発では都市開発マスタープランの策定や民間都市開発を促進する開発手法の導入、運輸交通では道路アセットマネジメントの導入や交通安全に向けた取り組み、環境負荷低減に資する公共交通システムの導入、港湾・空港整備におけるハード及びソフト面の協力、資源・エネルギーでは電力アクセス向上を図るための電力供給力と安定性の強化、気候変動対策を念頭にエネルギー利用の低・脱炭素化、省エネの支援、また持続的な資源開発・利用のための人材育成・留学受入れなどを実施している。</p> <p>テーマについては、当部の所掌に関連している限り自由（別途募集している道路交通安全や、都市・地域開発などは特に歓迎）。ただし、インターン自身が自らの問題意識に基づく調査研究活動を自主的かつ自立的に実施することが大前提であり、当部は関連資料の入手やアクセスへのアドバイス、実務を担う職員とのディスカッションの機会などを提供する。</p> |   |   |   |
| <b>■具体的なインターンシップ活動内容</b>  |   |   |   |
| <p>社会基盤部が所掌する分野に関連した調査研究活動。インターン自らが作成し、当部の助言が反映された研究計画に従って活動する。</p> <p>JICAはインターンに対して、執務場所を提供するとともに、各種の情報提供（一例としてラオス全国橋梁データベース、カンボジア・ノンペン交通量調査結果、アフリカ港湾物流データ等）、JICA職員や専門家等へのヒアリング機会、関連する報告会やセミナーへの参加機会などを提供する。本インターンを通じて日本の国際協力に関する理解を深めて頂くことを期待します。</p>  |   |   |   |
| <b>■参考情報</b>  |   |   |   |
| <a href="https://www.jica.go.jp/activities/index.html">https://www.jica.go.jp/activities/index.html</a>   |   |   |   |
| <b>■参加(同行)可能な行事・視察等</b>   |   |   |   |
| 希望を踏まえて相談   |   |   |   |
| <b>■受入時期・期間</b>   |   |   |   |
| 2023年8月から12月までの最大2ヶ月間（2週間からの受付も可とする）  |   | フルタイム以外の活動体系の可否                           |   |
| 上記期間外含めて調整可 理由：研究内容等も踏まえ応相談   |   | 可   | 週2回、2ヶ月間程度                                      |
| <b>■希望する人材（大学生/大学院生/社会人）</b>  |   |   |   |
| 大学生・大学院生とも可   |   |   |   |
| <b>■応募資格以外に受入れに関し求める要件</b>  |   |   |   |
|   |   |   |   |
| <b>■提供可能な執務環境等</b>  |   |   |   |
| <input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース  | <input type="checkbox"/> 電話等の利用                 | <input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し | <input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等 |
| <input type="checkbox"/> 携帯電話貸出   | <input checked="" type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担 |   |   |
| その他（提供可能な事項）：   |   |   |   |
| <b>■滞在費目安（一日あたりの食費及び少額交通費）</b>  |   | <b>■宿泊費目安</b>                             |   |
| ※目安金額であり、JICAから支給されるものではありません。  |   |   |   |
| 円/日   |   | 円/泊                                       |   |
| <b>■備考・留意点</b>  |   |   |   |
| <p>具体的なインターンシップ活動内容に記載のとおり、学士・修士論文執筆に必要な調査・研究の機会を提供するものであり、テーマ設定や調査等は学生が主体的に行って頂きたいと考えていることから、本ポストへの参加を希望する場合は応募時に研究計画書（様式自由、2ページ程度（A4）。以前に作成済みの研究計画書でも可）を提出すること。</p>   |   |   |   |

2023年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

《理系の方にお勧め》

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| 受入担当部署/国内機関   |   | 登録番号                                      | 2301-本18  |
| ■部署名:   | 社会基盤部   | ■募集人数(人)                                  | 3   |
| ■課名:  | 都市・地域開発グループ   |   |   |
| ■テーマ<br>開発途上国への技術協力と日本の都市・地域開発分野の経験   |   |   |   |
| ■テーマの概要<br>本インターン生には、JICAが定める課題別事業戦略「JICAグローバル・アジェンダ」のうち当グループが推進する都市・地域開発分野に関する目標に基づいて、以下のようなテーマに関係する研究内容を当グループ担当者と相談の上で設定し、報告書を取り纏めて頂きます。<br><br>1) TODと都市再開発の事業促進に係るJICA事業の事例分析と事業促進に向けた方策について<br>2) G空間情報分野における都市開発とG空間の利活用策にかかるJICA事業の事例分析と事業促進に向けた方策について<br>3) 途上国のバス事業におけるDX活用事例の分析とさらなる協力強化に向けた方策について<br>4) 都市開発分野の地域共生にかかる事例の分析と日本の自治体の海外協力にむけた促進策について<br>5) 災害対応強化のためのDX適用にかかるアイデアについて<br><br>インターン生にはこれらに関係しご自身の関心があり、当グループのニーズが認められる研究テーマを主体的に設定・提案頂くことを想定しています。このほか、当グループ事業に関連した会議や研修への参加や、当グループの広報能力強化に向けた改善提案とその一部の実施といった業務にも取り組んで頂く予定です。 |   |   |   |
| ■具体的なインターンシップ活動内容<br>上述のとおり設定する基本テーマに基づき報告書を作成することを想定し、主な活動は以下のとおり：<br>・着任時プリーフィング<br>・JICAの既往協力にかかる情報収集・ヒアリング・分析<br>・日本及び海外の都市・地域開発事業に関する情報収集・分析<br>・他ドナー（世界銀行、アジア開発銀行、UN-HABITAT等）の動向調査（都市・地域開発分野）<br>・報告会用のプレゼンテーション資料の作成・実施<br>・報告書の作成（研究内容にかかる現状分析、課題特定、提言を含む）<br>・JICA内部での都市・地域開発分野に関する勉強会及び各種会議の運営に係る補助業務<br>・都市・地域開発分野に関する各種研修、対外的なイベントや国際会議等への参加や記録・資料収集等の補助業務<br>・都市・地域開発グループHP、Facebook、その他広報関連資料の検証・改善提案・実施   |   |   |   |
| ■参考情報<br>都市・地域開発グループのウェブサイト<br>都市・地域開発分野のJICAグローバルアジェンダ ( <a href="https://www.jica.go.jp/activities/issues/urban/ku57pq00002cu424-att/urban.pdf">https://www.jica.go.jp/activities/issues/urban/ku57pq00002cu424-att/urban.pdf</a> )   |   |   |   |
| ■参加(同行)可能な行事・視察等<br>都市関連事業、課題別研修等へのオブザーバー参加が可能  |   |   |   |
| ■受入時期・期間  |   |   |   |
| 2023年8月から10月までの3ヶ月間程度(より短期での調整も可能)  |   | フルタイム以外の活動体系の可否                           |   |
| 上記期間外含めて調整可 理由:   |   | 可   | 週3-5回程度   |
| ■希望する人材(大学生/大学院生/社会人)   |   |   |   |
| 大学生・大学院生・社会人全て可   |   |   |   |
| ■応募資格以外に受入れに関し求める要件   |   |   |   |
| 望ましい  | 理系の学部学科に在籍、または卒業している方からの応募を歓迎します。特に希望する分野: 土木、都市計画、建築 |   |   |
| ■提供可能な執務環境等   |   |   |   |
| <input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース  | <input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用            | <input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し | <input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等 |
| <input type="checkbox"/> 携帯電話貸出   | <input checked="" type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担       |   |   |
| その他(提供可能な事項): 外勤等がある場合、JICA本部と所定の外勤先を往来する交通費を支給可能(当部公用Suicaの貸出)   |   |   |   |
| ■滞在費目安(一日あたりの食費及び少額交通費)   |   | ■宿泊費目安                                    |   |
| ※目安金額であり、JICAから支給されるものではありません。  |   |   |   |
|   |   | 円/日                                       | 円/泊   |
| ■備考・留意点<br>本人との相談により、首都圏外の地域を訪問する途上国行政官向け研修プログラムへの同行等も検討しています。  |   |   |   |

## 2023年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

《理系の方にお勧め》

|   |                                      |   |   |
|---|--------------------------------------|---|---|
| <b>受入担当部署/国内機関</b>  |                                      | <b>登録番号</b>                               | 2301-本19  |
| <b>■部署名：</b>  | 社会基盤部                                | <b>■募集人数（人）</b>                           | 1   |
| <b>■課名：</b>   | 運輸交通グループ第一チーム                        |   |   |
| <b>■テーマ</b>   |                                      |   |   |
| 道路交通安全に係るJICAと国際機関・他ドナーとの連携に係る調査研究  |                                      |   |   |
| <b>■テーマの概要</b>  |                                      |   |   |
| <p>交通事故が原因で死亡した人は世界で年間 135 万人（WHO、2016 年）に達し、HIV・エイズや結核による死者数を上回っている。利便性の高い運輸交通サービスの実現に伴い顕在化する負の側面への対応として、「道路交通安全」は重要課題と認識されるようになり、SDGsのゴール3.6では「2030年までに交通事故死傷者数を半減する」という目標を掲げている。JICAは運輸交通グローバルアジェンダ「すべての人々が安全かつ安心して移動できる社会の実現に貢献する」を推進しており、「道路交通安全」クラスターでは戦略的に交通事故死者数削減に取り組んでいる。具体的には交通安全に関する技術協力プロジェクト（ダッカ、タイ、カンボジアを実施中）に加え、国際交通安全学会（International Association of Traffic Safety and Sciences：IATSS）が実施する研究部会への参加、IATSS及び大学の先生など外部有識者を委員に招いた課題別支援委員会開催などの取り組みを実施しており、今後、国際機関・他ドナー等との連携はプラットフォーム構築において重要な要素となっている。</p> |                                      |   |   |
| <b>■具体的なインターンシップ活動内容</b>  |                                      |   |   |
| <p>道路交通安全クラスターの取り組みの中で、今後、世界銀行（World Bank：WB）やアジア開発銀行（Asian Development Bank：ADB）など国際機関や他ドナー、国内関係との連携を図りたいと考えている。そのため、今回のインターンシップでは以下の調査研究活動を行っている。</p> <p>①JICAの道路交通安全クラスターの取り組み状況及び方針の把握<br/>                 ②国際機関や他ドナーが実施している道路交通安全に係る取組状況及び方針に係る情報収集（ドナーマッピングなど含む）<br/>                 ③国内関係機関（省庁、大学、民間企業など）が実施している道路交通安全に係る取組状況及び方針に係る情報収集<br/>                 ④上記①～③を踏まえたうえで、JICAと国際機関、他ドナーとの連携のあり方（もしくは住み分け）に係る提言<br/>                 ⑤JICAの道路交通安全クラスターの普及、広報に係る提言</p>   |                                      |   |   |
| <b>■参考情報</b>  |                                      |   |   |
| ①JICA運輸交通グローバルアジェンダ（ <a href="https://www.jica.go.jp/activities/issues/transport/index.html">https://www.jica.go.jp/activities/issues/transport/index.html</a> ）<br>②IATSSイベント（ <a href="https://www.iatss.or.jp/event/list.html">https://www.iatss.or.jp/event/list.html</a> ）   |                                      |   |   |
| <b>■参加（同行）可能な行事・視察等</b>   |                                      |   |   |
| インターン期間中に実施している道路交通安全クラスターの技術協力プロジェクト及び研修事業の会議、打合せ、視察など   |                                      |   |   |
| <b>■受入時期・期間</b>   |                                      |   |   |
| 2023年8月から2023年9月までの 1ヶ月間（2週間からの受付も可とする）   |                                      | フルタイム以外の活動体系の可否                           |   |
| 上記期間内での調整可 理由：  |                                      | 不可  | 週 回, ヶ月間程度                                      |
| <b>■希望する人材（大学生/大学院生/社会人）</b>  |                                      |   |   |
| 大学生・大学院生・社会人全て可   |                                      |   |   |
| <b>■応募資格以外に受入れに関し求める要件</b>  |                                      |   |   |
| 望ましい  | 道路交通安全に関わる基礎知識                       |   |   |
| <b>■提供可能な執務環境等</b>  |                                      |   |   |
| <input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース  | <input type="checkbox"/> 電話等の利用      | <input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し | <input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等 |
| <input type="checkbox"/> 携帯電話貸出   | <input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担 |   |   |
| その他（提供可能な事項）：   |                                      |   |   |
| <b>■滞在費目安（一日あたりの食費及び少額交通費）</b>  |                                      | <b>■宿泊費目安</b>                             |   |
| ※目安金額であり、JICAから支給されるものではありません。  |                                      |   |   |
| 3,000円/日  |                                      | 10,000円/泊                                 |   |
| <b>■備考・留意点</b>  |                                      |   |   |

## 2023年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

《理系の方にお勧め》

|   |  |   |   |
|---|--|---|---|
| <b>受入担当部署/国内機関</b>  |  | <b>登録番号</b>                               | 2301-本20  |
| <b>■部署名:</b>  | 地球環境部                                      | <b>■募集人数 (人)</b>                          | 1   |
| <b>■課名:</b>   | 防災グループ防災第一チーム、第二チーム                        |   |   |
| <b>■テーマ</b>   |  |   |   |
| 防災分野人材・知見の体系化   |  |   |   |
| <b>■テーマの概要</b>  |  |   |   |
| <p>地球環境部防災グループでは、技術協力事業等を通じて途上国における防災の取り組みと防災人材の育成を支援しています。本インターンでは、JICAの防災分野における活動の知識を深められると同時に、過去の防災支援に関する知見と人材のネットワークをとりまとめる業務に携わりながら、より効果的・効率的なJICAの防災支援の環境づくりに貢献できます。防災人材に関しては、研修員・留学生、専門家や開発途上国防災機関職員、日本国内の関係機関・有識者等とのネットワークを構築・強化しています。また防災の知見の体系化においては、洪水、地震、気象等の防災支援分野において、インターン生の関心に応じて、優良事例のとりまとめ、協力効果の検証、その他知見の整理といった業務を期待しています。なお、JICA防災グループでは、防災インフラの整備と重要インフラの強靱化といった構造物対策を中心とした災害リスク削減に注力しており、土木・建築といった知見を持つ職員も多数活躍しています。このため、理系学部をはじめ多様なバックグラウンドの方の応募を歓迎します。</p> |  |   |   |
| <b>■具体的なインターンシップ活動内容</b>  |  |   |   |
| <p>以下の中から、インターン生の関心の高いもの、専門性を考慮して所属部署と話し合った上で詳細な活動内容が決まります。</p> <p>1. 防災人材のネットワーク構築<br/>                 留学生ネットワークの運営・企画（Facebook Groupの管理、留学生間のネットワーキングイベントの企画・実施、広報マテリアルの作成）<br/>                 防災分野の研修員、専門家、防災カウンターパート等の人材のリスト／データベース化。<br/>                 防災人材のネットワーク体系の構想・試行的な取り組みの補助。</p> <p>2. 知識の体系化<br/>                 洪水、地震、気象といった分野において、特定の国における防災強化の事案を検証、とりまとめ。<br/>                 防災グループ内で蓄積された情報の整理と応用・発信（広報）に係る補助的な作業。</p>                                |  |   |   |
| <b>■参考情報</b>  |  |   |   |
| JICAの防災分野における取り組みについて<br><a href="https://www.jica.go.jp/activities/issues/disaster/index.html">https://www.jica.go.jp/activities/issues/disaster/index.html</a>  |  |   |   |
| <b>■参加(同行)可能な行事・視察等</b>   |  |   |   |
| 研修員受入事業の講義・研修等(オンライン含)、技術協力プロジェクト等の先方機関との打ち合わせ・案件形成時の会議などインターン期間中に実施されれば同行可能。   |  |   |   |
| <b>■受入時期・期間</b>   |  |   |   |
| 2023年 8月 から 12月 までの 2ヶ月間以上  |  | フルタイム以外の活動体系の可否                           |   |
| 調整不可  | 理由:  | 可   | 週3回程度   |
| <b>■希望する人材 (大学生/大学院生/社会人)</b>   |  |   |   |
| <b>大学生・大学院生・社会人全て可</b>  |  |   |   |
| <b>■応募資格以外に受入れに関し求める要件</b>  |  |   |   |
| 望ましい  | 防災分野の事業に関心を有すること。                          |   |   |
| 望ましい  | 研修員等とカジュアルなコミュニケーション可能なレベルの英語力。            |   |   |
| 望ましい  | MS Excelによる分析やオンライン会議運営に精通していること。          |   |   |
| <b>■提供可能な執務環境等</b>  |  |   |   |
| <input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース  | <input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用 | <input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し | <input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等 |
| <input type="checkbox"/> 携帯電話貸出   | <input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担       |   |   |
| その他 (提供可能な事項) :   |  |   |   |
| <b>■滞在費目安 (一日あたりの食費及び少額交通費)</b>   |  | <b>■宿泊費目安</b>                             |   |
| ※目安金額であり、JICAから支給されるものではありません。  |  |   |   |
| 円/日   |  | 円/泊                                       |   |
| <b>■備考・留意点</b>  |  |   |   |
| 特になし。   |  |   |   |

2023年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

|   |                               |  |
|---|-------------------------------|--|
| <p style="text-align: center;"><b>受入担当部署/国内機関</b></p>   |                               | <p style="text-align: center;"><b>登録番号</b></p> <p style="text-align: center;">2301-本21</p> |
| <p>■部署名:</p>  | <p>国内事業部</p>                  | <p style="text-align: center;"><b>■募集人数 (人)</b></p> <p style="text-align: center;">2</p>   |
| <p>■課名:</p>   | <p>外国人材受入支援室</p>              |  |
| <p>■テーマ</p> <p>外国人材受入又は多文化共生に関連する活動推進/情報取りまとめ業務</p>   |                               |  |
| <p>■テーマの概要</p> <p>日本において労働力不足・外国人労働者の確保が喫緊の課題となっている中、優秀な外国人材を確保するためには、外国人が安心して働き、生活できるような共生社会の実現に向けた環境整備が必要であり、日本が外国から信頼される国となることが重要である。日本政府は、2019年に「外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策」を策定し、2020年7月の改訂でJICAの取組みが日本政府の施策として位置づけられた。JICAは「信頼で世界をつなぐ」をミッションとしており、開発途上国への国際協力の経験及びこれまでに築き上げた国内外の幅広いネットワークを活用して国内の課題に対しても対応することが期待されている。このような経緯から、JICAは他の企業や団体等と一緒に「責任ある外国人労働者受入れプラットフォーム（略称：JP-MIRAI）」の2020年11月設立に関わるなど、外国人労働者の課題に積極的に対応している。また2021年4月には外国人材受入支援室を設置し、外国人材の適切な受入れ、外国人との共生社会の実現に向けた取り組みを加速している。</p>  |                               |  |
| <p>■具体的なインターンシップ活動内容</p> <p>以下を主要な活動とし、幅広い活動に携わって頂きます。詳細活動内容は、選考過程/インターン決定時に応募者の関心事項を聴きつつ、決定します。</p> <p>(1) 調査研究活動(下記5つより関心のあるテーマを選択・組み合わせで実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>a.) 開発協力における移住と開発の視点の主流化</li> <li>b.) 途上国事業の調査・整理</li> <li>c.) 日本国内の多文化共生に係る事例の収集・とりまとめ・資料作成支援</li> <li>d.) 「移住と開発」分野における他国(他ドナー)のODAの活用状況</li> <li>e.) 日本国内の各産業分野における外国人の雇用状況</li> </ul> <p>(2) 広報・室内庶務</p> <p>JICAが国内事業部外国人材受入支援室及び全国15か所にある国内機関で実施している多文化共生・外国人材受入に関する事業の広報関連業務に取り組み(HPや広報関連情報の整理・作成等を想定)。その他室内関連庶務も状況に応じて行う。</p> <p>(3) その他(応募者の関心に沿って実施する可能性のある内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 移住と開発ゼミ補佐</li> <li>・ 途上国での案件形成補佐</li> <li>・ Temporary Labor Migration Programsの横断的調査、等</li> </ul>  |                               |  |
| <p>■参考情報</p> <p>外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策<br/> <a href="https://www.moj.go.jp/isa/policies/coexistence/nyuukokukanri01_00140.html">https://www.moj.go.jp/isa/policies/coexistence/nyuukokukanri01_00140.html</a><br/>                 責任ある外国人労働者受入れプラットフォーム(JP-MIRAI)ウェブサイト<br/> <a href="https://jp-mirai.org/jp/">https://jp-mirai.org/jp/</a></p> <p>JICA関連情報(外国人材受入支援、調査研究)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外国人材受入れ・多文化共生支援   事業ごとの取り組み   事業・プロジェクト - JICA<br/> <a href="https://www.jica.go.jp/activities/schemes/multicultural/index.html">https://www.jica.go.jp/activities/schemes/multicultural/index.html</a></li> <li>・ 外国人材受入れ支援   JICA in Action   JICA<br/> <a href="https://www.jica.go.jp/about/at_a_glance/action_FHR.html">https://www.jica.go.jp/about/at_a_glance/action_FHR.html</a></li> <li>・ 2030/40年の外国人との共生社会の実現に向けた取り組み調査・研究報告書   出版物 - JICA緒方研究所<br/> <a href="https://www.jica.go.jp/jica-ri/ja/publication/booksandreports/20220331_01.html">https://www.jica.go.jp/jica-ri/ja/publication/booksandreports/20220331_01.html</a></li> </ul> |                               |  |
| <p>■参加(同行)可能な行事・視察等</p> <p>インターン期間中に開催されるJP-MIRAI又はJP-MIRAI会員企業等が開催するイベント等</p>  |                               |  |
| <p>■受入時期・期間</p> <p>2023年7月から12月のうち、2か月以上。出社や勤務の頻度は相談可能です。(大学の夏休み時期である、7月末~8月頭に開始し、9月末~10月頃までを想定していますが、実施時期は学業や希望業務との関わりで要相談・調整可能です。)</p> <p>上記期間外含めて調整可 理由:</p>   |                               |  |
|   |                               | フルタイム以外の活動体系の可否  |
|   |                               | 可 週2-3回、3ヶ月間程度   |
| <p>■希望する人材(大学生/大学院生/社会人)</p> <p style="text-align: center;">大学生・大学院生・社会人全て可</p>   |                               |  |
| <p>■応募資格以外に受入れに申し求める要件</p>  |                               |  |
| 望ましい  | 外国人材受入支援・多文化共生社会構築に係る活動・研究の経験 |  |
| 望ましい  | 移民政策、統合政策に係る研究の経験             |  |
| <p>■提供可能な執務環境等</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース      <input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用      <input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し      <input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等</p> <p><input type="checkbox"/> 携帯電話貸出      <input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担</p> <p>その他(提供可能な事項):</p>  |                               |  |
| <p>■滞在費目安(一日あたりの食費及び少額交通費)</p> <p style="text-align: center;">※目安金額であり、JICAから支給されるものではありません。</p> <p style="text-align: right;">円/日</p>  |                               | <p>■宿泊費目安</p> <p style="text-align: right;">円/泊</p>  |
| <p>■備考・留意点</p> <p>活動内容補足</p> <p>a.) JICA及び各国の開発協力について分析・調査を行う。労働者の脆弱層の一類型として移住労働者を捉え、途上国事業における移住と開発の視点の主流化についても検討する。</p> <p>b.) 途上国で実施している①労働・雇用・送付等にかかる法・政策・制度の整備・運用の適正化・国際標準への適合(労働者の人権保護)に関する事業、②産業人材育成・貿易投資促進等を主目的とした協力・取組、③外国人材との共生社会の実現を主目的とした取組(多文化共生等)について、移住と開発の観点から調査を行う。</p> <p>c.) 開発途上国と関連した多文化共生に係るJICA国内拠点による事例のとりまとめ、他地域でも取り組み可能な教訓を抽出する。</p> <p>d.) 主に先進国各国において、国際的な人の移動や移住と開発に関連した人的資本の開発に係る戦略・方針やODA事業がどのように行われているのかを調査する。</p> <p>e.) 国内各産業(農業、漁業等)がどのくらいの(日本人の)就労人口を有し、そのうち外国人労働者が占める割合や果たす役割がどのようなものかについて調査し、将来の外国人受け入れについて考える。</p>  |                               |  |



2023年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

|   |  |   |   |
|---|--|---|---|
| 受入担当部署/国内機関   |  | 登録番号                                      | 2301-本22  |
| ■部署名:   | 調達・派遣業務部   | ■募集人数(人)                                  | 2~4   |
| ■課名:  | 契約第三課  |   |   |
| ■テーマ  |  |   |   |
| 「調達」を体験し、国際協力人材としての競争力を高めよう！<br>国際協力事業に将来携わりたい人必見。JICA事業を支える「調達」業務を知ろう。(調達手続きや調達業務取りまとめの補助)   |  |   |   |
| ■テーマの概要   |  |   |   |
| 我々が普段の生活をするために食べ物やサービスを購入するように、JICAは事業をするために様々なものを外部から調達しています。例えば、JICAが事業を実施したり、何らかの活動を行う際、多くの協力企業と協働したり、外部から物品等を調達しています。従い、協力企業を選んだり、必要な物品等を調達するための諸手続はJICAにとって必須の機能であるとともに、事業や活動の成否を大きく左右する要素にもなるのです。<br>本プログラムでは、①調達計画、②入札(公告、入札会など)、③契約、④業務完了後の検査・経費精算などの一連の調達プロセスを経験することにより、公共調達について理解を深めていただきます。JICA事業に携わっていきたい方も含め、国際協力分野を目指す人にとって公共調達の大原則、適正な調達プロセスを理解することは不可欠であり、JICAの調達における考え方をすることは非常に有益です。JICAは公的機関として、調達の三原則である「競争性・透明性・公平性」の維持とより効率的な手続きの両立を目指しており、一連の調達プロセスを経験した参加者からの気づきや改善点にかかる提案にも期待しています。  |  |   |   |
| ■具体的なインターンシップ活動内容   |  |   |   |
| 本プログラムを通じて、以下の点を中心に調達・派遣業務部の役割と機能に対する理解を深めていただきます。<br>・JICAの活動概要<br>・JICAにおける調達・派遣業務部の位置づけ、役割<br>・公共調達とは<br>・調達・派遣業務部内の各機能<br>・契約の手順と事業担当部との関係<br>上記について理解を深めていただくために、各業務の担当(調達・派遣業務部職員)の支援のもと、以下の活動を行っていただく予定です。<br>1. 調達手続き補助<br>・事業担当部と調達実施方針の打合せ(入札書類の内容確認を含む)<br>・入札書類作成補助<br>・入札会立ち合い(電子入札)<br>・落札業者との契約関連打ち合わせ<br>・納入物品(機材)の立ち合い検査補助<br>・精算手続き補助<br>・調達関連勉強会・セミナー等開催補助<br>2. インターン結果の発表、業務改善の提言<br>3. オプション(インターン生のご希望に応じ、相談のうえ決定します。以下は参考例です。)<br>・RPA(PC上のソフトウェア型のロボット)を活用した調達プロセス効率化補助<br>・契約手続きマニュアルの見直し補助<br>・入札書類の見直し補助<br>・調達業務に関する統計作成補助<br>・調達ウェブサイトの改修補助<br>・JICA国内機関の視察 |  |   |   |
| ■参考情報   |  |   |   |
| JICA調達情報 <a href="https://www.jica.go.jp/announce/index.html">https://www.jica.go.jp/announce/index.html</a><br>国際キャリア総合情報サイト <a href="https://partner.jica.go.jp/">https://partner.jica.go.jp/</a>   |  |   |   |
| ■参加(同行)可能な行事・視察等  |  |   |   |
| 入札会等への立ち合い、納入物品(機材)の立ち合い検査への同行、JICA国内機関(首都圏)の視察   |  |   |   |
| ■受入時期・期間  |  |   |   |
| 2023年 7月 から 9月 までの3ヶ月間程度  |  | フルタイム以外の活動体系の可否                           |   |
| 上記期間外含めて調整可   |  | 可   | 週3-4回、2-3ヶ月間程度                                  |
| ■希望する人材(大学生/大学院生/社会人)   |  |   |   |
| 大学生・大学院生・社会人全て可   |  |   |   |
| ■応募資格以外に受入れに關し求める要件   |  |   |   |
| 必須  | 開発分野や公共調達に対する関心  |   |   |
| 必須  | 事務処理能力(Microsoft Word, Excel, Power pointなどを用いた資料作成等、多くの事務作業があります) |   |   |
| 必須  | Microsoft Teamsなどを利用したオンライン会議を行った経験                                |   |   |
| ■提供可能な執務環境等   |  |   |   |
| <input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース  | <input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用                         | <input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し | <input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等 |
| <input type="checkbox"/> 携帯電話貸出   | <input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担                               |   |   |
| その他(提供可能な事項):   |  |   |   |
| ■滞在費目安(一日あたりの食費及び少額交通費)   |  | ■宿泊費目安                                    |   |
| ※目安金額であり、JICAから支給されるものではありません。  |  |   |   |
|   |  | 円/日                                       | 円/泊   |
| ■備考・留意点   |  |   |   |
| ・入札・個人情報等、機微な情報に触れる部署です。活動を通じて得られた情報に係る守秘義務を、本活動参加後も厳守願います。<br>・JICAの調達は国内外での活動を支える専門家の調達に加えて、日本国内での作業を主とする各種契約(広報・人事・情報システム・建設工事・事務支援などの分野に係る調達)、海外での活動に必要な機材などの物品の調達など様々な契約がありますが、当課は後者の国内を対象とする調達業務を担っています。  |  |   |   |

2023年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

|  |       |          |          |
|--|-------|----------|----------|
| 受入担当部署/国内機関  |       | 登録番号     | 2301-本23 |
| ■部署名:  | 評価部   | ■募集人数(人) | 1        |
| ■課名:   | 評価企画課 |          |          |
| ■テーマ<br>インパクト評価(インパクト評価事例集及びセクター事例集の作成)  |       |          |          |
| ■テーマの概要<br>昨今、多くの援助機関が、更なる事業効果の向上、事業の質の改善のために、エビデンス(根拠)に基づく事業実施(Evidence-Based Practice:EBP)を推進しており、その主要なツールとして、インパクト評価を重視しています。JICAでは、保健、教育、農業をはじめとした様々な分野の事業でインパクト評価を実施するとともに、アカデミアでの発信も視野に入れた学術的研究も推進しています。JICAは、評価の目的やニーズから優先度を検討して、インパクト評価を選択的に行っています。新しいアプローチや将来的なスケールアップが想定されている事業に対しては、積極的にインパクト評価を組み込み、その結果得られた信頼性の高い根拠を、事業実施や相手国の政策決定に活用・反映していくことを目指しています。今回のテーマでは、JICAが過去に実施したインパクト評価の事例や、他機関が発行した報告書などの文献から情報収集を行い、事例集やセクター事例集をまとめて頂く予定です。   |       |          |          |
| ■具体的なインターンシップ活動内容<br>①国際機関、NGOが実施しているインパクト評価の最新事例に関する情報収集、文献分析(セクター事例集の作成)<br>他機関(3ie、J-PAL、世界銀行等)が発行しているインパクト評価の報告書等について情報収集し、セクターごとに分類して、主要な報告書の概要及びリンク先を記載した要約を、評価部が指定するフォーマットに沿って日本語で作成する。<br>②インパクト評価の実施事例の要約の作成(インパクト評価事例集の作成)<br>JICA、国際機関やNGOが実施したインパクト評価の報告書及び論文について、評価部が指定するフォーマットに沿って要約を作成、事例集としてまとめる。要約は各事例につき2-3ページ、対象件数は7件程度となります。対象セクターは、保健、教育、民間セクター、インフラ等を予定しています。なお、情報収集する文献は英文ですが、要約は日本語で作成頂きます。<br>①及び②の要約の作成においては、評価部職員や国際協力専門員から助言を行います。<br>③その他<br>評価部におけるその他活動もお願いする可能性がございます。(JICA事業の評価指標の確認・取り纏め作業、評価報告書における教訓の取りまとめ・整理など)   |       |          |          |
| ■参考情報<br>・JICA事業評価の概要<br><a href="https://www.jica.go.jp/activities/evaluation/ku57pq000001n698-att/development_evaluation.pdf">https://www.jica.go.jp/activities/evaluation/ku57pq000001n698-att/development_evaluation.pdf</a><br>・JICAインパクト評価の概要(実施済のインパクト評価の報告書が掲載されています)<br><a href="https://www.jica.go.jp/activities/evaluation/impact.html">https://www.jica.go.jp/activities/evaluation/impact.html</a><br>・JICA評価年報(インパクト評価の紹介ページがあります)<br><a href="https://www.jica.go.jp/activities/evaluation/general_new/index.html">https://www.jica.go.jp/activities/evaluation/general_new/index.html</a> |       |          |          |
| ■参加(同行)可能な行事・視察等   |       |          |          |
| ■受入時期・期間<br>2023年8月 から12月 までの2ヶ月間程度<br>上記期間外含めて調整可 理由:<br>フルタイム以外の活動体系の可否<br>可 週2~3回,2ヶ月間程度  |       |          |          |
| ■希望する人材(大学生/大学院生/社会人)<br>大学生・大学院生・社会人全て可   |       |          |          |
| ■応募資格以外に受入れに関し求める要件<br>望ましい インパクト評価に関する知識  |       |          |          |
| ■提供可能な執務環境等<br><input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース <input type="checkbox"/> 電話等の利用 <input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し <input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等<br><input type="checkbox"/> 携帯電話貸出 <input checked="" type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担<br>その他(提供可能な事項):  |       |          |          |
| ■滞在費目安(一日あたりの食費及び少額交通費)  |       | ■宿泊費目安   |          |
| ※目安金額であり、JICAから支給されるものではありません。   |       |          |          |
| 円/日  |       | 円/泊      |          |
| ■備考・留意点<br>・執務スペースは用意しますが、状況に応じて在宅での業務も可能です。   |       |          |          |



2023年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

|   |                                      |   |                                      |
|---|--------------------------------------|---|--------------------------------------|
| 受入担当部署/国内機関   |                                      | 登録番号                                      | 2301-本24                             |
| ■部署名:   | 評価部                                  | ■募集人数(人)                                  | 1                                    |
| ■課名:  | 事業評価第二課                              |   |                                      |
| <b>■テーマ</b><br>事業評価(教訓活用状況の整理)  |                                      |   |                                      |
| <b>■テーマの概要</b><br>JICAの事業評価は、過去に実施した事業から得られる学びを通して事業のさらなる改善を図る(学習と改善)とともに日本国民や相手国関係者等に事業評価の結果を適時に公開すること(説明責任)を目的としている。特に、「評価による事業の改善」については、途上国の現場における多様な事業経験を通じて蓄積された教訓を活用・反映し、途上国の複雑かつ困難な開発課題の解決に向けたより効果的な事業を実施していくことが重要である。こうした認識のもと、評価部ではこれまで事業評価制度の拡充・強化を図るとともに、様々な分野課題に関する教訓を整理・分析して実用性・汎用性の高いナレッジ(知識)として取りまとめ、評価結果の事業へのフィードバックを推進している。<br><br>今回の活動は、事後評価の対象案件について、案件計画段階において過去の類似案件から教訓を活用した優良事例を抽出し、活用の背景やどのような教訓が有用であるか類型化を図る。また、これまで事後評価を実施した開発政策借款を対象としてその教訓の類型化を図り、案件形成に活用するため手引き案を作成し、更なる教訓の活用を促進することを目的としている。 |                                      |   |                                      |
| <b>■具体的なインターンシップ活動内容</b><br>①事後評価案件における教訓活用事例の抽出・整理<br>現在事後評価を実施中の案件から、過去の類似案件の教訓を活用している優良案件を抽出し、活用に至った背景や活用についての工夫について整理を図る。活動の結果は、別途、事業評価年報の記事としてまとめることを想定している。<br>②開発政策借款の事後評価における教訓整理<br>過去の実施した開発金融借款の事後評価における教訓を分野ごとに整理し、今後の案件形成に活用することを想定した教訓活用の手引きを作成する。<br>③評価実務の実施<br>技術協力や資金協力の事前評価・事後評価にかかる評価実務の一部を活動として実施する<br>④インパクト評価にかかる活動<br>インターンが希望する場合、評価部が実施するインパクト評価にかかる実務の一部を活動として実施する。  |                                      |   |                                      |
| <b>■参考情報</b><br>・JICA事業評価の概要<br><a href="https://www.jica.go.jp/activities/evaluation/ku57pq000001n698-att/development_evaluation.pdf">https://www.jica.go.jp/activities/evaluation/ku57pq000001n698-att/development_evaluation.pdf</a><br>・JICA評価年報<br><a href="https://www.jica.go.jp/activities/evaluation/general_new/index.html">https://www.jica.go.jp/activities/evaluation/general_new/index.html</a>   |                                      |   |                                      |
| <b>■参加(同行)可能な行事・視察等</b><br>評価部内での勉強会等   |                                      |   |                                      |
| <b>■受入時期・期間</b>   |                                      |   |                                      |
| 2023年 8月 から 10月 までの 2ヶ月間程度  |                                      | フルタイム以外の活動体系の可否                           |                                      |
| 上記期間外含めて調整可 理由:   |                                      | 可   | 週2-3回、2ヶ月間程度                         |
| <b>■希望する人材(大学生/大学院生/社会人)</b><br>大学生・大学院生・社会人全て可   |                                      |   |                                      |
| <b>■応募資格以外に受入れに関し求める要件</b>  |                                      |   |                                      |
| 望ましい  | 国際協力に関する基礎知識                         |   |                                      |
|   |                                      |   |                                      |
| <b>■提供可能な執務環境等</b>  |                                      |   |                                      |
| <input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース  | <input type="checkbox"/> 電話等の利用      | <input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し | <input type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等 |
| <input type="checkbox"/> 携帯電話貸出   | <input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担 |   |                                      |
| その他(提供可能な事項):   |                                      |   |                                      |
| <b>■滞在費目安(一日あたりの食費及び少額交通費)</b>  |                                      | <b>■宿泊費目安</b>                             |                                      |
| ※目安金額であり、JICAから支給されるものではありません。  |                                      |   |                                      |
|   |                                      | 円/日                                       | 円/泊                                  |
| <b>■備考・留意点</b>  |                                      |   |                                      |

2023年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

|  |  |   |   |
|--|--|---|---|
| 受入担当部署/国内機関  |  | 登録番号                                      | 2301-本25  |
| ■部署名:  | 青年海外協力隊事務局   | ■募集人数(人)                                  | 2   |
| ■課名:   | 国内グループ参加促進課  |   |   |
| ■テーマ<br>JICA海外協力隊事業における広報活動の強化   |  |   |   |
| ■テーマの概要<br>青年海外協力隊として1965年に始まったJICA海外協力隊はこれまで累計で55,000人以上の隊員を派遣、コロナ禍以前は常時2,000名の隊員が世界70か国以上で活躍していた。新型コロナによる全隊員の一時帰国後、現在は860人程度まで派遣規模を回復、コロナ禍以前の派遣規模の回復に向けて広報活動の強化が求められている。また、帰国隊員の多くが日本社会で活躍しており、事業理解の促進の観点からJICAでは、帰国隊員の社会還元に関する広報にも力を入れている。<br>先般募集を行った第1回JICA帰国隊員社会還元表彰には多数の応募があり、この表彰者への取材を行い、応募を考える人へのメッセージなどを撮りためて、JICA海外協力隊ウェブサイトで発信し事業広報強化につなげる。表彰者以外にも、気象庁長官や諏訪理宇宙飛行士候補をはじめとした社会で活躍している元隊員への取材も対象に含まれる可能性がある。<br>また20代、30代といった若い世代へダイレクトにメッセージを届けるため、青年海外協力隊事務局ではInstagramの開設を予定していることから、同SNSを使った発信強化に貢献できそうな素材の収集、編集も行う。 |  |   |   |
| ■具体的なインターンシップ活動内容<br>2023年秋募集に向け、帰国した隊員の活躍を周知するために、国内外での活躍の著しく知名度の高い元隊員、社会還元表彰で表彰者等への取材、インタビューを通してJICA海外協力隊ウェブサイトに掲載する映像素材を集め、編集する。作成頻度としては、1週間に1本程度を目安として、取材及び編集を行い、提供することが目標。<br>インターンは2名体制とし、1名は主に撮影を担当し、もう1名は取材を担当するなどチームを組んで業務を行う。ただしこれは募集時の想定であり、配置されたインターンの人数や特技、関心などの状況等に応じて、業務の内容を調整することとしたい。<br><br>また、取材スケジュールによって時間的な余裕がある場合には、JICAの在外事務所から写真等の広報素材を入手し、今後Instagram等を開設した場合の広報資料とし整理と精査を行う。また、在外事務所から動画を集める際に若者の興味喚起を引き起こすようなテーマを検討し、提案する。   |  |   |   |
| ■参考情報<br>JICA海外協力隊 <a href="https://www.jica.go.jp/volunteer/index.html">https://www.jica.go.jp/volunteer/index.html</a><br>帰国後の日本国内への社会還元 <a href="https://www.jica.go.jp/volunteer/shakaikangen/index.html">https://www.jica.go.jp/volunteer/shakaikangen/index.html</a><br>帰国後のキャリア <a href="https://www.jica.go.jp/volunteer/people/index.html">https://www.jica.go.jp/volunteer/people/index.html</a>   |  |   |   |
| ■参加(同行)可能な行事・視察等<br>社会還元表彰された元協力隊員OVを中心にした取材。その他、社会的に活躍しているOVの取材。  |  |   |   |
| ■受入時期・期間   |  |   |   |
| 2023年 8月 から 9月 までの 4-6週間程度   |  | フルタイム以外の活動体系の可否                           |   |
| 上記期間外含めて調整可 理由:  |  | 可   | 週2-4回, 2ヶ月間程度                                   |
| ■希望する人材(大学生/大学院生/社会人)  |  |   |   |
| 大学生・大学院生・社会人全て可  |  |   |   |
| ■応募資格以外に受入れに関し求める要件  |  |   |   |
| 望ましい   | 素材となる写真や動画の撮影、編集などの経験があること。その判断材料として具体的な経験(個人のSNSアカウントでの発信動画は除く)を記載、あるいはリンクの共有をお願いします。 |   |   |
|  |  |   |   |
| ■提供可能な執務環境等  |  |   |   |
| <input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース   | <input type="checkbox"/> 電話等の利用  | <input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し | <input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等 |
| <input type="checkbox"/> 携帯電話貸出  | <input checked="" type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担  |   |   |
| その他(提供可能な事項): 取材等に伴う交通費、出張旅費についてはJICA側で負担  |  |   |   |
| ■滞在費目安(一日あたりの食費及び少額交通費)  |  | ■宿泊費目安                                    |   |
| ※目安金額であり、JICAから支給されるものではありません。   |  |   |   |
| 円/日  |  | 円/泊                                       |   |
| ■備考・留意点<br>撮影に使用するカメラ、編集用PC等最低限のものはJICA側で用意するが、使い慣れた本人所有の機材、PCの活用も可能。  |  |   |   |

2023年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

|  |                                      |   |   |
|--|--------------------------------------|---|---|
| 受入担当部署/国内機関  |                                      | 登録番号                                      | 2301-本26  |
| ■部署名:  | 青年海外協力隊事務局                           | ■募集人数(人)                                  | 1   |
| ■課名:   | 海外グループ海外業務第二課                        |   |   |
| ■テーマ<br>JICA海外協力隊によるグローバルアジェンダへの取り組み状況の調査  |                                      |   |   |
| ■テーマの概要<br>JICAは、途上国の政府・人々はもちろん、国内外のさまざまなパートナーと協働してSDGs達成に貢献するため、20の「JICAグローバル・アジェンダ」を設定している。これまでもJICA海外協力隊は開発途上国の発展に貢献してきたが、2022年度からは、明示的にJICA海外協力隊とJICAグローバル・アジェンダを結びつけ、全体としてより大きなインパクトを目指している。具体的には、JICA海外協力隊と親和性が高い9つの分野（算数教育、アフリカにおける稲作、SHEP、栄養、水・衛生、廃棄物、観光、自然環境保全、母子保健）において、JICAがこれまでに蓄積した知見やネットワークをJICA海外協力隊に提供することで、JICA海外協力隊の活動を強化したり、JICA海外協力隊の強みである草の根の活動を通じて得た情報をJICAに提供することで、事業のあり方を改善する等、これまではない価値を生み出そうとしている。本インターンシップでは、これらの取り組みについて、既存の情報の収集と整理や関係者へ聞き取りやアンケートを実施することにより、これまでの成果と改善提案、今後の方向性について検討する。 |                                      |   |   |
| ■具体的なインターンシップ活動内容<br>本インターンシップ・プログラムでは、以下の内容について、担当職員と業務の内容・進め方を相談しつつ、主体的に情報収集・資料作成等を実施する。<br>1) グローバル・アジェンダ及びJICA海外協力隊グローバル・アジェンダ案件に関する既存情報の収集と整理<br>2) これまでの取り組みや実施方法の改善等に関する関係者への聞き取り、アンケートの実施<br>3) アンケート結果の取りまとめ及び分析<br>4) 最終報告書の取りまとめ  |                                      |   |   |
| ■参考情報<br>・ JICAグローバルアジェンダ（課題別事業戦略）<br><a href="https://www.jica.go.jp/publication/pamph/issues/global_agenda.html">https://www.jica.go.jp/publication/pamph/issues/global_agenda.html</a><br>・ JICA海外協力隊<br><a href="https://www.jica.go.jp/volunteer/index.html">https://www.jica.go.jp/volunteer/index.html</a>  |                                      |   |   |
| ■参加(同行)可能な行事・視察等   |                                      |   |   |
| ■受入時期・期間<br>2023年8月から11月までの2ヶ月間程度<br>上記期間内での調整可 理由:  |                                      |   |   |
|  |                                      | フルタイム以外の活動体系の可否                           |   |
|  |                                      | 可   | 週2~3回, 2ヶ月間程度                                   |
| ■希望する人材(大学生/大学院生/社会人)<br>大学院生・社会人とも可   |                                      |   |   |
| ■応募資格以外に受入れに関し求める要件  |                                      |   |   |
| 望ましい   | 青年海外協力隊の活動に関心があること                   |   |   |
|  |                                      |   |   |
| ■提供可能な執務環境等  |                                      |   |   |
| <input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース   | <input type="checkbox"/> 電話等の利用      | <input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し | <input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等 |
| <input type="checkbox"/> 携帯電話貸出  | <input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担 |   |   |
| その他(提供可能な事項):  |                                      |   |   |
| ■滞在費目安(一日あたりの食費及び少額交通費)  |                                      | ■宿泊費目安                                    |   |
| ※目安金額であり、JICAから支給されるものではありません。   |                                      |   |   |
|  |                                      | 円/日                                       | 円/泊   |
| ■備考・留意点  |                                      |   |   |

## 2023年度第一回 JICAインターンシップ・プログラム 国内機関ポスター一覧

| 登録番号      | 担当部署              | 募集人数 | テーマ  |
|-----------|-------------------|------|--|
| 2301-国 01 | 北海道センター 道東業務課     | 3    | 【短期型】国際協力を通じた地方創生・SDGsへの貢献ー農業・環境・観光の地域資源を活かして                                    |
| 2301-国 02 | 北海道センター 道東業務課     | 2    | 【長期型】国際協力を通じた地方創生・SDGsへの貢献ー農業・環境・観光の地域資源を活かして                                    |
| 2301-国 03 | 筑波センター 研修業務課      | 1～2  | 課題別研修「天水稲栽培・種子生産及び品種選定技術」コースの業務補佐  |
| 2301-国 04 | 筑波センター 研修業務課      | 2    | 課題別研修「稲作技術向上（普及員）（A）」コースの業務補佐  |
| 2301-国 05 | 筑波センター 研修業務課      | 1～2  | 課題別研修「稲作技術向上（普及員）（B）」コースの業務補佐  |
| 2301-国 06 | 東京センター 総務課        | 1～2  | 来日時のプリーフィング業務、研修員福利厚生事業のプログラム立案、実施の支援、学校訪問、施設見学の受け入れ時のプログラム立案、実施の支援、これらに伴う広報事業の実 |
| 2301-国 07 | 東京センター 人間開発・計画調整課 | 1    | 研修員受入事業の質の向上   |
| 2301-国 08 | 東京センター 市民参加協力第二課  | 2    | JICA東京における市民参加協力事業の好事例の取りまとめと発信及び業務補佐  |
| 2301-国 09 | 横浜センター 総務課        | 2    | 海外移住資料館の教育プログラムおよび広報業務補佐   |
| 2301-国 10 | 横浜センター 研修業務課      | 2    | JICA横浜 研修運営業務 ～対外発信と改善提案～  |
| 2301-国 11 | 横浜センター 市民課        | 2    | 民間連携事業に係る情報発信  |
| 2301-国 12 | 北陸センター            | 1    | 地域内自治体による「外国人材受入れ」「多文化共生プラン」等の施策調査   |
| 2301-国 13 | 関西センター 開大連携課      | 8    | 関西における国内事業全般   |
| 2301-国 14 | 中国センター 市民参加協力課    | 2    | 市民・高校生/大学生にとって魅力あるJICA市民参加協力事業の提案  |
| 2301-国 15 | 九州センター 企業連携課      | 1    | 中小企業・SDGsビジネス支援事業に関連する情報収集、広報ツールの作成  |
| 2301-国 16 | 沖縄センター 研修業務課      | 1    | 沖縄における基礎教育分野研修/開発教育現場への理解進化及び改善の提案   |

## 2023年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

《理系の方にお勧め》

|  |  |   |   |
|--|--|---|---|
| <b>受入担当部署/国内機関</b>   |  | <b>登録番号</b>                               | 2301-国01  |
| <b>■部署名：</b>   | 北海道センター                                    | <b>■募集人数（人）</b>                           | 3   |
| <b>■課名：</b>  | 道東業務課                                      |   |   |
| <b>■テーマ</b>  |  |   |   |
| 【短期型】国際協力を通じた地方創生・SDGsへの貢献—農業・環境・観光の地域資源を活かして  |  |   |   |
| <b>■テーマの概要</b>   |  |   |   |
| <p>JICA北海道センター（帯広）では、地方自治体、大学、NGO、民間企業等との協働を通じ、「途上国の課題解決」と「道東地域の活性化・国際化」への貢献を目指しています。本インターンシップでは、農畜産業、自然環境、観光に強みを持つ道東地域（十勝、オホーツク、釧路、根室）の特徴や課題を把握するとともに、JICA北海道センター（帯広）が実施する多様な国際協力メニューを理解・体験することで、地域密着型の国際協力の在り方を考察いただきます。</p>   |  |   |   |
| <b>■具体的なインターンシップ活動内容</b>   |  |   |   |
| <p>&lt;事前プログラム（オンライン）&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション：自己紹介、志望動機、取り組みたいことの共有</li> <li>・道東地域発展のプロセスの映像視聴：道東4地域（十勝、オホーツク、釧路、根室）それぞれの発展の歴史、強み、課題等を把握</li> <li>・地方創生オンラインサロン「JICAfe 2.1」への参加</li> </ul> <p>&lt;メインプログラム&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修コース運営補助・発信：途上国の行政官や技官向け研修コース（農業、自然環境等）の講義・視察補助及びHP・SNS記事作成・発信</li> <li>・国際理解教育支援事業の運営補助・発信：小中学生のJICAセンター訪問、JICA研修員の小中学校訪問の運営補助・及びHP・SNS記事作成・発信</li> <li>・派遣中ボランティア隊員や帰国隊員、JICA海外協力隊グローバルプログラム（派遣前型）参加者への取材・HP・SNS記事作成・発信</li> <li>・広報活動：FMラジオ番組への出演、地域イベントでのJICAブース運営補助、映像撮影</li> <li>・振り返り、意見交換、報告会、市民向け国際理解促進イベントの提案</li> </ul> |  |   |   |
| <p>JICA北海道パンフレット（札幌・帯広共通） <a href="https://www.jica.go.jp/sapporo/office/pr/ku57pq000005mliy-att/profile.pdf">https://www.jica.go.jp/sapporo/office/pr/ku57pq000005mliy-att/profile.pdf</a></p> <p>JICA北海道（帯広）館内案内 <a href="https://www.youtube.com/watch?v=V1bT5Krxjpw">https://www.youtube.com/watch?v=V1bT5Krxjpw</a></p> <p>道東地域発展のプロセスの映像 <a href="https://www.jica.go.jp/obihiro/office/greeting.html">https://www.jica.go.jp/obihiro/office/greeting.html</a></p>   |  |   |   |
| <b>■参加（同行）可能な行事・視察等</b>  |  |   |   |
| <p>研修コースの講義や視察（農場等）、小中学生によるJICAセンター訪問プログラム、釧路市または上士幌町でのJICA海外協力隊グローバルプログラム、食をテーマにした祭典「とかちマルシェ」（JR帯広駅周辺）でのJICAブース、JICA広報番組へのラジオ出演</p>   |  |   |   |
| <b>■受入時期・期間</b>  |  |   |   |
| 2023年8月 から 9月 までの 2週間程度  |  | フルタイム以外の活動体系の可否                           |   |
| 上記期間内での調整可   | 理由：2023年8月から9月のうち、2週間フルタイム                 | 不可  | 週 回, ヶ月間程度                                      |
| <b>■希望する人材（大学生/大学院生/社会人）</b>   |  |   |   |
| <b>大学生・大学院生・社会人全て可</b>   |  |   |   |
| <b>■応募資格以外に受入れに関し求める要件</b>   |  |   |   |
| 望ましい   | 農業または環境または観光分野の基礎的知識                       |   |   |
|  |  |   |   |
| <b>■提供可能な執務環境等</b>   |  |   |   |
| <input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース   | <input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用 | <input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し | <input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等 |
| <input type="checkbox"/> 携帯電話貸出  | <input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担       |   |   |
| その他（提供可能な事項）： Wi-Fi  |  |   |   |
| <b>■滞在費目安（一日あたりの食費及び少額交通費）</b>   |  | <b>■宿泊費目安</b>                             |   |
| ※目安金額であり、JICAから支給されるものではありません。   |  |   |   |
| 2,000円/日   |  | 5,300円/泊                                  |   |
| <b>■備考・留意点</b>   |  |   |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ JICA北海道センターは、札幌と帯広にそれぞれ拠点があります。本インターンシップは、JICA北海道センター（帯広）で実施します。</li> <li>・ 空室がある場合、希望により、JICA北海道センター（帯広）館内の宿泊施設をご利用いただけます。</li> <li>・ メインプログラムは、基本的に対面での実施を想定しております。</li> </ul>  |  |   |   |

## 2023年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

《理系の方にお勧め》

|  |  |   |   |
|--|--|---|---|
| <b>受入担当部署/国内機関</b>   |  | <b>登録番号</b>                               | 2301-国02  |
| <b>■部署名：</b>   | 北海道センター                                    | <b>■募集人数（人）</b>                           | 2   |
| <b>■課名：</b>  | 道東業務課                                      |   |   |
| <b>■テーマ</b>  |  |   |   |
| 【長期型】国際協力を通じた地方創生・SDGsへの貢献—農業・環境・観光の地域資源を活かして  |  |   |   |
| <b>■テーマの概要</b>   |  |   |   |
| <p>JICA北海道センター（帯広）では、地方自治体、大学、NGO、民間企業等との協働を通じ、「途上国の課題解決」と「道東地域の活性化・国際化」への貢献を目指しています。本インターンシップでは、農畜産業、自然環境、観光に強みを持つ道東地域（十勝、オホーツク、釧路、根室）の特徴や課題を把握するとともに、JICA北海道センター（帯広）が実施する多様な国際協力メニューを理解・体験することで、地域密着型の国際協力の在り方を考察いただきます。</p>   |  |   |   |
| <b>■具体的なインターンシップ活動内容</b>   |  |   |   |
| <p>&lt;事前プログラム（オンライン）&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション：自己紹介、志望動機、取り組みたいことの共有</li> <li>・道東地域発展のプロセスの映像視聴：道東4地域（十勝、オホーツク、釧路、根室）それぞれの発展の歴史、強み、課題等を把握</li> <li>・地方創生オンラインサロン「JICAfe 2.1」への参加</li> </ul> <p>&lt;メインプログラム&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修コース運営補助・発信：途上国の行政官や技官向け研修コース（農業、自然環境等）の講義・視察補助及びHP・SNS記事作成・発信</li> <li>・国際理解教育支援事業の運営補助・発信：小中学生のJICAセンター訪問、JICA研修員の小中学校訪問の運営補助・及びHP・SNS記事作成・発信</li> <li>・派遣中ボランティア隊員や帰国隊員、JICA海外協力隊グローバルプログラム（派遣前型）参加者への取材・HP・SNS記事作成・発信</li> <li>・広報活動：FMラジオ番組への出演、地域イベントでのJICAブース運営補助、映像撮影</li> <li>・振り返り、意見交換、報告会、市民向け国際理解促進イベントの提案</li> </ul> |  |   |   |
| <p>JICA北海道パンフレット（札幌・帯広共通） <a href="https://www.jica.go.jp/sapporo/office/pr/ku57pq000005mliy-att/profile.pdf">https://www.jica.go.jp/sapporo/office/pr/ku57pq000005mliy-att/profile.pdf</a></p> <p>JICA北海道（帯広）館内案内 <a href="https://www.youtube.com/watch?v=V1bT5Krxjpw">https://www.youtube.com/watch?v=V1bT5Krxjpw</a></p> <p>道東地域発展のプロセスの映像 <a href="https://www.jica.go.jp/obihiro/office/greeting.html">https://www.jica.go.jp/obihiro/office/greeting.html</a></p>   |  |   |   |
| <b>■参加（同行）可能な行事・視察等</b>  |  |   |   |
| <p>研修コースの講義や視察（農場等）、小中学生によるJICAセンター訪問プログラム、釧路市または上士幌町でのJICA海外協力隊グローバルプログラム、食をテーマにした祭典「とかちマルシェ」（JR帯広駅周辺）でのJICAブース、JICA広報番組へのラジオ出演</p>   |  |   |   |
| <b>■受入時期・期間</b>  |  |   |   |
| 2023年8月 から 11月 までの 2.5 ヶ月間程度   |  | フルタイム以外の活動体系の可否                           |   |
| 上記期間外含めて調整可 理由：  |  | 可   | 週1回、 2.5ヶ月間程度                                   |
| <b>■希望する人材（大学生/大学院生/社会人）</b>   |  |   |   |
| <b>大学生・大学院生・社会人全て可</b>   |  |   |   |
| <b>■応募資格以外に受入れに関し求める要件</b>   |  |   |   |
| 望ましい   | 農業または環境または観光分野の基礎的知識                       |   |   |
|  |  |   |   |
| <b>■提供可能な執務環境等</b>   |  |   |   |
| <input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース   | <input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用 | <input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し | <input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等 |
| <input type="checkbox"/> 携帯電話貸出  | <input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担       |   |   |
| その他（提供可能な事項）： Wi-Fi  |  |   |   |
| <b>■滞在費目安（一日あたりの食費及び少額交通費）</b>   |  | <b>■宿泊費目安</b>                             |   |
| ※目安金額であり、JICAから支給されるものではありません。   |  |   |   |
| 2,000円/日   |  | 5,300円/泊                                  |   |
| <b>■備考・留意点</b>   |  |   |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ JICA北海道センターは、札幌と帯広にそれぞれ拠点があります。本インターンシップは、JICA北海道センター（帯広）で実施します。</li> <li>・ 空室がある場合、希望により、JICA北海道センター（帯広）館内の宿泊施設をご利用いただけます。</li> <li>・ メインプログラムは、基本的に対面での実施を想定しております。</li> </ul>  |  |   |   |



## 2023年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

〈理系の方にお勧め〉

|  |  |   |   |
|--|--|---|---|
| <b>受入担当部署/国内機関</b>   |  | <b>登録番号</b>                               | 2301-国03  |
| <b>■部署名：</b>   | 筑波センター                                     | <b>■募集人数（人）</b>                           | 1～2   |
| <b>■課名：</b>  | 研修業務課                                      |   |   |
| <b>■テーマ</b>  |  |   |   |
| 課題別研修「天水稲栽培・種子生産及び品種選定技術」コースの業務補佐  |  |   |   |
| <b>■テーマの概要</b>   |  |   |   |
| <p>多くの開発途上国において、農業セクターは、総労働人口の過半を占める就労人口を抱える主要な産業です。コメは多くの開発途上国で栽培・消費されている主要穀物の一つであり、この生産量向上を食料安全保障の課題に掲げる国も少なくありません。しかしながらとりわけアフリカでは、コメの生産面積は拡大しているものの、依然として生産性は低い数値です。また、発展途上国、農業技術普及を担当する行政組織が人的、資金的に脆弱であり、かつ普及員の能力が農家のニーズに対応しきれておらず、人材の育成が喫緊の課題となっています。このような状況から、「天水稲栽培・種子生産及び品種選定技術」コースでは、筑波センターで保有する農業研修施設・圃場等を活用し、アフリカ稲（ネリカ）等を中心に①稲作に関する知識・技術の向上、②農家圃場レベルのニーズに即した基礎的実証試験、③普及体制の整備拡充、④農民への普及方法の改善について、講義、実習、視察等を通じて、求められる知識と能力の向上を目指しています。</p>   |  |   |   |
| <b>■具体的なインターンシップ活動内容</b>   |  |   |   |
| <p>本インターンシップでは「天水稲栽培・種子生産及び品種選定技術」コースに参加し、JICA、研修業務委託先と協力して研修実施の補助を行って頂きます。詳細な活動はインターン決定後に設定します。</p> <p>具体的な活動例は以下のとおりです。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研修計画に沿った資料作成等の補助業務。</li> <li>2. 実習・講義準備や研修員とのコミュニケーションを含む研修運営補佐。</li> <li>3. 研修員が抱える課題とその解決策の聞き取り。</li> <li>4. 圃場で実施する実験・試験（施肥や栽植密度、品種の比較実験）の研修員に対するサポート。</li> <li>5. 本コースの広報活動補助（Facebook記事、JICA筑波ウェブサイト記事）</li> <li>6. その他、研修業務課の業務補助等。</li> </ol> <p>なお応募者の関心と上記「天水稲栽培・種子生産及び品種選定技術」コースに係る業務量に応じて、当センターで実施している「農業共創ハブ」に関連する業務の補助をいただくことも可能です。<br/>【農業共創ハブ_HP】<br/><a href="https://www.jica.go.jp/tsukuba/enterprise/agricul/index.html">https://www.jica.go.jp/tsukuba/enterprise/agricul/index.html</a></p> |  |   |   |
| <b>■参考情報</b>   |  |   |   |
|  |  |   |   |
| <b>■参加（同行）可能な行事・視察等</b>  |  |   |   |
| 同時期にJICA筑波が実施する一般来訪者向けイベントや他研修の報告会等イベントへの参加。   |  |   |   |
| <b>■受入時期・期間</b>  |  |   |   |
| 2023年 8月 から 9月 までの 2～3週間程度   |  | フルタイム以外の活動体系の可否                           |   |
| 上記期間内での調整可 理由：   |  | 可   | 週2回、 2ヶ月間程度                                     |
| <b>■希望する人材（大学生/大学院生/社会人）</b>   |  |   |   |
| <b>大学生・大学院生・社会人全て可</b>   |  |   |   |
| <b>■応募資格以外に受入れに関し求める要件</b>   |  |   |   |
| 望ましい   | 当該分野での研究を行っている、または行う予定のある方。                |   |   |
| 必須   | 日常会話レベルの語学力（英語）（TOEIC550点以上）               |   |   |
| <b>■提供可能な執務環境等</b>   |  |   |   |
| <input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース   | <input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用 | <input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し | <input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等 |
| <input type="checkbox"/> 携帯電話貸出  | <input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担       |   |   |
| その他（提供可能な事項）：  |  |   |   |
| <b>■滞在費目安（一日あたりの食費及び少額交通費）</b>   |  | <b>■宿泊費目安</b>                             |   |
| ※目安金額であり、JICAから支給されるものではありません。   |  |   |   |
| 2,000 円/日  |  | 5,300 円/泊                                 |   |
| <b>■備考・留意点</b>   |  |   |   |
| <p>圃場や実習施設での実験・実習にあたっては、作業しやすく汚れてもよい服装と靴が必要です。JICA筑波の宿泊施設に空きがある場合、5,300円/泊でご利用いただけます。受入時期・期間は、インターン生と相談の上、設定いたします。基本的にはご自身のPCを使用いただけますが、PCをお持ちでない方には貸与します。また、機構内の情報へアクセスが必要な場合はPCも貸与します。</p>   |  |   |   |

## 2023年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

《理系の方にお勧め》

|  |  |   |   |
|--|--|---|---|
| <b>受入担当部署/国内機関</b>   |  | <b>登録番号</b>                               | 2301-国04  |
| <b>■部署名：</b>   | 筑波センター                                     | <b>■募集人数（人）</b>                           | 2   |
| <b>■課名：</b>  | 研修業務課                                      |   |   |
| <b>■テーマ</b>  |  |   |   |
| 課題別研修「稲作技術向上（普及員）（A）」コースの業務補佐  |  |   |   |
| <b>■テーマの概要</b>   |  |   |   |
| <p>多くの開発途上国において、農業セクターは、総労働人口の過半を占める就労人口を抱える主要な産業です。コメは多くの開発途上国で栽培・消費されている主要穀物の一つであり、この生産量向上を食料安全保障の課題に掲げる国も少なくありません。しかしながらとりわけアフリカでは、コメの生産面積は拡大しているものの、依然として生産性は低い数値です。また、発展途上国、農業技術普及を担当する行政組織が人的、資金的に脆弱であり、かつ普及員の能力が農家のニーズに対応しきれておらず、人材の育成が喫緊の課題となっています。このような状況から、「稲作技術向上（普及員）（A）」コースは、筑波センターで保有する農業研修施設・圃場等を活用し、アフリカ稲（ネリカ）等を中心に①稲作に関する知識・技術の向上、②農家圃場レベルのニーズに即した基礎的実証試験、③普及体制の整備拡充、④農民への普及方法の改善について、講義、実習、視察等を通じて、求められる知識と能力の向上を目指しています。</p>  |  |   |   |
| <b>■具体的なインターンシップ活動内容</b>   |  |   |   |
| <p>本インターンシップでは「稲作技術向上（普及員）（A）」コースに参加し、JICA、研修業務委託先と協力して研修実施の補助を行って頂きます。詳細な活動はインターン決定後に設定します。</p> <p>具体的な活動例は以下のとおりです。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研修計画に沿った資料作成等の補助業務。</li> <li>2. 実習・講義準備や研修員とのコミュニケーションを含む研修運営補佐。</li> <li>3. 研修員が抱える課題とその解決策の聞き取り。</li> <li>4. 圃場で実施する実験・試験（施肥や栽植密度、品種の比較実験）の研修員に対するサポート。</li> <li>5. 本コースの広報活動補助（Facebook記事、JICA筑波ウェブサイト記事）</li> <li>6. その他、研修業務課の業務補助等。</li> </ol> <p>なお応募者の関心と上記「稲作技術向上（普及員）（A）」コースに係る業務量に応じて、当センターで実施している「農業共創ハブ」に関連する業務の補助をいただくことも可能です。<br/>【農業共創ハブ_HP】<br/><a href="https://www.jica.go.jp/tsukuba/enterprise/agricul/index.html">https://www.jica.go.jp/tsukuba/enterprise/agricul/index.html</a></p> |  |   |   |
| <b>■参考情報</b>   |  |   |   |
|  |  |   |   |
| <b>■参加（同行）可能な行事・視察等</b>  |  |   |   |
| 同時期にJICA筑波が実施する一般来訪者向けイベントや他研修の報告会等イベントへの参加。   |  |   |   |
| <b>■受入時期・期間</b>  |  |   |   |
| 2023年 8月 から 9月 までの 2～3週間程度   |  | フルタイム以外の活動体系の可否                           |   |
| 上記期間内での調整可 理由：   |  | 可   | 週2回、 2ヶ月間程度                                     |
| <b>■希望する人材（大学生/大学院生/社会人）</b>   |  |   |   |
| <b>大学生・大学院生・社会人全て可</b>   |  |   |   |
| <b>■応募資格以外に受入れに関し求める要件</b>   |  |   |   |
| 望ましい   | 当該分野での研究を行っている、または行う予定のある方。                |   |   |
| 必須   | 日常会話レベルの語学力（英語）（TOEIC550点以上）               |   |   |
| <b>■提供可能な執務環境等</b>   |  |   |   |
| <input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース   | <input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用 | <input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し | <input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等 |
| <input type="checkbox"/> 携帯電話貸出  | <input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担       |   |   |
| その他（提供可能な事項）：  |  |   |   |
| <b>■滞在費目安（一日あたりの食費及び少額交通費）</b>   |  | <b>■宿泊費目安</b>                             |   |
| ※目安金額であり、JICAから支給されるものではありません。   |  |   |   |
| 2,000 円/日  |  | 5,300 円/泊                                 |   |
| <b>■備考・留意点</b>   |  |   |   |
| 圃場や実習施設での実験・実習にあたっては、作業しやすく汚れてもよい服装と靴が必要です。JICA筑波の宿泊施設に空きがある場合、5,300円/泊でご利用いただけます。受入時期・期間は、インターン生と相談の上、設定いたします。基本的にはご自身のPCを使用いただけますが、PCをお持ちでない方には貸与します。また、機構内の情報へアクセスが必要な場合はPCも貸与します。  |  |   |   |

## 2023年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

《理系の方にお勧め》

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| <b>受入担当部署/国内機関</b>  |   | <b>登録番号</b>                               | 2301-国05  |
| <b>■部署名：</b>  | 筑波センター  | <b>■募集人数（人）</b>                           | 1～2   |
| <b>■課名：</b>   | 研修業務課   |   |   |
| <b>■テーマ</b>   |   |   |   |
| 課題別研修「稲作技術向上（普及員）（B）」コースの業務補佐   |   |   |   |
| <b>■テーマの概要</b>  |   |   |   |
| <p>多くの開発途上国において、農業セクターは、総労働人口の過半を占める就労人口を抱える主要な産業です。コメは多くの開発途上国で栽培・消費されている主要穀物の一つであり、この生産量向上を食料安全保障の課題に掲げる国も少なくありません。しかしながらとりわけアフリカではコメの生産面積は拡大しているものの、依然として生産性は低い数値です。また、発展途上国、農業技術普及を担当する行政組織が人的、資金的に脆弱であり、かつ普及員の能力が農家のニーズに対応しきれておらず、人材の育成が喫緊の課題となっています。このような状況から、「稲作技術向上（普及員）（B）」コースは、筑波センターで保有する農業研修施設・圃場等を活用し、アフリカ稲（ネリカ）等を中心に①稲作に関する知識・技術の向上、②農家圃場レベルのニーズに即した基礎的実証試験、③普及体制の整備拡充、④農民への普及方法の改善について、講義、実習、視察等を通じて、求められる知識と能力の向上を目指しています。</p>  |   |   |   |
| <b>■具体的なインターンシップ活動内容</b>  |   |   |   |
| <p>本インターンシップでは「稲作技術向上（普及員）（B）」コースに参加し、JICA、研修業務委託先と協力して研修実施の補助を行って頂きます。なお、詳細な活動はインターン決定後に設定します。</p> <p>具体的な活動例は以下のとおりです。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研修計画に沿った資料作成等の補助業務。</li> <li>2. 実習・講義準備や研修員とのコミュニケーションを含む研修運営補佐。</li> <li>3. 研修員が抱える課題とその解決策の聞き取り。</li> <li>4. 圃場で実施する実験・試験（施肥や栽植密度、品種の比較実験）の研修員に対するサポート。</li> <li>5. 本コースの広報活動補助（Facebook記事、JICA筑波ウェブサイト記事）</li> <li>6. その他、研修業務課の業務補助等。</li> </ol> <p>なお応募者の関心と上記「稲作技術向上（普及員）（B）」コースに係る業務量に応じて、当センターで実施している「農業共創ハブ」に関連する業務の補助をいただくことも可能です。<br/>【農業共創ハブ_HP】<br/><a href="https://www.jica.go.jp/tsukuba/enterprise/agricul/index.html">https://www.jica.go.jp/tsukuba/enterprise/agricul/index.html</a></p> |   |   |   |
| <b>■参考情報</b>  |   |   |   |
|   |   |   |   |
| <b>■参加（同行）可能な行事・視察等</b>   |   |   |   |
| 同時期にJICA筑波が実施する一般来訪者向けイベントや他研修の報告会等イベントへの参加。  |   |   |   |
| <b>■受入時期・期間</b>   |   |   |   |
| 2023年 8月 から 9月 までの 2～3週間程度  |   | フルタイム以外の活動体系の可否                           |   |
| 上記期間内での調整可 理由：  |   | 可   | 週2回、 2ヶ月間程度                                     |
| <b>■希望する人材（大学生/大学院生/社会人）</b>  |   |   |   |
| 大学生・大学院生・社会人全て可   |   |   |   |
| <b>■応募資格以外に受入れに関し求める要件</b>  |   |   |   |
| 必須  | 日常会話レベルの語学力（フランス語）（DELTA A2、仏検3級以上が目安）<br>※当研修はフランス語にて実施されるため、参加に当たってはフランス語力が必須となります。 |   |   |
| 望ましい  | 日常会話レベルの語学力（英語）（TOEIC550点以上）  |   |   |
| <b>■提供可能な執務環境等</b>  |   |   |   |
| <input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース  | <input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用  | <input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し | <input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等 |
| <input type="checkbox"/> 携帯電話貸出   | <input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担  |   |   |
| その他（提供可能な事項）：   |   |   |   |
| <b>■滞在費目安（一日あたりの食費及び少額交通費）</b>  |   | <b>■宿泊費目安</b>                             |   |
| ※目安金額であり、JICAから支給されるものではありません。  |   |   |   |
| 2,000 円/日   |   | 5,300 円/泊                                 |   |
| <b>■備考・留意点</b>  |   |   |   |
| 当研修はフランス語圏アフリカを対象にしたコースであり、全てフランス語にて実施されるためフランス語能力が必要になります。圃場や実習施設での実験・実習にあたっては、作業しやすく汚れてもよい服装と靴が必要です。JICA筑波の宿泊施設に空きがある場合、5,300円／泊でご利用いただけます。受入時期・期間は、インターン生と相談の上、設定いたします。基本的にはご自身のPCを使用いただけますが、PCをお持ちでない方には貸与します。また、機構内の情報へアクセスが必要な場合はPCも貸与します。  |   |   |   |

## 2023年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

|   |  |   |   |
|---|--|---|---|
| <b>受入担当部署/国内機関</b>  |  | <b>登録番号</b>                               | 2301-国06  |
| <b>■部署名：</b>  | 東京センター                                     | <b>■募集人数（人）</b>                           | 1～2   |
| <b>■課名：</b>   | 総務課  |   |   |
| <b>■テーマ</b>   |  |   |   |
| 来日時のブリーフィング業務、研修員福利厚生事業のプログラム立案、実施の支援、学校訪問、施設見学の受け入れ時のプログラム立案、実施の支援、これらに伴う広報事業の実施、支援  |  |   |   |
| <b>■テーマの概要</b>  |  |   |   |
| 2023年度5月8日以降コロナの感染症法上の移行に伴い、研修員来日が原則となり、2019年度以前と同様の来日が見込まれる。2023年度は来日時オリエンテーション、研修員福利厚生支援事業の各種支援業務の増加が現在以上に想定される。来日時のオリエンテーション、研修員福利厚生事業は、来日外国人との接点、また、JICAのODA政府開発援助の技術協力事業の柱の一つである研修員受け入れ事業を体感する良い機会であり、広く国際関係、途上国への開発協力、外国語、外国文化、異文化コミュニケーション、多文化共生等を学ぶ大学生、大学院生にとってインターンシップを通じ体験してもらう意義が大きくある。加えて、現在、行っている研修員福利厚生事業（日帰りツアー、音楽会、オンライン日本語講座、落語、禅）について、若い方の発意での新しいプログラムの工夫・開発の期待がある。また、若い方の感性により、一般の市民、若い学生等により分かり易く伝えるJICA東京 HPへの掲載について新しい意見を出してもらうことへの期待がある。 |  |   |   |
| <b>■具体的なインターンシップ活動内容</b>  |  |   |   |
| 1. 研修員来日時ブリーフィング業務（補助） 1）ブリーフィングへの同席、説明の一部実施 2）ブリーフィング資料の準備<br>2. 研修員来日後の福利厚生事業（夜間開講の日本語講座、日帰りツアー、コンサート、オンライン落語、禅）への参加同行、問い合わせ相談事項への対応<br>3. 参加した福利厚生事業についてJICA東京 HPへの掲載記事原稿を起草する。<br>4. 新しい研修員福利厚生事業のプログラムについて、各課（総務課、研修4課、市民参加2課）の若手有志と議論し、新しいプログラムを開発、工夫する。  |  |   |   |
| <b>■参考情報</b>  |  |   |   |
| <br>  |  |   |   |
| <b>■参加（同行）可能な行事・視察等</b>   |  |   |   |
| 研修員福利厚生事業日帰りツアー（高尾山、鎌倉等）、音楽コンサート同行、オンライン禅やオンライン落語講座の出欠確認、手配、同席など。学校の施設訪問、職場体験時のプログラム準備、説明、これら対応記事原稿の作成、JICA東京HPへの掲載等  |  |   |   |
| <b>■受入時期・期間</b>   |  |   |   |
| 2023年 8月 から 9月 までの 1ヶ月間程度（夏休み）  |  | フルタイム以外の活動体系の可否                           |   |
| 上記期間外含めて調整可 理由：   |  | 不可  | 週 回, ヶ月間程度                                      |
| <b>■希望する人材（大学生/大学院生/社会人）</b>  |  |   |   |
| <b>大学生・大学院生・社会人全て可</b>  |  |   |   |
| <b>■応募資格以外に受入れに関し求める要件</b>  |  |   |   |
| <br>  |  |   |   |
| <b>■提供可能な執務環境等</b>  |  |   |   |
| <input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース  | <input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用 | <input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し | <input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等 |
| <input type="checkbox"/> 携帯電話貸出   | <input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担       |   |   |
| その他（提供可能な事項）：   |  |   |   |
| <b>■滞在費目安（一日あたりの食費及び少額交通費）</b>  |  | <b>■宿泊費目安</b>                             |   |
| ※目安金額であり、JICAから支給されるものではありません。  |  |   |   |
| 2000円/日   |  | 5300円/泊                                   |   |
| <b>■備考・留意点</b>  |  |   |   |
| 基本的には東京センターで活動いただくことを想定しております。  |  |   |   |

2023年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

|   |            |          |          |
|---|------------|----------|----------|
| 受入担当部署/国内機関   |            | 登録番号     | 2301-国07 |
| ■部署名:   | 東京センター     | ■募集人数(人) | 1        |
| ■課名:  | 人間開発・計画調整課 |          |          |
| ■テーマ<br>研修員受入事業の質の向上  |            |          |          |
| ■テーマの概要<br>東京センターは設立以来、JICAの国内最大規模の研修実施機関として、開発途上国の抱える様々な課題に対応するため、日本国内の関係機関の協力を得て、多種多様な研修メニューを開発途上国の方々に提供しています。研修は共に学び新たな価値を創造する「共創」の考え方にに基づき、講義、視察、実習、プレゼンテーション、意見交換などを通じて開発途上国からの研修員が国内外の講師と共に、学びを深め新たな気付きを得る場となっています。東京センターでは、こうした研修プログラムの企画・実施から実施後の振り返りまで、研修の一連の事業を行っています。2021年度はコロナ禍で来日研修の実施が叶わず遠隔研修を実施しましたが、2022年度は遠隔研修に加えて来日研修も実施しています。<br>人間開発・計画調整課では、主に保健医療、社会保障、教育分野の研修事業を行っています。また、研修事業に係る横断的取りまとめ業務も行っており、開発途上国の人材育成のニーズに合致した、より良い研修事業の内容・実施方法を検討し、研修の質の向上を目指しています。インターンシップでは、こうした分野以外（経済開発、環境、ガバナンス等）に触れる機会もあります。 |            |          |          |
| ■具体的なインターンシップ活動内容<br>1. 研修員受入事業の業務補佐<br>・研修員受入の事前準備・運営業務補佐および研修事業に係る広報記事作成<br>・研修員（帰国研修員を含む）に対するインタビュー実施を通じた研修事業の質の向上に係る考察およびレポート作成<br>2. 研修員への支援補佐<br>・研修員向け福利厚生イベントへの同席を通じた研修員への支援補佐（おもてなしを含む）、同イベントに関する広報記事作成<br>・研修員への支援（おもてなしを含む）に関する調査実施およびレポート作成<br>3. 研修員受入事業と市民参加協力事業の連携補佐<br>・研修員受入事業と市民参加協力事業の連携に関する業務補佐<br>・研修員受入事業と市民参加協力事業の連携に関する考察およびレポート作成  |            |          |          |
| ■参考情報<br>JICA東京ホームページ: <a href="https://www.jica.go.jp/tokyo/index.html">https://www.jica.go.jp/tokyo/index.html</a><br>研修員受入事業: <a href="https://www.jica.go.jp/activities/schemes/tr_japan/summary.html">https://www.jica.go.jp/activities/schemes/tr_japan/summary.html</a>  |            |          |          |
| ■参加(同行)可能な行事・視察等<br>インターン期間中に実施する課題別研修・国別研修、研修員向け福利厚生イベント（日本文化紹介、市民との交流等）等  |            |          |          |
| ■受入時期・期間<br>2023年8月初旬～9月下旬・2ヶ月<br>フルタイム以外の活動体系の可否<br>上記期間内での調整可 理由: 可 週2回、2ヶ月間程度  |            |          |          |
| ■希望する人材（大学生/大学院生/社会人）<br>大学生・大学院生・社会人全て可  |            |          |          |
| ■応募資格以外に受入れに関し求める要件<br>必須 語学力（英語での意見交換に支障ないレベル（TOEIC730点以上が目安））   |            |          |          |
| ■提供可能な執務環境等<br><input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース <input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用 <input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し <input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等<br><input type="checkbox"/> 携帯電話貸出 <input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担<br>その他（提供可能な事項）:   |            |          |          |
| ■滞在費目安（一日あたりの食費及び少額交通費）   |            | ■宿泊費目安   |          |
| ※目安金額であり、JICAから支給されるものではありません。  |            |          |          |
| 2000円   |            | 5300円/泊  |          |
| ■備考・留意点<br>具体的なインターンシップ内容は上記1～3を想定していますが、レポートにまとめてみたい研修関連の特定テーマのアイデアがある場合には、応募申請書に提案を記載して下さい。また、インターン発意による企画の計画・実施も歓迎します。基本的に東京センターで活動いただくことを想定しています。   |            |          |          |



2023年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

|   |  |   |   |
|---|--|---|---|
| 受入担当部署/国内機関   |  | 登録番号                                      | 2301-国08  |
| ■部署名:   | 東京センター                                     | ■募集人数(人)                                  | 2   |
| ■課名:  | 市民参加協力第二課                                  |   |   |
| ■テーマ<br>JICA東京における市民参加協力事業の好事例の取りまとめと発信及び業務補佐   |  |   |   |
| ■テーマの概要<br>JICA東京市民参加協力第二課では、「草の根技術協力事業」や「世界の人びとのためのJICA基金」等、NGOや大学等の市民と協働した国際協力事業を行っています。市民参加協力事業では、開発途上国の地域住民の生活改善・生計向上に役立つ事業を実施することと同時に、日本の市民の国際協力への理解・参加を促す機会を創出することを目指しています。本インターンシップでは、実施済/実施中の事業の中から好事例を発掘、分析(どのような要因が好事例につながったか)、教訓の共有、東京センター内外への発信を中心に行っていただきます。また、草の根技術協力事業等の市民参加協力事業の事業監理の補佐業務を行うことを通じて、市民参加協力事業の理解を深めていただくことを目指します。   |  |   |   |
| ■具体的なインターンシップ活動内容<br>(1) 市民参加協力事業の好事例の取りまとめと発信<br>・市民参加協力事業に関する好事例発掘(担当者ヒアリング、報告書読み込み)<br>・好事例となった要因の分析(報告書や成果物の分析、実施団体へのアンケートやインタビュー、在外事務所担当者からのヒアリングなど)<br>・類似分野の案件間での比較分析<br>・結果の共有、発信(センターHP、Facebook、インターンシップ報告会等)<br>(2) 市民参加協力事業の業務実施補佐<br>・市民参加協力事業の事業監理業務補佐(草の根事業実施団体等との会議への参加、議事録作成、会議運営補助等)  |  |   |   |
| ■参考情報<br>●草の根技術協力事業: <a href="https://www.jica.go.jp/tokyo/enterprise/kusanone/index.html">https://www.jica.go.jp/tokyo/enterprise/kusanone/index.html</a><br>●JICA東京草の根技術協力紹介ページ: <a href="https://www.jica.go.jp/tokyo/enterprise/kusanone/index.html">https://www.jica.go.jp/tokyo/enterprise/kusanone/index.html</a><br>●草の根技術協力紹介動画: <a href="https://www.youtube.com/watch?v=cBIMcD8QewQ">https://www.youtube.com/watch?v=cBIMcD8QewQ</a> |  |   |   |
| ■参加(同行)可能な行事・視察等<br>NGO等市民参加協力事業の実施団体訪問<br>関連会議/イベントへの参加  |  |   |   |
| ■受入時期・期間  |  |   |   |
| 2023年 8月 から 2023年 12月末 までの間の 3ヶ月間程度   |  | フルタイム以外の活動体系の可否                           |   |
| 上記期間外含めて調整可 理由:   |  | 可   | 週1~2回, 期間は相談可                                   |
| ■希望する人材(大学生/大学院生/社会人)   |  |   |   |
| 大学生・大学院生・社会人全て可   |  |   |   |
| ■応募資格以外に受入れに関し求める要件   |  |   |   |
|   |  |   |   |
| ■提供可能な執務環境等   |  |   |   |
| <input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース  | <input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用 | <input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し | <input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等 |
| <input type="checkbox"/> 携帯電話貸出   | <input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担       |   |   |
| その他(提供可能な事項):   |  |   |   |
| ■滞在費目安(一日あたりの食費及び少額交通費)   |  | ■宿泊費目安                                    |   |
| ※目安金額であり、JICAから支給されるものではありません。  |  |   |   |
| 2,000円/日  |  | 5,300円/泊                                  |   |
| ■備考・留意点<br>基本的には、東京センターでの活動を想定しています。<br>●JICA東京HP: <a href="https://www.jica.go.jp/tokyo/index.htm">https://www.jica.go.jp/tokyo/index.htm</a><br>●世界の人びとのためのJICA基金: <a href="https://www.jica.go.jp/partner/private/kifu/09.html">https://www.jica.go.jp/partner/private/kifu/09.html</a>  |  |   |   |



## 2023年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

|   |  |   |   |
|---|--|---|---|
| <b>受入担当部署/国内機関</b>  |  | <b>登録番号</b>                               | 2301-国09  |
| <b>■部署名：</b>  | 横浜センター                                     | <b>■募集人数（人）</b>                           | 2   |
| <b>■課名：</b>   | 総務課  |   |   |
| <b>■テーマ</b>   |  |   |   |
| 海外移住資料館の教育プログラムおよび広報業務補佐  |  |   |   |
| <b>■テーマの概要</b>  |  |   |   |
| <p>JICA横浜センターには海外移住資料館が併設されています。同資料館では、広く一般の方々（特に中高生等の若者）の日本人の海外移住の歴史、移住者とその子孫である日系人についての理解を深めることを目的とし、教育プログラムや広報活動を行っています。日本に居住する日系人の存在や活躍が知られるようになっていく今、現代日本の多文化共生社会の一例とも言う日系人に関する当資料館の教育プログラムは、人権・国際教育においても活用されています。</p> <p>2022年4月には開館20周年の節目を迎え、展示室を一部リニューアルし自治体、教育機関、福祉施設など、より多くの方にご活用いただくことを目指しております。</p> <p>本ポストでは、海外移住資料館の広報発信やイベント実施の業務補佐を想定しています。また、急速に一般化の進んでいるオンラインを活用した小中高の児童・生徒を対象にしたコンテンツ作成、来館者（小中高の児童・生徒、企業等を含む一般成人等）向け、オンライン実施での教育プログラムの提案も期待しています。</p> |  |   |   |
| <b>■具体的なインターンシップ活動内容</b>  |  |   |   |
| <p>1. 海外移住資料館業務の補助：横浜センター併設の海外移住資料館にかかる広報業務、イベント実施、オンラインを活用したコンテンツ作成および来館者向け教育プログラムの補佐等</p> <p>2. 日系社会支援に関連する研修関連活動の補助：研修同行、広報、イベント実施など。</p>  |  |   |   |
| <b>■参考情報</b>  |  |   |   |
| 横浜センターURL： <a href="https://www.jica.go.jp/yokohama/index.html">https://www.jica.go.jp/yokohama/index.html</a><br>海外移住資料館URL： <a href="https://www.jica.go.jp/jomm/">https://www.jica.go.jp/jomm/</a>   |  |   |   |
| <b>■参加(同行)可能な行事・視察等</b>   |  |   |   |
| 未定（実施時期次第）  |  |   |   |
| <b>■受入時期・期間</b>   |  |   |   |
| 2023年 9月 から 11月 までの 3ヶ月間/週間程度（2週間からの受入も可とする）  |  | フルタイム以外の活動体系の可否                           |   |
| 上記期間外含めて調整可 理由：   |  | 可   | 週3回、3ヶ月間程度                                      |
| <b>■希望する人材（大学生/大学院生/社会人）</b>  |  |   |   |
| 大学生・大学院生・社会人全て可   |  |   |   |
| <b>■応募資格以外に受入れに関し求める要件</b>  |  |   |   |
| 望ましい  | 英語 TOEIC730点以上                             |   |   |
| 望ましい  | 日本人の海外移住の歴史、海外・国内の日系社会に関する基礎的な知識           |   |   |
| <b>■提供可能な執務環境等</b>  |  |   |   |
| <input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース  | <input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用 | <input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し | <input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等 |
| <input type="checkbox"/> 携帯電話貸出   | <input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担       |   |   |
| その他（提供可能な事項）：   |  |   |   |
| <b>■滞在費目安（一日あたりの食費及び少額交通費）</b>  |  | <b>■宿泊費目安</b>                             |   |
| ※目安金額であり、JICAから支給されるものではありません。  |  |   |   |
| 2000円/日   |  | 8000円/泊                                   |   |
| <b>■備考・留意点</b>  |  |   |   |
| 基本的に横浜センターでの活動を想定しています。   |  |   |   |

2023年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

|  |  |   |   |
|--|--|---|---|
| 受入担当部署/国内機関  |  | 登録番号                                      | 2301-国10  |
| ■部署名:  | 横浜センター                                     | ■募集人数(人)                                  | 2   |
| ■課名:   | 研修業務課                                      |   |   |
| ■テーマ<br>JICA横浜 研修運営業務 ～対外発信と改善提案～  |  |   |   |
| ■テーマの概要<br>開発途上国の国づくりに寄与する人材を育成する目的で、JICA横浜では年間800名近くの研修員の受け入れを行い、神奈川県・山梨県内の官公庁や大学、民間団体等の協力のもと、水産、港湾、航空、国土開発、上水道、環境など多岐にわたる研修を実施しています。2023年度はコロナ禍を経て、本格的に日本に來日して実施される本邦研修が復活予定です。また、神奈川、山梨県内の大学院で学ぶ約100名近い留学生を受入れ滞在支援を行うとともに、留学生が暮らす地域の発展の歴史を学ぶ機会を提供するなどし、留学生が母国の発展に資することを目指しています。さらに、中南米の日系社会活性化や日本との人材還流に寄与することを目的とした日系社会研修も実施し、加えて日系研修員が日本国内の日系社会に寄与する「日系サポーター」なども実施しています。今回のインターンシップ・プログラムでは、JICA横浜で実施する研修事業を実際の業務を通じて体感いただくとともに、参加者の視点から同事業を観察・評価いただき、その中で得られた気づきを対外発信や業務の改善につなげることを目的としています。 |  |   |   |
| ■具体的なインターンシップ活動内容<br>参加者の関心・希望をヒアリングした上で、以下から内容を決定します。<br>(1) 研修・イベント運営補助<br>インターンシップ期間中に実施される研修・イベント(オンラインも含む)の運営の補助を行います。<br>(2) 広報記事の企画・作成<br>インターンシップ期間中に実施される研修・イベントについて、JICA横浜のホームページおよびFacebookに掲載する広報記事の企画・作成を行います。広報のターゲットや記事の構成は、参加者自身が提案することを想定しています。<br>(3) JICA開発大学院連携「地域理解プログラム」の実施補助<br>標記プログラムにおける視察ツアーの企画及び実施を補助し、その結果をJICA内外へ報告します。  |  |   |   |
| ■参考情報<br>JICA横浜 研修員受入事業<br><a href="https://www.jica.go.jp/yokohama/enterprise/kenshu/index.html">https://www.jica.go.jp/yokohama/enterprise/kenshu/index.html</a><br><a href="https://www.jica.go.jp/yokohama/enterprise/nikkei/index.html#a01">https://www.jica.go.jp/yokohama/enterprise/nikkei/index.html#a01</a>  |  |   |   |
| ■参加(同行)可能な行事・視察等<br>受入期間中に実施される各種研修・イベント   |  |   |   |
| ■受入時期・期間<br>2023年 8月 から 10月 までの 2ヶ月間/週間程度<br>フルタイム以外の活動体系の可否<br>上記期間外含めて調整可 理由:業務内容に時期による制約がないため 可 週3回, 2ヶ月間程度   |  |   |   |
| ■希望する人材(大学生/大学院生/社会人)<br>大学生・大学院生・社会人全て可   |  |   |   |
| ■応募資格以外に受入れに関し求める要件  |  |   |   |
| 必須   | 技術協力・人材育成に対する高い関心                          |   |   |
| 望ましい   | Microsoft Officesやオンライン会議ツールを利用する基本的なPCスキル |   |   |
| 望ましい   | 研修員とコミュニケーションが可能なレベルの英語力。                  |   |   |
| ■提供可能な執務環境等  |  |   |   |
| <input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース   | <input type="checkbox"/> 電話等の利用            | <input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し | <input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等 |
| <input type="checkbox"/> 携帯電話貸出  | <input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担       |   |   |
| その他(提供可能な事項):  |  |   |   |
| ■滞在費目安(一日あたりの食費及び少額交通費)  |  | ■宿泊費目安                                    |   |
| ※目安金額であり、JICAから支給されるものではありません。   |  |   |   |
| 2000円/日  |  | 8000円/泊                                   |   |
| ■備考・留意点<br>基本的に対面での実施を想定しています。   |  |   |   |

2023年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

|   |  |   |   |
|---|--|---|---|
| 受入担当部署/国内機関   |  | 登録番号                                      | 2301-国11  |
| ■部署名：   | 横浜センター                                     | ■募集人数（人）                                  | 2～  |
| ■課名：  | 市民課  |   |   |
| ■テーマ<br>民間連携事業に係る情報発信   |  |   |   |
| ■テーマの概要<br>持続可能な開発を実現するため、あらゆる関係者の連携が重視され、民間企業の技術やアイデアによる貢献が期待されており、開発途上国で多様なビジネスチャンスが拡大していくものと考えられます。<br><br>JICA横浜は、神奈川県および山梨県の企業との連携の窓口を担っています。<br><br>以上を踏まえて、企業の活動・貢献の周知を推進する、インターン参加者のアイデア溢れる発信活動の提案をお待ちしています。                                |  |   |   |
| ■具体的なインターンシップ活動内容<br>・情報発信の目的および手段・方法を提案にまとめ、了承を得られた案件は以下の段階に進む。<br><br>(以下の、1点目から3点目を、同時並行ならびに繰返して仮説検証しながら改善する)<br>・目的を達するため刺さる情報発信のマーケティング<br>・発信情報の素材収集・取材<br>・さまざまな発信方法の試行とモニタリング   |  |   |   |
| ■参考情報<br>・民間連携事業 < <a href="https://www.jica.go.jp/priv_partner/index.html">https://www.jica.go.jp/priv_partner/index.html</a> ><br>・JICA横浜 < <a href="https://www.jica.go.jp/yokohama/index.html">https://www.jica.go.jp/yokohama/index.html</a> > |  |   |   |
| ■参加(同行)可能な行事・視察等<br>・支援機関等によるセミナー等  |  |   |   |
| ■受入時期・期間  |  |   |   |
| 2023年8月から2023年12月末までの2週間から最大3ヶ月間  |  | フルタイム以外の活動体系の可否                           |   |
| 上記期間外含めて調整可 理由：   |  | 可   | 週1回から可  |
| ■希望する人材（大学生/大学院生/社会人）   |  |   |   |
| 大学生・大学院生・社会人全て可   |  |   |   |
| ■応募資格以外に受入れに関し求める要件   |  |   |   |
| 必須  | インターン活動の提案                                 |   |   |
| 望ましい  | 具体的なインターン活動の提案                             |   |   |
| ■提供可能な執務環境等   |  |   |   |
| <input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース  | <input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用 | <input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し | <input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等 |
| <input type="checkbox"/> 携帯電話貸出   | <input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担       |   |   |
| その他（提供可能な事項）：   |  |   |   |
| ■滞在費目安（一日あたりの食費及び少額交通費）   |  | ■宿泊費目安                                    |   |
| ※目安金額であり、JICAから支給されるものではありません。  |  |   |   |
| 2000円/日   |  | 8000円/泊                                   |   |
| ■備考・留意点<br>基本的には対面での実施を想定しています  |  |   |   |

2023年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

|   |        |               |          |
|---|--------|---------------|----------|
| 受入担当部署/国内機関   |        | 登録番号          | 2301-国12 |
| ■部署名：   | 北陸センター | ■募集人数（人）      | 1        |
| ■課名：  |        |               |          |
| <b>■テーマ</b><br>地域内自治体による「外国人材受入れ」「多文化共生プラン」等の施策調査   |        |               |          |
| <b>■テーマの概要</b><br>「外国人材受入れ・共生社会の実現」貢献に取り組むために、JICAとしてより効果的・効率的な当該国際協力事業の発掘・形成する上で、最も重要な連携パートナーとなる北陸地域の各自治体の関係政策・施策をレビューすることはその基本となる。当該調査では北陸地域3県及び主要な市を対象に、各自治体の「外国人材受入れ」「多文化共生プラン」等の政策・施策、組織・体制、取組内容についてWEB上の情報を収集・整理し、初歩的な分析を行い、広報活動を含めた今後のJICA北陸の関係事業展開の参考とする。                   |        |               |          |
| <b>■具体的なインターンシップ活動内容</b><br>北陸地域における各県及び市町村の多文化共生・外国人材受入関係の政策・施策・組織・活動の現状を、主として以下の3手順にて把握・整理する。<br>(1) WEB調査準備・調査方針の確定<br>(2) WEB調査実施<br>(3) オンラインまたは可能な範囲で往訪による補足調査<br>(4) 初歩的分析   |        |               |          |
| <b>■参考情報</b>  |        |               |          |
| <b>■参加(同行)可能な行事・視察等</b>   |        |               |          |
| <b>■受入時期・期間</b><br>2023年 8月 から 9月 までの2ヶ月間程度<br>上記期間外含めて調整可 理由：<br>フルタイム以外の活動体系の可否<br>可 週3回、2ヶ月間程度   |        |               |          |
| <b>■希望する人材（大学生/大学院生/社会人）</b><br>大学生・大学院生・社会人全て可   |        |               |          |
| <b>■応募資格以外に受入れに関し求める要件</b><br>望ましい 北陸三県いずれかに在住していること。   |        |               |          |
| <b>■提供可能な執務環境等</b><br><input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース <input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用 <input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し <input type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等<br><input type="checkbox"/> 携帯電話貸出 <input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担<br>その他（提供可能な事項）： |        |               |          |
| <b>■滞在費目安（一日あたりの食費及び少額交通費）</b>  |        | <b>■宿泊費目安</b> |          |
| ※目安金額であり、JICAから支給されるものではありません。  |        |               |          |
|   |        | 円/日           | 円/泊      |
| <b>■備考・留意点</b><br>基本的には北陸センターオフィスで活動いただくことを想定。ただし、一部リモートでの活動も可能。<br>なお、北陸センターには宿泊施設はなし。   |        |               |          |

## 2023年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| <b>受入担当部署/国内機関</b>  |   | <b>登録番号</b>                               | 2301-国13  |
| <b>■部署名：</b>  | 関西センター  | <b>■募集人数（人）</b>                           | 8   |
| <b>■課名：</b>   | 開大連携課   |   |   |
| <b>■テーマ</b>   |   |   |   |
| 関西における国内事業全般（研修員受入、市民参加、民間連携など希望に応じテーマを設定。希望するテーマを応募書類に明記のこと。）  |   |   |   |
| <b>■テーマの概要</b>  |   |   |   |
| <p>JICA関西は、関西の2府4県（大阪府、京都府、兵庫県、滋賀県、奈良県、和歌山県）のJICAの拠点として、関西の皆さんとともに国際協力事業を展開しています。開発途上国のリーダーを育成する研修員受入事業、自治体・大学・NGO/NPOなどの皆さんの知見や経験を活かす国際協力活動支援（草の根技術協力）、出前講座などの開発教育、企業のすぐれた技術やサービスを開発途上国の発展に活かす民間連携事業など、幅広い事業を実施しています。また最近の動きとして、多文化共生・外国人材受入支援や、関西SDGsプラットフォームを通じた関西でのSDGs推進の取り組みを行っています。</p> <p>本インターンでは、JICA関西が行うJICA事業、そして日本でできる国際協力事業について理解することを目的とします。インターンのテーマは、JICA関西で実施する事業の中から、インターン学生の研究分野・興味関心と各事業の年間スケジュールを考慮の上、決定します。</p> |   |   |   |
| <b>■具体的なインターンシップ活動内容</b>  |   |   |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 途上国からの短期技術研修員受け入れ</li> <li>・ 途上国からの留学生受入れ、日本文化理解プログラムの実施</li> <li>・ 自治体・大学・民間企業による国際協力への参画支援</li> <li>・ 一般市民や青少年が国際協力への理解を深めるための啓発事業</li> <li>・ 大学・高校・小学校との連携による開発教育支援事業</li> <li>・ NGO 支援事業</li> <li>・ 多文化共生・外国人受入支援</li> <li>・ SDGs推進</li> <li>・ イベント開催を含む広報事業等</li> </ul> <p>※各事業詳細はJICA 関西のHPを参照のこと。</p>   |   |   |   |
| <b>■参考情報</b>  |   |   |   |
| JICA関西ホームページ 更新情報<br><a href="https://www.jica.go.jp/kansai/new.html">https://www.jica.go.jp/kansai/new.html</a>  |   |   |   |
| <b>■参加(同行)可能な行事・視察等</b>   |   |   |   |
| 期間中に実施するイベント（市民向け、留学生や研修員向け、在留外国人向け等）、短期技術研修への同行、開発教育の講座への同行など。   |   |   |   |
| <b>■受入時期・期間</b>   |   |   |   |
| 2023年 8月 から 12月 までの 2ヶ月間程度  |   | フルタイム以外の活動体系の可否                           |   |
| 上記期間外含めて調整可 理由：場合によっては2週間集中的に実施する場合も有り  |   | 可   | 週2回程度   |
| <b>大学生・大学院生・社会人全て可</b>  |   |   |   |
| <b>■応募資格以外に受入れに関し求める要件</b>  |   |   |   |
| 必須  | Microsoft Officeの操作経験                           |   |   |
| 望ましい  | 日常会話レベルの英語能力（TOEIC600点程度）                       |   |   |
| <b>■提供可能な執務環境等</b>  |   |   |   |
| <input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース  | <input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用      | <input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し | <input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等 |
| <input type="checkbox"/> 携帯電話貸出   | <input checked="" type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担 |   |   |
| その他（提供可能な事項）： <input type="checkbox"/> 外勤時の交通費（ICOCA貸出）   |   |   |   |
| <b>■滞在費目安（一日あたりの食費及び少額交通費）</b>  |   | <b>■宿泊費目安</b>                             |   |
| ※目安金額であり、JICAから支給されるものではありません。  |   |   |   |
| 2,000円/日  |   | 5,300円/泊                                  |   |
| <b>■備考・留意点</b>  |   |   |   |
| 空室があればJICA関西に宿泊可能です（1泊5,300円・朝食付）<br>基本的には関西センターオフィスで活動いただくことを想定しています。ただし、事由に応じて一部リモートでの活動も応相談。   |   |   |   |

2023年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

|  |  |          |          |
|--|--|----------|----------|
| 受入担当部署/国内機関  |  | 登録番号     | 2301-国14 |
| ■部署名:  | 中国センター   | ■募集人数(人) | 2        |
| ■課名:   | 市民参加協力課  |          |          |
| ■テーマ<br>市民・高校生/大学生にとって魅力あるJICA市民参加協力事業の提案  |  |          |          |
| ■テーマの概要<br>国際協力への関心の拡大は、JICA中国を含めたJICA国内機関の大きなミッションである。このミッション実現のため、マスメディア等を通じた広報、小中高の学校現場を中心とした開発教育支援事業を展開しているが、国際協力の将来の担い手として高校生・大学生は重要なターゲットであり、今後取り組みを強化する必要がある。JICA中国では、高校生を対象に国際協力体験プログラム、大学生を対象にフィールドワーク合宿や広島市内でのイベントを実施しているが、最終的に目指すところは、高校生・大学生がJICAが提供する各種事業に参加するだけでなく、自ら主体的に他の市民や学生を巻き込み、国際協力に関わることの意義を発信していくことである。そのために、どのように事業を実施し、フォローアップし、事業参加後の連携を図ればよいか大学生の視点から検討し、JICA中国に提案することを本インターンに期待している。 |  |          |          |
| ■具体的なインターンシップ活動内容<br>・ 広島県因島及び岡山県西粟倉村での大学生フィールドワーク合宿への参加・イベント支援・広報発信<br>・ 広島県内大学生との国際フェスタ(11/19)に向けた打合せ参加<br>・ 高校生ないし大学生向けの広島市内ウエノヤビルでのイベント企画・準備・実施(9月中に実施することを想定)<br>・ その他JICA中国でのイベント参加、業務体験   |  |          |          |
| ■参考情報<br><a href="https://www.jica.go.jp/chugoku/topics/2022/i8dm010000030gb.html">インターンの業務の成果としてのHP掲載記事の例<br/>https://www.jica.go.jp/chugoku/topics/2022/i8dm010000030gb.html</a>   |  |          |          |
| ■参加(同行)可能な行事・視察等<br>8月末 大学生フィールドワーク合宿(広島県因島)でのイベント支援<br>9月中旬 大学生フィールドワーク合宿(岡山県西粟倉村)でのイベント支援  |  |          |          |
| ■受入時期・期間<br>2023年8月下旬から9月下旬までの1ヶ月間程度<br>フルタイム以外の活動体系の可否<br>上記期間内での調整可 理由: 可 週3回, 1ヶ月間程度  |  |          |          |
| ■希望する人材(大学生/大学院生/社会人)<br>大学生・大学院生とも可   |  |          |          |
| ■応募資格以外に受入れに関し求める要件  |  |          |          |
| 必須   | 自ら進んで業務に取り組む自主性、積極性があること                         |          |          |
| 必須   | 高校生・大学生から自然な形で想いや取り組みを聞くことのできる傾聴力・質問力・コミュニケーション力 |          |          |
| ■提供可能な執務環境等<br><input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース <input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用 <input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し <input type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等<br><input type="checkbox"/> 携帯電話貸出 <input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担<br>その他(提供可能な事項):   |  |          |          |
| ■滞在費目安(一日あたりの食費及び少額交通費)  |  | ■宿泊費目安   |          |
| ※目安金額であり、JICAから支給されるものではありません。   |  |          |          |
| 2000円/日  |  | 5300円/泊  |          |
| ■備考・留意点<br>中国センターのある東広島市西条にはホテルの数が限られることから、インターン合格後速やかに宿泊手配等を進めることを推奨します。広島市内から通う場合、車で約1時間程度と考えておいてください。基本的に対面での実施を想定しています。  |  |          |          |



2023年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

|   |        |                 |             |
|---|--------|-----------------|-------------|
| 受入担当部署/国内機関   |        | 登録番号            | 2301-国15    |
| ■部署名:   | 九州センター | ■募集人数(人)        | 1           |
| ■課名:  | 企業連携課  |                 |             |
| <b>■テーマ</b><br>中小企業・SDGsビジネス支援事業に関連する情報収集、広報ツールの作成  |        |                 |             |
| <b>■テーマの概要</b><br>中小企業・SDGsビジネス支援事業は開発途上国の課題解決に貢献する日本の民間企業等のビジネスづくりを支援するものです。九州センター企業連携課では九州地域7県（福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県）を所管し、自治体、地域金融機関等と共に、企業の海外展開を支援しています。<br>中小企業・SDGsビジネス支援事業はJICAの中では比較的新しい施策であるため、九州域内のより多くの企業に施策を知ってもらうべくセミナーやイベントで説明を行ったり、九州に特化した経済誌で情報発信を行ったりしています。<br>インターンの方にはインターンシップの活動を通じて、中小企業・SDGsビジネス支援事業への理解を深めていただき、関連情報の情報収集を行ったり、広報ツールの作成を行っていただくことを想定しています。 |        |                 |             |
| <b>■具体的なインターンシップ活動内容</b><br>1. 中小企業・SDGsビジネス支援事業に関連する情報収集<br>九州経済誌等に掲載されている情報をもとに、中小企業・SDGsビジネス支援事業の活用可能性がありそうな情報を収集し、継続的に活用できるリストにまとめる。<br>2. 広報ツールの作成<br>既存の資料を参考にしながら、新たな目線で広報ツールのアップデートを行う。   |        |                 |             |
| <b>■参考情報</b><br>中小企業・SDGsビジネス支援事業<br><a href="https://www.jica.go.jp/priv_partner/activities/index.html">https://www.jica.go.jp/priv_partner/activities/index.html</a><br>九州センターの民間連携事業Webページ<br><a href="https://www.jica.go.jp/kyushu/enterprise/priv_partner/index.html">https://www.jica.go.jp/kyushu/enterprise/priv_partner/index.html</a>  |        |                 |             |
| <b>■参加(同行)可能な行事・視察等</b><br>現時点で予定はありませんが、インターンシップ期間中に参加可能な行事等があればご要望に応じて参加頂くことを想定   |        |                 |             |
| <b>■受入時期・期間</b><br>2023年 7月 から 9月 までの 1ヶ月間程度<br>上記期間内での調整可 理由:  |        |                 |             |
|   |        | フルタイム以外の活動体系の可否 |             |
|   |        | 可               | 週3回, 1ヶ月間程度 |
| <b>■希望する人材(大学生/大学院生/社会人)</b><br>大学生・大学院生・社会人全て可   |        |                 |             |
| <b>■応募資格以外に受入れに関し求める要件</b>  |        |                 |             |
| 提供可能な執務環境等<br><input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース <input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用 <input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し <input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等<br><input type="checkbox"/> 携帯電話貸出 <input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担<br>その他(提供可能な事項):  |        |                 |             |
| <b>■滞在費目安(一日あたりの食費及び少額交通費)</b>  |        | <b>■宿泊費目安</b>   |             |
| ※目安金額であり、JICAから支給されるものではありません。  |        |                 |             |
| 2000円/日   |        | 5,300円/泊        |             |
| <b>■備考・留意点</b><br>・九州センターの宿泊施設の状況によっては居室を利用(5,300円/泊、朝食付)いただける場合があります。  |        |                 |             |

2023年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

|  |  |                                |   |
|--|--|--------------------------------|---|
| 受入担当部署/国内機関  |  | 登録番号                           | 2301-国16  |
| ■部署名:  | 沖縄センター                                     | ■募集人数(人)                       | 1   |
| ■課名:   | 研修業務課                                      |                                |   |
| ■テーマ   |  |                                |   |
| 沖縄における基礎教育分野研修/開発教育現場への理解進化及び改善の提案   |  |                                |   |
| ■テーマの概要  |  |                                |   |
| <p><b>課題別研修「基礎教育における格差対策のための教育行政強化」</b><br/>         開発途上国の教育行政官・現地教育関係者をJICA沖縄センターへ招き、「誰一人取り残さない教育」をテーマに、日本及び沖縄県（以下、本県）における教育の取組を学ぶ。本県は本州から離れた「離島県」ということもあり、地理的な格差や先の大戦からの復興経験などを含め、様々な知見を持つ。世界中から集う研修員は本県における教育についての知見を講義、視察、ディスカッションを通して学ぶ。これまで主に研修を実施してきたNPO法人レキオウイングスは、本県教育行政分野において広範囲なネットワークを持っている。また、コース関係者は長年教育現場及び教育行政にてご活躍をされたエキスパートである。<br/>         インターンシップ参加者は、「来日研修」(2023年11月中旬～12月中旬)に参加し、学生の視点で研修参加国における研修成果活用の可能性を検討する。また、本研修での学びがどのように日本に還元されるかを検討する。</p> |  |                                |   |
| ■具体的なインターンシップ活動内容  |  |                                |   |
| <p>本インターンシップは、大学・大学院生（教育分野または開発学全般を専攻していることが望ましいが必須ではない）を対象とし本研修に参加することにより、以下の内容に取り組む。<br/>         ①研修員が作成したジョブ（自国の課題分析）レポートや研修員との対話から、研修参加国の基礎教育分野における課題を理解する<br/>         ②研修員と共に研修に参加し、学生の視点から「研修内容が研修参加国の課題解決にどのように活用可能か」をレポートにまとめる<br/>         ③JICA沖縄で実施している他の事業（開発教育支援など）を理解し、本研修とのコラボレーションの可能性を考察してレポートにまとめる</p>   |  |                                |   |
| ■参考情報  |  |                                |   |
| <p>NPO法人レキオウイングス<br/> <a href="https://lequiowings.org/">https://lequiowings.org/</a></p>  |  |                                |   |
| ■参加(同行)可能な行事・視察等   |  |                                |   |
| <p>課題別研修「基礎教育における格差対策のための教育行政強化」（11月中旬～12月上旬）。<br/>         ・おきなわ国際協力・交流フェスティバル（11月下旬予定）運営への一部参加<br/>         ・浦添市でだこ祭関連へのイベント参加<br/>         ・開発教育支援プログラム（ふれあい講座等）参加<br/>         ・草の根技術協力案件（教育分野）についての実務体験</p>   |  |                                |   |
| ■受入時期・期間   |  |                                |   |
| 2023年11月上旬 から 12月中旬 までの 約1ヶ月間  |  | フルタイム以外の活動体系の可否                |   |
| 上記期間内での調整可 理由：課題別研修「基礎教育」は11月中旬から12月上旬までの予定  |  | 週 回, ヶ月間程度                     |   |
| ■希望する人材（大学生/大学院生/社会人）  |  |                                |   |
| 大学生・大学院生・社会人全て可  |  |                                |   |
| ■応募資格以外に受入れに関し求める要件  |  |                                |   |
| 必須   | 研修は英語で実施されるため、英文の読み書きおよび意思疎通ができること。        |                                |   |
|  |  |                                |   |
| ■提供可能な執務環境等  |  |                                |   |
| <input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース   | <input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用 | <input type="checkbox"/> PC貸出し | <input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等 |
| <input type="checkbox"/> 携帯電話貸出  | <input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担       |                                |   |
| その他（提供可能な事項）：  |  |                                |   |
| ■滞在費目安（一日あたりの食費及び少額交通費）  |  | ■宿泊費目安                         |   |
| ※目安金額であり、JICAから支給されるものではありません。   |  |                                |   |
| センターで昼食・夕食をとる場合 1,600円/日   |  | センター泊の場合 5300円/泊（朝食込）          |   |
| ■備考・留意点  |  |                                |   |
| <p>・研修受入期間の部分的参加ではなく、全期間に参加すること。<br/>         ・研修内外において、研修に参加している研修員と積極的に交流すること。外国籍の参加も可としますが、日本語の読み書きおよび意思疎通ができること。<br/>         ・滞在費目安の内訳は昼食代800円、夕食代800円（少額交通費は、研修同行時は研修員と同じJICAバスに乗ることを想定し、かつJICA沖縄宿泊を想定し0円）。宿泊費目安はJICA沖縄宿泊（朝食代込み）の金額。</p>   |  |                                |   |

## 2023年度第一回 JICAインターンシップ・プログラム 開発コンサルティング企業ポスター一覧

| 登録番号       | 担当部署                  | 募集人数 | テーマ                                       |
|------------|-----------------------|------|---|
| 2301-開コ 01 | (株)アルメックVPI           | 1    | 市民参加協力事業を中心とした国内事業の地域国際化活性化への貢献度にかかる調査    |
| 2301-開コ 02 | (株)アルメックVPI           | 1    | 2021～2023年度 課題別研修「都市公共交通（鉄道、MRT、バスなど）」    |
| 2301-開コ 03 | (株)オリエンタルコンサルタンツグローバル | 2    | ダッカ交通安全プロジェクト（第2期）                        |
| 2301-開コ 04 | (株)オリエンタルコンサルタンツグローバル | 1    | モザンビーク国マプト市都市公共交通改善支援プロジェクト               |
| 2301-開コ 05 | (株)オリエンタルコンサルタンツグローバル | 1    | コンゴ民主共和国キンシャサ市都市交通マスタープラン（PDTK）実施促進プロジェクト |
| 2301-開コ 06 | 八千代エンジニアリング(株)        | 1    | コートジボワール国大アビジャン圏都市開発マスタープラン実施促進プロジェクト     |
| 2301-開コ 07 | 八千代エンジニアリング(株)        | 1    | ザンビア国種子生産ほ場・研修施設整備計画                      |
| 2301-開コ 08 | 八千代エンジニアリング(株)        | 1    | スーダン国スーダンのきれいな街プロジェクト                     |
| 2301-開コ 09 | 八千代エンジニアリング(株)        | 1    | パラオ国無収水削減能力向上プロジェクト                       |
| 2301-開コ 10 | 八千代エンジニアリング(株)        | 1    | モザンビーク国マプト中央病院新生児棟建設計画                    |
| 2302-開コ 11 | 八千代エンジニアリング(株)        | 1    | インドネシア国事前防災投資にかかる洪水対策マスタープランプロジェクト        |

**2023年度第一回JICAインターンシップ・プログラム  
開発コンサルティング企業受入**

|  |  |   |   |
|--|--|---|---|
| <b>受入先企業</b>   |  | <b>登録番号</b>                                     | 2301-開コ01                                   |
| <b>■企業名：ドロップダウンリストより選択⇒</b>  |  | <b>募集人数（人）</b>                                  | 1   |
| ドロップダウンリストより選択⇒ (株)アルメックVPI  |  | 地域国際化活性化  |   |
| <b>■プロジェクト名</b>  |  | <b>■スキーム名</b>                                   |   |
| 市民参加協力事業を中心とした国内事業の地域国際化活性化への貢献度にかかる調査   |  | その他   |   |
| <b>■プロジェクト概要</b>   |  |   |   |
| <p>日本の地方都市が、少子高齢化等による地域経済の停滞・縮小に直面する中、地域創生は国の重要政策課題として位置付けられている。2020年に閣議決定された「まち・ひと・しごと創成戦略」第二期においても地域活性化に向けて海外との関係構築の重要性が指摘されている。日本の地方自治体の国際化への取り組みは、1990年代以降に国際交流から国際協力という潮流が起こり、2010年以降は国際化への取組を包括した総合的な国際戦略を構築し取り込む自治体も増えてきた一方で、自治体の財政難により国際交流活動予算は削減され活動は停滞が続いている。JICAは、専門家派遣等、技術協力の一環で地方自治体との連携を進めてきたが、2003年以降、国際協力の裾野を広げ国内の地域の技術やリソースを途上国の課題解決に活用することを目的に市民参加協力事業を展開してきている。近年は、国際社会への貢献とともに国益の確保が求められるようになってきている。本業務は地方自治体の国際化がどのように地域の活性化につながり、JICAの事業が地域活性化に貢献するためには何が必要なのかを検討する。</p> |  |   |   |
| <b>■具体的なインターンシップ活動内容</b>   |  |   |   |
| <p>日本の地方の国際化や地域活性化に関するデータの整理、JICAの国内事業（国際教育、草の根協力事業、民間企業進出支援、等）に関するデータ整理、国際協力を通じた地方の活性化事例の情報収集、が中心となります。また、有識者やJICAなどとの会議への参加や社内会議などにも参加して貰い、コンサルタント業務がどのようなものなのか知って貰えたらと思います。</p>   |  |   |   |
| <b>■プロジェクトの参考情報</b>  |  |   |   |
| 無し   |  |   |   |
| <b>■参加(同行)可能な行事・視察等</b>  |  |   |   |
| 無し   |  |   |   |
| <b>■受入時期・期間</b>  |  |   |   |
| 2023年8月 から12月 までの 1ヶ月間程度（2週間からの受入も可とする）  |  | フルタイム以外の活動体系の可否                                 |   |
| 上記期間内での調整可 理由：   |  | 可   | 週 3-4回、1ヶ月間程度                               |
| <b>■希望する人材（大学生/大学院生/社会人）</b>   |  |   |   |
| 大学生・大学院生・社会人全て可  |  |   |   |
| <b>■応募資格以外に受入れに関し求める要件</b>   |  |   |   |
|  |  |   |   |
| <b>■提供可能な執務環境等</b>   |  |   |   |
| <input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース   | <input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用 | <input type="checkbox"/> PC貸出し                  | <input checked="" type="checkbox"/> PC自身で準備 |
| <input type="checkbox"/> 携帯電話貸出  | <input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担       | <input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等 |   |
| その他（提供可能な事項）：  |  |   |   |
|  |  |   |   |
| <b>■滞在費（一日あたりの食費及び少額交通費）</b>   |  | <b>■宿泊費</b>                                     |   |
| ※目安金額であり、JICA及び開発コンサルティング企業から支給されるものではありません。   |  |   |   |
| 円/日  |  | 円/泊   |   |
| <b>■備考・留意点</b>   |  |   |   |
| <p>滞在費及び宿泊地については、今回海外及び国内出張の予定は無いので未記入としています。活動地は東京（最寄り駅：新宿三丁目駅/新宿御苑駅）。リモートでの活動も可能とします。Skypeでのコミュニケーションの確保をお願いします。</p>   |  |   |   |

2023年度第一回JICAインターンシップ・プログラム  
開発コンサルティング企業受入

《理系の方にお勧め》

|   |  |   |   |
|---|--|---|---|
| 受入先企業   |  | 登録番号  | 2301-開コ02                                   |
| ■企業名：ドロップダウンリストより選択⇒  | あ行   | 募集人数（人）   | 1   |
| ドロップダウンリストより選択⇒ (株)アルメックVPI   |  | 都市公共交通  |   |
| ■プロジェクト名  |  | ■スキーム名  |   |
| 2021～2023年度 課題別研修「都市公共交通（鉄道、MRT、バスなど）」  |  | その他   |   |
| ■プロジェクト概要   |  |   |   |
| 本研修事業は、都市公共交通政策や立案に携わっている行政官を対象に、都市開発との連携、交通モード選定、ファイナンス、公共交通事業の管理・規制、交通結節点整備などの日本の事例を紹介しつつ、途上国の都市交通所管機関が実際に取り組んでいる各種対策に資する都市公共交通計画及びその運営管理の改善に向けた課題を整理し、改善の方向性を検討する。<br>2021年度と2022年度の研修では、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により遠隔研修で実施された。2023年度は、来日型研修と遠隔研修の組み合わせで実施を予定されている。 |  |   |   |
| ■具体的なインターンシップ活動内容   |  |   |   |
| 遠隔研修教材の作成と研修へのオブザーバー参加を予定しています。<br>遠隔研修教材の作成では、新宿バスタや多摩ニュータウン、つくばエクスプレスなどでVIDEO作成をし、ナレーションや文字入れをいれるなど研修教材として使えるようにします。<br>また、実際に行われる遠隔研修にも参加して貰い、途上国が抱えている都市交通問題やその解決策などを学んで貰う予定です。   |  |   |   |
| ■プロジェクトの参考情報  |  |   |   |
| 無し  |  |   |   |
| ■参加(同行)可能な行事・視察等  |  |   |   |
| 無し  |  |   |   |
| ■受入時期・期間  |  |   |   |
| 2023年8月 から12月 までの 1ヶ月間程度（2週間からの受入も可とする）   |  | フルタイム以外の活動体系の可否                                 |   |
| 上記期間内での調整可 理由：  |  | 可   | 週2回、 1ヶ月間程度                                 |
| ■希望する人材（大学生/大学院生/社会人）   |  |   |   |
| 大学生・大学院生・社会人全て可   |  |   |   |
| ■応募資格以外に受入れに関し求める要件   |  |   |   |
|   |  |   |   |
| ■提供可能な執務環境等   |  |   |   |
| <input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース  | <input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用 | <input type="checkbox"/> PC貸出し                  | <input checked="" type="checkbox"/> PC自身で準備 |
| <input type="checkbox"/> 携帯電話貸出   | <input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担       | <input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等 |   |
| その他（提供可能な事項）：   |  |   |   |
|   |  |   |   |
| ■滞在費（一日あたりの食費及び少額交通費）   |  | ■宿泊費  |   |
| ※目安金額であり、JICA及び開発コンサルティング企業から支給されるものではありません。  |  |   |   |
| 円/日   |  | 円/泊   |   |
| ■備考・留意点   |  |   |   |
| 滞在費及び宿泊地については、今回海外及び国内出張の予定は無いので未記入としています。<br>活動地は、東京（最寄り駅：新宿三丁目駅/新宿御苑駅）。<br>リモートでの活動は週2回を目途に可能。  |  |   |   |

2023年度第一回JICAインターンシップ・プログラム  
開発コンサルティング企業受入

《理系の方にお勧め》

|   |   |                                |   |
|---|---|--------------------------------|---|
| 受入先企業   |   | 登録番号                           | 2301-開コ03                                   |
| ■企業名：ドロップダウンリストより選択⇒  | あ行  | 募集人数（人）                        | 2   |
| ドロップダウンリストより選択⇒ (株)オリエンタルコンサルタンツグローバル   |   | バングラデシュ                        |   |
| ■プロジェクト名  |   | ■スキーム名                         |   |
| ダッカ交通安全プロジェクト（第2期）  |   | 技術協力プロジェクト                     |   |
| ■プロジェクト概要   |   |                                |   |
| <p>バングラデシュのダッカ首都圏は、1,600万人以上の人口を擁するバングラデシュ最大の都市である。現時点では都市内移動のうち99.6%を道路交通に依存しており、自動車保有台数は2013年から2018年の間に約20万台から100万台に増えた。その結果、ダッカ首都圏における交通渋滞や交通事故の問題が深刻化している。ダッカ首都圏における交通安全活動においてはダッカ首都警察（DMP）の役割が大きく、交通事故データ収集、交通規制及び運転手への交通安全教育などを担っている。一方で歩行者が道路を乱横断するといった危険行為が後を絶たず、研究機関が作成した報告書と事故件数とDMPの集計した件数が乖離しているなど、実態に即した適切な対応が行われていないと考えられる。</p> <p>この案件はDMPの「1.交通安全教育と広報に係る能力」、「2.交通事故報告・分析の能力」、「3.交通安全、交通規制及び執行の計画立案・実施能力」の3つの能力強化を目的としている。実施期間は2022年3月から2025年3月までの3カ年である。</p> |   |                                |   |
| ■具体的なインターンシップ活動内容   |   |                                |   |
| 交通安全教育の教材作成の補助、パイロットプロジェクトの支援（安全な道路横断、安全なバス乗降、交通公園の情報収集等）など。  |   |                                |   |
| ■プロジェクトの参考情報  |   |                                |   |
| <p>JICAウェブサイト：<a href="https://www.jica.go.jp/project/bangladesh/017/index.html">https://www.jica.go.jp/project/bangladesh/017/index.html</a><br/> <a href="https://www.jica.go.jp/oda/project/1903863/index.html">https://www.jica.go.jp/oda/project/1903863/index.html</a></p>  |   |                                |   |
| ■参加(同行)可能な行事・視察等  |   |                                |   |
| JICAや現地との打ち合わせ等（オンライン参加を想定）   |   |                                |   |
| ■受入時期・期間  |   |                                |   |
| 2023年 8月から11月 までの 2週間～2か月程度   |   | フルタイム以外の活動体系の可否                |   |
| 上記期間内での調整可 理由：  |   | 可                              | 週3回、2ヶ月間程度                                  |
| ■希望する人材（大学生/大学院生/社会人）   |   |                                |   |
| 大学生・大学院生・社会人全て可   |   |                                |   |
| ■応募資格以外に受入れに関し求める要件   |   |                                |   |
| 必須  | 英語力（現地スタッフとのオンライン打ち合わせが可能なレベル）                  |                                |   |
| 望ましい  | 交通安全、安全教育、行動変容、行動心理等に関する知識                      |                                |   |
| ■提供可能な執務環境等   |   |                                |   |
| <input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース  | <input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用      | <input type="checkbox"/> PC貸出し | <input checked="" type="checkbox"/> PC自身で準備 |
| <input type="checkbox"/> 携帯電話貸出   | <input checked="" type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担 |                                |   |
| その他（提供可能な事項）：   |   |                                |   |
| ■滞在費（一日あたりの食費及び少額交通費）   |   | ■宿泊費                           |   |
| ※目安金額であり、JICA及び開発コンサルティング企業から支給されるものではありません。  |   |                                |   |
|   |   | 円/日                            | 円/泊   |
| ■備考・留意点   |   |                                |   |
| <p>滞在費及び宿泊地については、今回は、海外及び国内出張の予定は無いので未記入としています。<br/>         勤務地は東京。株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル本社（最寄り駅：京王新線/初台駅）です。<br/>         実施方法、オンライン可。</p>  |   |                                |   |



2023年度第一回JICAインターンシップ・プログラム  
開発コンサルティング企業受入

《理系の方にお勧め》

|   |   |                                |   |
|---|---|--------------------------------|---|
| 受入先企業   |   | 登録番号                           | 2301-開コ04                                   |
| ■企業名：ドロップダウンリストより選択⇒  | あ行  | 募集人数（人）                        | 1   |
| ドロップダウンリストより選択⇒ (株)オリエンタルコンサルタンツグローバル   |   | モーザンビーク                        |   |
| ■プロジェクト名  |   | ■スキーム名                         |   |
| モーザンビーク国マプト市都市公共交通改善支援プロジェクト  |   | 技術協力プロジェクト                     |   |
| ■プロジェクト概要   |   |                                |   |
| <p>モーザンビーク国の首都マプト市は、約348km<sup>2</sup>に約112万人（2017年国勢調査）の人口を有する国内最大の都市である。マプト都市圏はマプト市に加え、同市の西部、南西部、北部に隣接する3つの行政区（マトラ市、ボアナ地区、マラクエネ地区）から構成され、都市圏人口は260万人を超える。今後郊外部を中心に更なる増加が予想され、それに伴う交通量の増加を背景に、都市機能が集中するマプト市中心部ならびに中心部へ向かう幹線道路等での交通混雑が深刻化している。</p> <p>本プロジェクトは、2014年にJICA調査にて策定された「マプト都市圏交通マスタープラン」の更新及び公共バスの運営・サービス及び規制管理に関する能力強化を目的とした、技術協力プロジェクトである。期待される成果は、1) マプト都市圏都市交通マスタープランがレビューされ、活用される、2) 公共バスの運行事業者及び規制監督機関の能力が強化される、3) 公共交通指向型開発（TOD）に向けた規制と誘導が強化される、であり、実施期間は2023年1月から2026年1月までの3カ年である。</p> |   |                                |   |
| ■具体的なインターンシップ活動内容   |   |                                |   |
| マスタープランの進捗を可視化するダッシュボードの開発・運用補助、及びCDR(Call Detail Record)を活用したダッシュボードの開発・運用補助、パイロットプロジェクトの支援（バスルートGTFSの作成、バスターミナルの運用検討等）など。   |   |                                |   |
| ■プロジェクトの参考情報  |   |                                |   |
| ■参加(同行)可能な行事・視察等  |   |                                |   |
| JICAや現地との打ち合わせ等（オンライン参加を想定）   |   |                                |   |
| ■受入時期・期間  |   |                                |   |
| 2023年 8月から11月 までの 2週間～2か月程度   |   | フルタイム以外の活動体系の可否                |   |
| 上記期間内での調整可 理由：  |   | 可                              | 週3回、2ヶ月間程度                                  |
| ■希望する人材（大学生/大学院生/社会人）   |   |                                |   |
| 大学生・大学院生・社会人全て可   |   |                                |   |
| ■応募資格以外に受入れに関し求める要件   |   |                                |   |
| 必須  | 英語力（現地スタッフとのオンライン打ち合わせが可能なレベル）                  |                                |   |
| 望ましい  | 交通データの処理、公共交通等に関する知識                            |                                |   |
| ■提供可能な執務環境等   |   |                                |   |
| <input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース  | <input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用      | <input type="checkbox"/> PC貸出し | <input checked="" type="checkbox"/> PC自身で準備 |
| <input type="checkbox"/> 携帯電話貸出   | <input checked="" type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担 |                                |   |
| その他（提供可能な事項）：   |   |                                |   |
| ■滞在費（一日あたりの食費及び少額交通費）   |   | ■宿泊費                           |   |
| ※目安金額であり、JICA及び開発コンサルティング企業から支給されるものではありません。  |   |                                |   |
| 円/日   |   | 円/泊                            |   |
| ■備考・留意点   |   |                                |   |
| 滞在費及び宿泊地については、今回は、海外及び国内出張の予定は無いので未記入としています。<br>勤務地は東京。株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル本社（最寄り駅：京王新線/初台駅）です。<br>実施方法、オンライン可。   |   |                                |   |

2023年度第一回JICAインターンシップ・プログラム  
開発コンサルティング企業受入

《理系の方にお勧め》

|   |   |                                |   |
|---|---|--------------------------------|---|
| 受入先企業   |   | 登録番号                           | 2301-開コ05                                   |
| ■企業名：ドロップダウンリストより選択⇒<br>ドロップダウンリストより選択⇒ (株)オリエンタルコンサルタンツグローバル   |   | あ行                             | 募集人数（人）<br>1                                |
| ■プロジェクト名<br>コンゴ民主共和国キンシャサ市都市交通マスタープラン（PDTK）実施促進プロジェクト   |   | ■スキーム名<br>技術協力プロジェクト           |   |
| ■プロジェクト概要<br>コンゴ民主共和国の首都キンシャサ市は、約1,251万人の人口と推計されており、今後も急増すること予測されている。2017年から2019年にかけて、JICAは「キンシャサ市都市交通マスタープラン策定プロジェクト（PDTK）」を実施し、都市交通マスタープランの策定を支援した。PDTKに基づいた都市交通政策が実施されることを目指して、調整・モニタリング体制が確立、既成市街地における交通インフラ整備手法が構築、既存公共交通の運行が改善を支援している。現在、都市交通政策調整のための委員会設置（成果1）、土地区画整理事業に関するパイロットスタディ（成果2）、タクティカル・アーバニズムを活用した公共交通サービス改善・交通安全のためのパイロットプロジェクト（成果3）を実施中。 |   |                                |   |
| ■具体的なインターンシップ活動内容<br>タクティカル・アーバニズムイベント開催支援、合同調整委員会（JCC）やセミナーの開催準備、交通調査の実施・解析支援、オンラインでの交通状況の把握、広報活動等を想定していますが、実施時期やプロジェクトの状況により内容が変更になることがあります。  |   |                                |   |
| ■プロジェクトの参考情報<br>2017～2019年に実施された都市交通マスタープランのプロジェクトに関する情報は以下を参照ください。<br><a href="https://www.jica.go.jp/oda/project/1502576/index.html">https://www.jica.go.jp/oda/project/1502576/index.html</a><br><a href="https://openjicareport.jica.go.jp/614/614/614_532_12340279.html">https://openjicareport.jica.go.jp/614/614/614_532_12340279.html</a>           |   |                                |   |
| ■参加（同行）可能な行事・視察等<br>JICAや現地との打ち合わせ等（オンライン参加を想定）   |   |                                |   |
| ■受入時期・期間  |   |                                |   |
| 2023年 8月から12月 までの 3ヶ月間程度（2週間からの受入も可とする）   |   | フルタイム以外の活動体系の可否                |   |
| 上記期間内での調整可 理由：  |   | 可                              | 週3回、2ヶ月間程度                                  |
| ■希望する人材（大学生/大学院生/社会人）<br>大学生・大学院生・社会人全て可  |   |                                |   |
| ■応募資格以外に受入れに関し求める要件   |   |                                |   |
| 望ましい  | 英語力（現地スタッフとのオンライン打ち合わせが可能なレベル）                  |                                |   |
| 望ましい  | 交通計画に関する知識                                      |                                |   |
| ■提供可能な執務環境等   |   |                                |   |
| <input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース  | <input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用      | <input type="checkbox"/> PC貸出し | <input checked="" type="checkbox"/> PC自身で準備 |
| <input type="checkbox"/> 携帯電話貸出   | <input checked="" type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担 |                                |   |
| その他（提供可能な事項）：   |   |                                |   |
| ■滞在費（一日あたりの食費及び少額交通費）   |   | ■宿泊費                           |   |
| ※目安金額であり、JICA及び開発コンサルティング企業から支給されるものではありません。  |   |                                |   |
|   |   | 円/日                            | 円/泊   |
| ■備考・留意点<br>活動地：株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル本社（最寄り：初台駅）<br>リモート活動：可  |   |                                |   |

2023年度第一回JICAインターンシップ・プログラム  
開発コンサルティング企業受入

《理系の方にお勧め》

|  |  |   |   |
|--|--|---|---|
| 受入先企業  |  | 登録番号  | 2301-開コ06                                   |
| ■企業名：ドロップダウンリストより選択⇒   | ま行_わ行                                      | 募集人数（人）   | 1   |
| ドロップダウンリストより選択⇒ 八千代エンジニアリング(株)   |  | コートジボワール  |   |
| ■プロジェクト名   |  | ■スキーム名  |   |
| コートジボワール国大アビジャン圏都市開発マスタープラン実施促進プロジェクト  |  | 技術協力プロジェクト                                      |   |
| ■プロジェクト概要  |  |   |   |
| <p>コートジボワール国の旧首都アビジャン市は、国全体の1/4に当たる約505万人（国家統計協会、2014年国勢調査より）の人口を抱え、2050年には1,071万人へと倍増するとの推計も存在する。この変化に対応するため、2030年を目標年次とする大アビジャン圏（アビジャン自治区を構成する13コミューン（市）、周辺6コミューン及びその周辺の郡を含む）の都市マスタープラン・都市交通マスタープラン（SDUGA）がJICAの支援により策定された。</p> <p>本プロジェクトでは、SDUGAに沿った都市開発の着実な実施促進に向けて以下の3つの成果のための活動を行っている。</p> <p>成果1：SDUGA実施促進・モニタリング委員会の体制が構築され、主要な都市インフラセクター計画との調整・整合性確保が行われる。</p> <p>成果2：SDUGA実施のための地区レベルでの都市開発管理の実効性が高められる。</p> <p>成果3：公共交通の利便性及びアクセス向上を目的とした、都市交通計画のレビュー・更新が行われる。</p> |  |   |   |
| ■具体的なインターンシップ活動内容  |  |   |   |
| <p>主として、成果3：公共交通の利便性及びアクセス向上を目的とした、都市交通計画のレビュー・更新が行われる。そのための活動を行う。</p> <p>活動 3-1：SDUGA の都市交通計画のレビュー・更新<br/> 活動 3-2：SDUGA の都市交通分野の優先プロジェクトの更新<br/> 活動 3-3：都市交通行政におけるデータ活用に係る能力強化<br/> 活動 3-4：公共交通のオペレーション改善に関する活動（暫定）</p> <p>なお、コートジボワールのカウンターパートとのオンライン会議などがあれば、できるだけ参加できるよう調整します。</p>   |  |   |   |
| ■プロジェクトの参考情報   |  |   |   |
| <a href="https://www.jica.go.jp/oda/project/1940967/index.html">https://www.jica.go.jp/oda/project/1940967/index.html</a>  |  |   |   |
| ■参加(同行)可能な行事・視察等   |  |   |   |
| 未定   |  |   |   |
| ■受入時期・期間   |  |   |   |
| 2023年8月から12月までの1ヶ月程度（2週間からの受入も可とする）  |  | フルタイム以外の活動体系の可否                                 |   |
| 上記期間内での調整可 理由：   |  | 可   | 週2回、1ヶ月間程度                                  |
| ■希望する人材（大学生/大学院生/社会人）  |  |   |   |
| 大学生・大学院生・社会人全て可  |  |   |   |
| ■応募資格以外に受入れに関し求める要件  |  |   |   |
| 望ましい   | 交通計画あるいは都市計画に関する専門性を有する                    |   |   |
|  |  |   |   |
| ■提供可能な執務環境等  |  |   |   |
| <input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース   | <input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用 | <input type="checkbox"/> PC貸出し                  | <input checked="" type="checkbox"/> PC自身で準備 |
| <input type="checkbox"/> 携帯電話貸出  | <input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担       | <input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等 |   |
| その他（提供可能な事項）：  |  |   |   |
| ■滞在費（一日あたりの食費及び少額交通費）  |  | ■宿泊費  |   |
| ※目安金額であり、JICA及び開発コンサルティング企業から支給されるものではありません。   |  |   |   |
| 円/日  |  | 円/泊   |   |
| ■備考・留意点  |  |   |   |
| <p>状況に応じて、以下の道路・交通関係プロジェクトにも関わっていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イラク国持続可能な都市づくりに向けたエルビル都市開発マスタープラン更新プロジェクト</li> <li>・ジブチ国道点検・維持管理能力向上アドバイザー業務</li> </ul> <p>・活動場所は、八千代エンジニアリング株式会社本社（最寄り：秋葉原/浅草橋）、リモートでの活動は可能であるが、週1回はオフィス出勤が望ましい。</p>  |  |   |   |

2023年度第一回JICAインターンシップ・プログラム  
開発コンサルティング企業受入

《理系の方にお勧め》

|  |  |   |   |
|--|--|---|---|
| 受入先企業  |  | 登録番号  | 2301-開コ07                                   |
| ■企業名：ドロップダウンリストより選択⇒ ま行_わ行   |  | 募集人数（人）   | 1   |
| ドロップダウンリストより選択⇒ 八千代エンジニアリング(株)   |  | ザンビア  |   |
| ■プロジェクト名<br>ザンビア国種子生産ほ場・研修施設整備計画   |  | ■スキーム名<br>無償資金協力                                |   |
| ■プロジェクト概要  |  |   |   |
| <p>ザンビアは農業を経済成長の柱とするべく、主食のメイズ偏重から脱し、作物生産の多様化・高付加価値化を国家政策の一つに掲げ、コメを重点作物に位置づけている。コメ需要は都市部を中心に拡大しているが、2019年のコメ消費量4.4万トンに対して生産量は2.0万トンにすぎず、消費の半分以上を輸入に依存している。</p> <p>本事業は、ザンビア農業研究機構（ZARI）マウント・マクル研究所及びマンサ研究所において、稲作技術普及のための施設及び機材、並びに原種種子及び認証種子生産のためのほ場及び灌漑設備を整備することにより、稲作技術の普及体制と原種種子及び認証種子の生産能力の強化を図り、もって当国のコメの生産量増大に寄与するものである。</p> <p>【建築施設（当社）】稲研修施設1棟、農業機械車庫2棟、稲処理施設2棟、ドライヤード2箇所、電気機械室2棟及びほ場研修倉庫1棟（総延床面積1,215m<sup>2</sup>）の建設</p> <p>【土木施設（JV）】ほ場、灌漑用水路及びアクセス道路の整備、ため池の改修</p> <p>【機材（JV）】トラクター・作業機、播種機、トレーラー、コンバインハーベスター、粗選機・乾燥機、精米プラント、冷凍庫等の調達及び据付</p> |  |   |   |
| ■具体的なインターンシップ活動内容  |  |   |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>先方負担事項に係る先方実施機関とのオンライン会議</li> <li>国内での入札管理業務の支援</li> <li>着工準備の支援</li> </ul>   |  |   |   |
| ■プロジェクトの参考情報   |  |   |   |
| <a href="https://libopac.jica.go.jp/images/report/P1000048622.html">https://libopac.jica.go.jp/images/report/P1000048622.html</a>  |  |   |   |
| ■参加（同行）可能な行事・視察等   |  |   |   |
| 未定   |  |   |   |
| ■受入時期・期間   |  |   |   |
| 2023年8月から12月までの1ヶ月程度（2週間からの受入も可とする）  |  | フルタイム以外の活動体系の可否                                 |   |
| 上記期間内での調整可 理由：   |  | 可   | 週 2回、1ヶ月間程度                                 |
| ■希望する人材（大学生/大学院生/社会人）  |  |   |   |
| 大学生・大学院生・社会人全て可  |  |   |   |
| ■応募資格以外に受入れに関し求める要件  |  |   |   |
|  |  |   |   |
| ■提供可能な執務環境等  |  |   |   |
| <input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース   | <input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用 | <input type="checkbox"/> PC貸出し                  | <input checked="" type="checkbox"/> PC自身で準備 |
| <input type="checkbox"/> 携帯電話貸出  | <input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担       | <input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等 |   |
| その他（提供可能な事項）：  |  |   |   |
| ■滞在費（一日あたりの食費及び少額交通費）  |  | ■宿泊費  |   |
| ※目安金額であり、JICA及び開発コンサルティング企業から支給されるものではありません。   |  |   |   |
| 円/日  |  | 円/泊   |   |
| ■備考・留意点  |  |   |   |
| <p>状況に応じて、以下の施設建設プロジェクトにも関わっていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>モザンビーク国マプト中央病院新生児棟建設計画</li> <li>活動場所は、八千代エンジニアリング株式会社本社（最寄り：秋葉原/浅草橋）</li> <li>リモートでの活動は可能であるが、最低週3日は出社</li> </ul>  |  |   |   |

2023年度第一回JICAインターンシップ・プログラム  
開発コンサルティング企業受入

《理系の方にお勧め》

|  |  |   |   |
|--|--|---|---|
| 受入先企業  |  | 登録番号  | 2301-開コ08                                   |
| ■企業名：ドロップダウンリストより選択⇒   | ま行_わ行                                      | 募集人数（人）   | 1   |
| ドロップダウンリストより選択⇒ 八千代エンジニアリング(株)   |  | スーダン  |   |
| ■プロジェクト名   |  | ■スキーム名  |   |
| スーダン国スーダンのきれいな街プロジェクト  |  | 技術協力プロジェクト                                      |   |
| ■プロジェクト概要  |  |   |   |
| <p>スーダン共和国の都市部では平均年3.2%の人口増があり、最大都市を有するハルツーム州では廃棄物発生量が4,890トン/日（2012年）から5,925トン/日（2017年）に増大している。人口が密集する都市域での適切な廃棄物収集は衛生的で健康的な居住環境を維持するための基礎的な行政サービスであるが、当国では、資機材や行政官の経験・能力の不足などの理由から、収集・処理能力が発生量に追いついておらず、廃棄物の不法投棄や不適切な焼却による衛生環境の悪化や健康被害が懸念されている。</p> <p>上記背景のもと、以下の成果達成のための活動を行っている。</p> <p>成果1：対象地域の廃棄物管理の現状及び課題が特定される。</p> <p>成果2：ハルツーム州清掃公社の廃棄物管理及び計画に係る能力が強化される。</p> <p>成果3：北コルドファン州清掃公社の廃棄物管理能力が強化される。</p> <p>成果4：紅海州清掃公社の廃棄物管理能力が強化される。</p> <p>成果5：全州から収集されたデータと情報に基づき、固形廃棄物管理に係る国家方針策定に向けた準備がなされる。</p> |  |   |   |
| ■具体的なインターンシップ活動内容  |  |   |   |
| <p>主として成果2～5の活動を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ナショナルスタッフとのオンライン会議</li> <li>・カウンターパートとのオンライン会議</li> </ul>  |  |   |   |
| ■プロジェクトの参考情報   |  |   |   |
| <a href="https://www.jica.go.jp/oda/project/1900355/index.html">https://www.jica.go.jp/oda/project/1900355/index.html</a>  |  |   |   |
| ■参加(同行)可能な行事・視察等   |  |   |   |
| 未定   |  |   |   |
| ■受入時期・期間   |  |   |   |
| 2023年8月から12月までの1ヶ月程度（2週間からの受入も可とする）  |  | フルタイム以外の活動体系の可否                                 |   |
| 上記期間内での調整可 理由：   |  | 可   | 週2～3回、1ヶ月間程度                                |
| ■希望する人材（大学生/大学院生/社会人）  |  |   |   |
| 大学生・大学院生・社会人全て可  |  |   |   |
| ■応募資格以外に受入れに関し求める要件  |  |   |   |
| 望ましい   | 廃棄物に関する専門性を有する                             |   |   |
|  |  |   |   |
| ■提供可能な執務環境等  |  |   |   |
| <input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース   | <input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用 | <input type="checkbox"/> PC貸出し                  | <input checked="" type="checkbox"/> PC自身で準備 |
| <input type="checkbox"/> 携帯電話貸出  | <input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担       | <input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等 |   |
| その他（提供可能な事項）：  |  |   |   |
| ■滞在費（一日あたりの食費及び少額交通費）  |  | ■宿泊費  |   |
| ※目安金額であり、JICA及び開発コンサルティング企業から支給されるものではありません。   |  |   |   |
| 円/日  |  | 円/泊   |   |
| ■備考・留意点  |  |   |   |
| <p>状況に応じて、以下の道路・交通関係プロジェクトにも関わっていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南スーダン国ジュバ市きれいな街プロジェクト</li> <li>・活動場所は、八千代エンジニアリング株式会社本社（最寄り：秋葉原/浅草橋）、リモートでの活動は、状況に応じて相談可。</li> </ul>   |  |   |   |

2023年度第一回JICAインターンシップ・プログラム  
開発コンサルティング企業受入

《理系の方にお勧め》

|  |  |                                |   |   |
|--|--|--------------------------------|---|---|
| 受入先企業  |  | 登録番号                           | 2301-開コ09                                   |   |
| ■企業名：ドロップダウンリストより選択⇒   | ま行_わ行                                      | 募集人数（人）                        | 1   |   |
| ドロップダウンリストより選択⇒ 八千代エンジニアリング(株)   |  | パラオ                            |   |   |
| ■プロジェクト名   |  | ■スキーム名                         |   |   |
| パラオ国無収水削減能力向上プロジェクト  |  | 技術協力プロジェクト                     |   |   |
| ■プロジェクト概要  |  |                                |   |   |
| <p>パラオ共和国は人口 18,092 人（2020 年、世界銀行）の国で、コロール州とアイライ州との 2 州が経済・観光の中心地であり、両州に人口の 81%が集中している。主要産業は観光業であり、2019 年の観光客総数は 94,000 人（2019 年、世界銀行）である。パラオでは、基本的な飲料水供給サービスへのアクセス率は 99%以上であり、24 時間給水が実現されているが、一部地域では1940 年代の日本統治時代に敷設された配水管が未だ残っており、無収水対策が十分になされていないため未だ約 48%もの無収水が発生している（2020 年時点）。</p> <p>こうした状況を踏まえて、以下の成果達成のための活動が行われている。</p> <p>成果 1：コロール・アイライ配水システムの管路更新基本計画が策定され、計画の実施能力が向上する。</p> <p>成果 2：漏水探知及び管修理、管路更新・切り替え工事に関する能力が向上する。</p> <p>成果 3：コマーシャルロス対策として使用水量把握・顧客の水利用状況改善に関する能力が向上する。</p> |  |                                |   |   |
| ■具体的なインターンシップ活動内容  |  |                                |   |   |
| 主として、成果2：漏水探知及び管修理、管路更新・切り替え工事に関する能力向上のための活動を行う。   |  |                                |   |   |
| ・漏水探知及び水道管修理、更新、切り替え工事の内容についての基本技術の理解<br>・現地での実施状況のモニターおよび指導状況モニター<br>・カウンターパートとのオンライン会議への参加   |  |                                |   |   |
| ■プロジェクトの参考情報   |  |                                |   |   |
| ■参加(同行)可能な行事・視察等   |  |                                |   |   |
| 未定   |  |                                |   |   |
| ■受入時期・期間   |  |                                |   |   |
| 2023年8月から12月までの1ヶ月程度（2週間からの受入も可とする）  |  | フルタイム以外の活動体系の可否                |   |   |
| 上記期間内での調整可 理由：   |  | 可                              | 週2～3 回、1ヶ月間程度                               |   |
| ■希望する人材（大学生/大学院生/社会人）  |  |                                |   |   |
| 大学生・大学院生・社会人全て可  |  |                                |   |   |
| ■応募資格以外に受入れに関し求める要件  |  |                                |   |   |
| 望ましい   | 上下水道に関する専門性を有する                            |                                |   |   |
|  |  |                                |   |   |
| ■提供可能な執務環境等  |  |                                |   |   |
| <input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース   | <input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用 | <input type="checkbox"/> PC貸出し | <input checked="" type="checkbox"/> PC自身で準備 | <input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等 |
| <input type="checkbox"/> 携帯電話貸出  | <input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担       |                                |   |   |
| その他（提供可能な事項）：  |  |                                |   |   |
| ■滞在費（一日あたりの食費及び少額交通費）  |  |                                |   | ■宿泊費  |
| ※目安金額であり、JICA及び開発コンサルティング企業から支給されるものではありません。   |  |                                |   |   |
| 円/日  |  |                                |   | 円/泊   |
| ■備考・留意点  |  |                                |   |   |
| 状況に応じて、以下の無償資金協力および有償資金協力プロジェクトにも関わっていただきます。<br>・ネパール国ピラトナガルにおける上水道改善計画（無償）<br>・イラク国クルド地域下水道整備（I）コンサルティングサービス（有償）<br>・活動場所は、八千代エンジニアリング株式会社本社（最寄り：秋葉原/浅草橋）、リモートでの活動は、社内関係者間の打合せに限る。  |  |                                |   |   |



2023年度第一回JICAインターンシップ・プログラム  
開発コンサルティング企業受入

《理系の方にお勧め》

|   |  |   |   |
|---|--|---|---|
| 受入先企業   |  | 登録番号  | 2301-開コ10                                   |
| ■企業名：ドロップダウンリストより選択⇒  | ま行_わ行                                      | 募集人数（人）   | 1   |
| ドロップダウンリストより選択⇒ 八千代エンジニアリング(株)  |  | モーザンビーク   |   |
| ■プロジェクト名  |  | ■スキーム名  |   |
| モーザンビーク国マプト中央病院新生児棟建設計画   |  | 無償資金協力  |   |
| ■プロジェクト概要   |  |   |   |
| <p>モーザンビークにおける妊産婦死亡率（出生十万対）は489、5歳未満児死亡率（出生千対）は72であり、同国政府は改善促進の為に母子保健サービスの質的拡大を戦略の一つに掲げている。マプト中央病院はトッブリファラル病院として医療サービスを提供しているが、その中で新生児科及び産婦人科は、施設の老朽化や利用者集中に伴う狭小な医療スペース、医療資機材不足、不衛生な環境、新生児科と産婦人科と小児科が建物内外で分散しているなど、非効率な状況を受け、標記類似業務ではマプト中央病院にて新生児棟を整備し、関連診療科の機能を一部集約することでCOVID-19を含む感染症の院内感染を予防するとともに、同病院の小児医療サービスの改善を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新生児棟の新設：外来部門、手術室、集中治療室、入院部門、カンガルーケア室、病院管理部門、（スタッフステーション、滅菌室、洗濯室、食堂等）、4階建て、総延べ床面積3,700㎡</li> <li>・ 機材供与：保育器、バイタルサインモニター、超音波診断装置、X線検査装置、手術用機材等36種</li> </ul> |  |   |   |
| ■具体的なインターンシップ活動内容   |  |   |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 先方負担事項に係る先方実施機関とのオンライン会議</li> <li>・ 国内での入札管理業務の支援</li> <li>・ 着工準備の支援</li> </ul>  |  |   |   |
| ■プロジェクトの参考情報  |  |   |   |
| <a href="https://libopac.jica.go.jp/images/report/P1000048020.html">https://libopac.jica.go.jp/images/report/P1000048020.html</a>   |  |   |   |
| ■参加(同行)可能な行事・視察等  |  |   |   |
| 未定  |  |   |   |
| ■受入時期・期間  |  |   |   |
| 2023年8月から12月までの1ヶ月程度（2週間からの受入も可とする）   |  | フルタイム以外の活動体系の可否                                 |   |
| 上記期間内での調整可 理由：  |  | 可   | 週 2回、1ヶ月間程度                                 |
| ■希望する人材（大学生/大学院生/社会人）   |  |   |   |
| 大学生・大学院生・社会人全て可   |  |   |   |
| ■応募資格以外に受入れに関し求める要件   |  |   |   |
|   |  |   |   |
| ■提供可能な執務環境等   |  |   |   |
| <input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース  | <input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用 | <input type="checkbox"/> PC貸出し                  | <input checked="" type="checkbox"/> PC自身で準備 |
| <input type="checkbox"/> 携帯電話貸出   | <input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担       | <input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等 |   |
| その他（提供可能な事項）：   |  |   |   |
|   |  |   |   |
| ■滞在費（一日あたりの食費及び少額交通費）   |  | ■宿泊費  |   |
| ※目安金額であり、JICA及び開発コンサルティング企業から支給されるものではありません。  |  |   |   |
|   |  | 円/日   | 円/泊   |
| ■備考・留意点   |  |   |   |
| <p>状況に応じて、以下の施設建設プロジェクトにも係わっていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ザンビア国種子生産ほ場・研修施設整備計画</li> <li>・ 活動場所は、八千代エンジニアリング株式会社本社（最寄り：秋葉原/浅草橋）</li> <li>・ リモートでの活動は、状況に応じて相談可。</li> </ul>   |  |   |   |

2023年度第一回JICAインターンシップ・プログラム  
開発コンサルティング企業受入

《理系の方にお勧め》

|  |  |   |                                  |
|--|--|---|----------------------------------|
| 受入先企業  |  | 登録番号                                      | 2302-開コ11                        |
| ■企業名：ドロップダウンリストより選択⇒   | ま行_わ行                                      | 募集人数（人）                                   | 1                                |
| ドロップダウンリストより選択⇒ 八千代エンジニアリング(株)   |  | インドネシア                                    |                                  |
| ■プロジェクト名   |  | ■スキーム名                                    |                                  |
| インドネシア国事前防災投資にかかる洪水対策マスタープランプロジェクト   |  | 技術協力プロジェクト                                |                                  |
| ■プロジェクト概要  |  |   |                                  |
| <p>洪水災害が頻発するインドネシア国において、河川流量の計画規模や上下流における流量配分に対する設定根拠が曖昧で、事業投資効果を考慮していない結果、効率・効果的な河川整備事業が行われておらず、河川沿いの住民及び経済圏の被災リスクが高いことが課題である。本プロジェクトでは、実施機関である公共事業・国民住宅省（PUPR）の洪水対策マスタープラン策定及び治水行政能力強化を目的に、インドネシア国における水害リスクの高い河川流域を対象とした洪水マスタープラン策定を通して、事前防災投資の概念の普及とインドネシア側の人材育成を行う。</p> <p>現在、洪水マスタープラン策定の対象となる3つの河川流域を選定し、マスタープラン構成案の検討、必要情報の収集及び各流域における水理・水文学解析手法の検討等を実施機関と共に実施中である。</p> |  |   |                                  |
| ■具体的なインターンシップ活動内容  |  |   |                                  |
| <ul style="list-style-type: none"><li>対象河川における洪水マスタープラン策定に向けた説明資料作成</li><li>対象河川における水理解析の実施（一次元不等流解析、流下能力評価等）</li><li>水理解析を実施する再委託の作業管理・共同作業</li><li>各種打合せへの参加及び実施補助</li></ul>   |  |   |                                  |
| ■プロジェクトの参考情報   |  |   |                                  |
| ■参加(同行)可能な行事・視察等   |  |   |                                  |
| プロジェクトチームによるチーム会議、実施機関との会議、再委託先との協議  |  |   |                                  |
| ■受入時期・期間   |  |   |                                  |
| 2023年 8月から10月までの3 ヶ月間程度（2週間からの受入も可とする）   |  | フルタイム以外の活動体系の可否                           |                                  |
| 上記期間内での調整可 理由：   |  | 可   | 週2～3回、3ヶ月間程度                     |
| ■希望する人材（大学生/大学院生/社会人）  |  |   |                                  |
| 大学生・大学院生・社会人全て可  |  |   |                                  |
| ■応募資格以外に受入れに関し求める要件  |  |   |                                  |
| 望ましい   | 河川、防災に関する専門性を有する                           |   |                                  |
|  |  |   |                                  |
| ■提供可能な執務環境等  |  |   |                                  |
| <input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース   | <input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用 | <input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し | <input type="checkbox"/> PC自身で準備 |
| <input type="checkbox"/> 携帯電話貸出  | <input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担       |   |                                  |
| その他（提供可能な事項）：  |  |   |                                  |
|  |  |   |                                  |
| ■滞在費（一日あたりの食費及び少額交通費）  |  | ■宿泊費                                      |                                  |
| ※目安金額であり、JICA及び開発コンサルティング企業から支給されるものではありません。   |  |   |                                  |
| 円/日  |  | 円/泊                                       |                                  |
| ■備考・留意点  |  |   |                                  |
| <ul style="list-style-type: none"><li>状況に応じて、その他治水・河川・防災分野のプロジェクトにも関わっていただきます。</li><li>活動場所は、原則八千代エンジニアリング株式会社本社（最寄り：秋葉原/浅草橋）。リモートでの活動は、状況に応じて相談可。</li></ul>   |  |   |                                  |